

日本がアメリカから実質的な独立をするために

1. はじめに

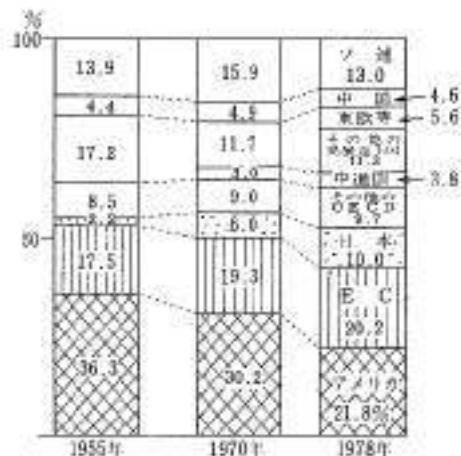
日本とアメリカの関係において、日米安全保障条約は重要な条約だ。この条約は第二次世界大戦後に締結されたため、日本が敗戦国、アメリカが戦勝国という意識があった。そのため、この条約を軸として考える日米関係はアメリカ優位の関係である。この関係下の日本を、私はアメリカの属国的状態にあると呼ぶことにする。例としては、日米地位協定や同盟強靱化予算の存在がそのような上下関係を表している。そして、このような上下関係、日米安全保障条約により大きな問題となっているのは、集団的自衛権の問題だ。新日米安全保障条約と呼ばれる1960年発効の条約の内容によって度々問題となっている。条約の批准を国会で強行採決した際のデモ、いわゆる安保闘争。2014年に当時の安倍政権が憲法の解釈を変更し、一定の条件のもとで集団的自衛権の行使を認めた時にもデモが起きた。その翌年に安全保障関連法が成立したことにより、集団的自衛権の行使がいつ起きてもおかしくなくなった。近年、ロシア連邦によるウクライナへの侵攻やパレスチナのガザ地区とイスラエルの問題など、武力の行使が世界中で起きている。日本の集団的自衛権の行使が現実となる日がいつ来るのかはわからない。そういった事態を避けるために、この問題の根本的な解決策の1つとして、この属国的状態からの脱却を考えた。これを成し遂げるために、日本は何が必要なのか。日本はどういった行動を取ればいいのかを検討していく。

2. 経済力に関して

クラインの示した国力に関する方程式で重要な要素となっている経済力について検討する。日米間での経済力の差が近かった時代を考える。宮崎・田谷は「日本および欧州が経済的な力をつけてくる一方、アメリカ経済は“黄金の六〇年代”以降やや勢いを失い、ベトナム戦争で苦しい立場に立ち、日・米・欧の力関係に相対的な変化が起こった」と述べている。この「相対的な変化」について考える。1970年代初頭のアメリカでは経済的に不況であった。一方、日本では高度経済成長期の末期にあった。当時の景気を表す指標であったGNP(国民総生産)でも、資本主義国の中でアメリカに次ぐ世界第二位を西ドイツと争うようになるなど、経済力が豊かであった。これらのことから、この「相対的な変化」というのは結果として日米間の経済力の接近と考えることができる。また、中野は「このブレトンウッズ体制を瓦解せしめた一連の経緯は、内外にアメリカの経済力の低下を強く印象付けよう。」と述べている。この「一連の経緯」については以下のとおりだ。1971年8月に当時のアメリカ大統領リチャード・ニクソンはドルと金の兌換を停止するなどの宣言を発表した。いわゆるニクソン・ショックのことである。その後もドルの下落が続いた。そして、1973年3月に世界の為替取引が変動相場制になった。これがこの「一連の経緯」だ。これらのことから1970年代初頭でもアメリカの経済力に対し、日本の経済力はかなり接近していたことがわかる。さらに時代が進むと、1978年にはGNPがアメリカの半分弱、一人あたりのGNPがアメリカの8割弱まで到達した。(図1)しかし、これほどの経済力を誇った時代を経ても、日本は未だにアメリカの属国的状態にある。このことから、実質的に独立するためには、アメリカと同等以上の経済力が必要ということが言える。

図1

世界の国民総生産に占める主要国のシェア



(出所) 1955年、70年は International Economic Report of the President of the U.S., 78年は Economic Report of the President of the U.S. による。

なお、55年のOECD計は OECD "National Accounts of OECD Countries" 及び IMF "International Financial Statistics", 中進国は各国統計及び IMF "International Financial Statistics" による。

(昭和55年 年次世界経済報告石油危機への対応と1980年代の課題 昭和55年12月9日 経済企画庁より引用)

3. 軍事力に関して

前述のクラインの国力に関する方程式で経済力と同様に重要な要素となっている軍事力について検討する。地理的に見ると、日本は中華人民共和国(以下、中国)、朝鮮民主主義人民共和国(以下、北朝鮮)と近い位置にある。近年、中国では軍備拡張、北朝鮮では核開発といったように、東アジアでの軍事的な動きが活発化している。日本は国家の最高法規である日本国憲法で平和主義を基本原理とし、非核三原則を国会で決議するなど非武装、核非保持の国家である。そのような状況で日本が中国、北朝鮮などに攻められないのは日米安全保障条約の存在がある。もし日本が他国に攻められた場合、アメリカが共同防衛を行う。すなわち、日本を攻撃することでアメリカとの戦争が始まってしまうことになる。アメリカは核保有国であり、世界第二位の中国の軍備予算の三倍ほどの軍備予算を誇る。すなわち、圧倒的な世界第一位の軍事大国だ。それゆえに、中国や北朝鮮といった核保有国であっても、迂闊に日本を攻撃することはできない。このような力関係や地理的な要因のために、日本にアメリカ軍が日本に駐在せざるを得ないという側面もある。だがしかし、日本がアメリカから実質的に独立をすることで、アメリカが共同防衛をしないことを決めた場合はどうなるのであろうか。アメリカは日本に軍や防衛装備をおいておく必要がないためアメリカ軍の駐在に関する問題はなくなるであろう。しかし先述のように、日本は非武装、核非保持の国家である。核抑止論の考えに基づくと、日本は核兵器を抑止するための力がない。そのため、核兵器の使用を含め、日本への攻撃の可能性は大きく高まる。日本がこのような事態に陥らないために、何が必要かを考える。自衛隊の存在に関する問題など、憲法9条に関する問題もあるが、自衛のための軍備拡張は必要であろう。アメリカ軍の駐在がなくなると、同盟強化予算も必然となくなるため軍備予算に費やすことができる。核兵器に関しては、日本は唯一の被爆国であり、非核三原則を掲げている。核兵器を保持するということは考えられず、非現実的だ。しかし、抑止力としての核兵器を必要とするならば、他の核保有国と軍事同盟を結ぶ以外に方法はない。日本や東アジアに地理的に近い国であれば、日本国内に駐在基地を作る必要はない。日本の周辺国を考えてみる。日本は未だに北朝鮮を国家として承認していない。そのことを考えると、中国と軍事同盟を結ぶ。もしくは、インドと軍事同盟を結ぶ。これらが、日本にとって好都合である。いずれにせよ、必要なのはこれまでアメリカが持っていた、軍事力による抑止力を補うことだ。

4. 現代の問題

近年の国際情勢を見ると、アメリカの求心力が弱まっているように見える。最近だと、パレスチナの国際連合(以下、国連)加盟を支持する総会の決議でその傾向が見られた。パレスチナの国連加盟に反対を示したのはアメリカを含め9カ国。棄権したのはイギリスなど25カ国。賛成したのは日本など143カ国。世界の3分の2以上がアメリカと反対の意見を示している。これは世界の多極化が進んだことを示している。そしてそれと同時に、かつてのようなアメリカ中心主義、いわゆる「パックス・アメリカナ」が衰退しているということだ。このように多極化が進む状況の中で、日本も従来のアメリカへの依存を見直すべきである。

もう一つ大きな問題となっているのが、デジタル赤字に関する問題だ。現代では、スマートフォンやパーソナルコンピュータの普及など、デジタル社会と呼ばれる社会となっている。そんな中でIT産業や半導体産業といった、デジタル社会において基幹となる産業では、世界のトップ企業のほとんどがアメリカの企業だ。それゆえに、日本はアメリカに対し貿易収支では黒字であるが、デジタルの分野では約5.5兆(2023年)の赤字を計上した。これがいわゆるデジタル赤字である。この赤字がアメリカへの依存を示している。アメリカから実質的に独立するためには、こういった依存を軽減しなければならない。依存の軽減のために何をすべきかを考える。アメリカのIT企業の代表格である、GAFAMと呼ばれる5つの会社(Google、Amazon、Facebook(Meta)、Apple、Microsoft)を例として考える。Googleは主に検索エンジン、Amazonはショッピングモール型ECサイト、Facebook(Meta)はSNS、Appleはモバイル機器、MicrosoftはOSといった分野でそれぞれ世界最大級のシェアを誇る。アメリカや日本以外の国でも、これらの企業は大きなシェアを誇る。しかし、中国ではBATHと呼ばれる4つの企業(Baidu、Alibaba、Tencent、HUAWEI)が国内で大きなシェアを誇る。Baiduは検索エンジン、Alibabaはショッピングモール型ECサイト、TencentはSNSやゲーミング、HUAWEIはモバイル機器などといった分野で活躍する企業だ。これらの企業の存在が示すのは、世界的にはGAFAMが占めていた地位を中国では占めているということだ。つまり、中国には国産のGAFAMがあるということだ。国産という選択肢はアメリカへの依存を軽減するために有効であろう。宮崎・田谷は「今後、これらの企業がどうなるかを予想することは難しい。」(「これらの企業」とは、GAFA(GAFAMからMicrosoftを除いた4企業の総称)やBAT(BATHからHUAWEIを除いた3企業の総称)のことを指す)と述べている。このような業界である頃を踏まえて、日本はこういった分野で活躍する企業を生み出すことに取り組むべきである。今後もデジタル社会が拡大していくことが予想される。そんな中で、この業界で世界的に活躍する国内企業の存在は、日本にとっても大きな資産のような企業になるであろう。また半導体の分野に関しては、アメリカのIntelやNVIDIAが有名である。しかし、半導体生産に関しては大韓民国(以下、韓国)も世界トップクラスであり、SamsungやSKなどの世界的大企業も抱えている。そのため、韓国に依存するのも一つの手だ。過去には世界シェアの約半分を占めるなど、半導体生産が盛んであった。当時は企業単位で見ても、半導体分野での売上の世界ランキングで、10位までに6社の日本企業が入るなど、世界的な半導体企業が数多く存在していた(1992年)。しかし現在では、キオクシアが唯一、世界ランキングの10位以内に入るなど苦境に立たされている。(図2)そのような状況においても、日本は半導体の製造装置や素材の面では世界トップクラスである。すなわち、半導体生産のポテンシャルは十分あるのだ。東芝やNECなど、かつて半導体分野で活躍した企業を復活させることも良い選択肢であろう。政府も企業もそのポテンシャルを活かし、かつてのような半導体大国になることができたときには、アメリカへの依存を緩和できるだろう。

図2



(半導体戦略(概略)2021年6月 経済産業省より引用)

5. 結論

これらの考察から日本がアメリカから実質的に独立するために必要なものは以下のものだと考える。

1. アメリカと同等以上の経済力
2. 憲法9条や非核三原則がある中で、他国に対する軍事的な抑止力
3. 国内でのIT産業や半導体産業の活性化
4. 上記の1から3までの事項が日本一国で達成できない場合に、他国と対等な関係を結べるようにすること

こういったことを成し遂げることは難しいことだが、アメリカから実質的に独立するために、努力すべきである。

私自身もこの研究において、完全な結論を見つけたわけではない。現段階では、歴史上の日米関係から考察をしているだけである。今後は、アメリカと日本以外の国との関係や日本のアメリカ以外の国との関係にも注目していきたい。そして、それらの関係と日米関係を比較することで、この問題に関する結論を導き出したい。

6. 参考文献

- ・中野耕太郎.20世紀アメリカの夢.p220
- ・宮崎勇・田谷禎三.世界経済図説 第4版.p64,p114
- ・半導体戦略(概略) 2021年6月 経済産業省
<https://www.meti.go.jp/press/2021/06/20210604008/20210603008-4.pdf>
- ・昭和55年 年次世界経済報告 石油危機への対応と1980年代の課題 昭和55年12月9日 経済企画庁
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/sekaikeizaiwp/wp-we80/wp-we80-000a1.html>

映像作品に使われている音楽の効果

1. 問題意識

現在、ドラマなどの映像作品にはテーマ曲や主題歌、BGMのように様々な形で音楽が使われている。嬉しいシーン、悲しいシーンなど使う場面も様々だ。また2012～2021年放映のテレビ朝日系ドラマ『Doctor-X～外科医・大門未知子～』の『ドクターXのテーマ』のように、現在、この音楽といえばあの作品、とイメージできる音楽があふれている。私はこのように映像と音楽が合わせられるようになったことには、なにか理由があるのではないかと考えた。

2. 問い

映像作品に使われている音楽は、特定の効果をもつのではないか。今回は、映像作品をドラマに限定して考察する。

3. 論証

・音楽が感情を生み出す心理的メカニズム

ジョン・パウエル著(2017)『ドビュッシーはワインを美味にするか？音楽の心理学』に、「音楽心理学者のパトリック・ジュスリンと同僚たちは、音楽が感情を生み出す心理的メカニズムを大きく七つに分類した。」とある。それが、脳幹反射、リズム同調、評価的条件付け、情動感染、視覚イメージ、エピソード記憶、音楽的期待である。今回論証するにあたって、視覚イメージとエピソード記憶に焦点を当てる。

同著書によると視覚イメージとは「人によって程度の差はあれど、音楽は視覚的な空想を抱くための大きな手助けとなる。音楽を聴くとき、多くの人が風景などのさまざまな視覚イメージを頭のなかに描き出そうとする。すると音楽とのつながりが強まり、より深い感情的な反応が引き出される。」とある。2012年放映のフジテレビ系ドラマ『リーガルハイ』のテーマ曲は、トランペットがはっきり聞こえる曲であり、ドラマを視聴したことがない人もドラマと同様のスカッとするイメージを描くことができるだろう。一方、エピソード記憶とは、「ある楽曲によって特定の記憶がよみがえり、その記憶が作られたときの感情に引き戻されるというもの。」とある。先述した『ドクターXのテーマ』は、テレビCMの際に使われており、テレビのスクリーンを実際に見ている見ていないにかかわらず、この音楽を聞いた視聴者の頭の中には、ドラマ内で主人公の大門未知子がヒールの音を鳴らしながら颯爽と歩く姿が思い出すことができるだろう。

・強合的な相互作用

岩宮眞一郎著(2011)『音楽と映像のマルチモーダル・コミュニケーション』には、「音も映像の印象もおおむね、音と映像が重畳することで、印象が良くなる方向へ変化している。このような相互作用は、音と映像を組み合わせて、作品をより印象的なものにするという、協合的な相互作用である。」とある。これは映像に加えて、BGMや効果音など様々な音楽が重なることで、シーンを印象づけることができるということだ。例えば、2020年放映のTBSドラマ『MIU404』をみると、サウンドトラックに『伊吹藍』という曲がある。この曲は、伊吹藍という足の早い警察官が、走って犯人を追いかける際に流れる曲だ。曲のテンポは軽快であるので、この曲が流れることでシーンにさらにスピード感が生まれ、『MIU404』の中でも印象的なシーンになっている。このように相互作用がおこるように考えて音楽が使われているのではないだろうか。

・映像への没入感

前述のジョン・パウエルの著書（2017）には、「人は音を自分から遠ざけることよりも、視覚イメージを遠ざけるほうがずっと簡単だということ。音楽はスクリーンの存在を忘れさせ、観客が映画の世界に没頭する手助けをしてくれる。」とある。ここでいう視覚イメージは、ドラマを見るときに必ず存在するテレビやスマートフォンなどのスクリーンのことである。例えば2023年放送のTBSドラマ『VIVANT』では、緊迫したシーンに『VIVANT<Main theme>』をアレンジしたものが使われており、壮大な事件に巻き込まれていく主人公たちやストーリーに夢中になっていく。このようにドラマも映画と同様に音楽があることでストーリーに没頭し、一話をチャンネルを回すことなく見てもらえるのではないだろうか。

4. 結論

以上のことから、映像作品に使われている音楽には映像作品内のシーンの印象を強める効果があるといえる。ドラマは、映画館でみる作品とは違い、一度見始めたら最終話まで確実に見てもらえるとは限らない。面白くないと飽きられてしまえば、すぐにチャンネルを変えられてしまう。そのため、音楽でシーンの印象を強め、視聴者がドラマに没入し放送時間中ずっと楽しんでもらえるような工夫をしているのだと考えられる。このような意図をもって音楽は使用されているのだろう。

5. 参考文献等

岩宮眞一郎（2011）『音楽と映像のマルチモーダル・コミュニケーション』[改訂版]九州大学出版会

ジョン・パウエル（2017）『ドビュッシーはワインを美味しくするか？ 音楽の心理学』早川書房
塚原あゆ子/野木亜紀子/2020『MIU404』TBS系

得田真裕『TBS系 金曜ドラマ「MIU404」オリジナル・サウンドトラック』

内山聖子/中園ミホ/2012～2021『Doctor-X～外科医・大門未知子～』テレビ朝日系

沢田完『テレビ朝日系木曜ドラマ「Doctor-X～外科医・大門未知子～」オリジナルサウンドトラック』

石川淳一/古沢良太/2012～2013『リーガルハイ』フジテレビ系

林ゆうき『フジテレビ系ドラマ「リーガル・ハイ」オリジナルサウンドトラック』

福澤克雄/八津弘幸,李正美,宮本勇人,山本奈奈/2023『VIVANT』TBS系

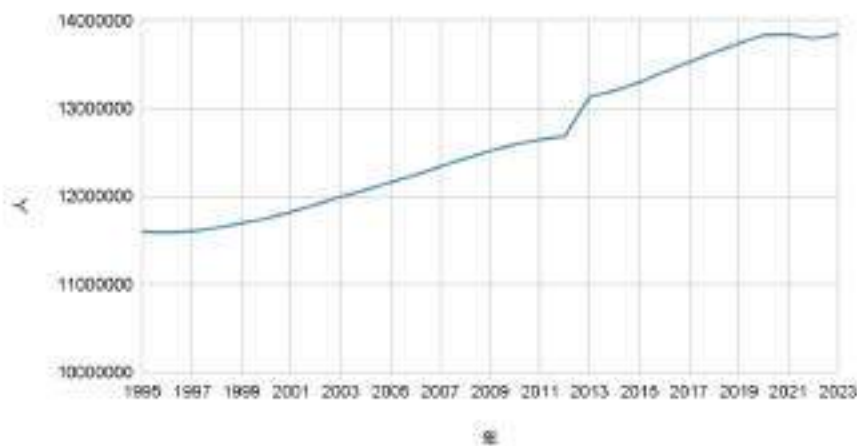
千住明/斎木達彦/兼松衆『TBS系 日曜劇場「VIVANT」ORIGINAL SOUNDTRACK』

東京一極集中緩和

1. はじめに

今の日本は東京に人、物、中枢機能、お金、文化など様々なものが集まっており日本国民、特に首都圏の人の生活が便利になってきている。現在東京都の人口はコロナ禍で少し減少したものの、年々増加傾向にある。(表1)また、総務省統計局の調査によると東京圏は28年連続の転入超過となっている。(表2)

東京都の人口



(表1)

東京圏の転入超過数の推移



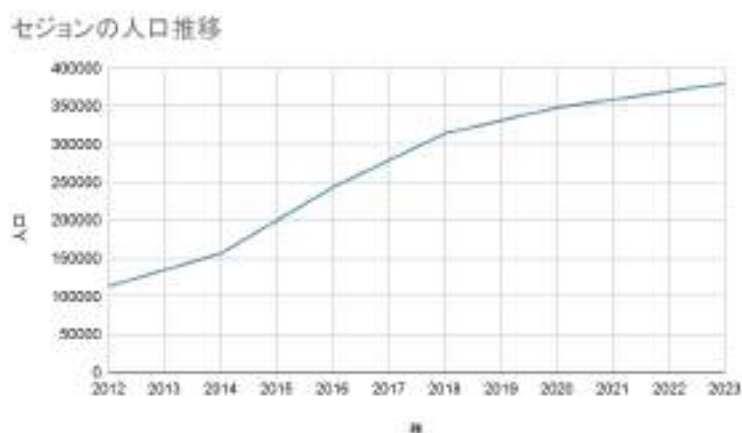
(表2)

このように年々東京一極集中の流れが加速していることから東京にはメリットが大いにあると考えられる。しかし、一極集中はメリットだけではない。例えば2011年におきた東日本大震災発生時、東京では公共交通機関運行停止のためその日のうちに帰れなかった人が350万人以上いたと推計され、タクシーなどの代替交通手段の使用や、待機施設の用意が不十分だったことにより道路が渋滞し緊急車両が通れなかったり、救援物資が迅速に届かないなどの様々な問題が起こった。また、新型コロナウイルス感染症発生時、都内では感染者が爆発的に広がり一日に4万人以上感染者が増えた日もあった。このように東京一極集中による被害は年々露呈し、そのたびに東京一極集中緩和の必要性の声は上がっている。本研究では、これまで出た東京一極集中緩和案や現在行われている案を参考にしながら東京一極集中緩和案について考えていく。

2. 首都機能移転

日本では1990年代に首都機能移転という案がでた。これは東京にある国会、行政、司法の中核機関を東京以外の他の地域に移転させるものであり、首都を中央政府のある都市と定義するならば事実上の首都移転となる。首都機能移転の議論は1990年に決議され、その後16の評価項目¹によって移転候補地を「栃木・福島地域」「岐阜・愛知地域」、交通網の整備により候補地となる可能性がある「三重・畿央地域」の3つにまで選定しましたが、この3つの候補地の中でどの候補地が最適なのか絞り込めないということで事実上の凍結となった。

世界にも首都機能移転をしている国がある。韓国ではソウルの人口と産業の過度な集中の解消のため行政機関をソウルから約120kmの距離にある世宗特別自治市に移す計画が進められている。世宗特別自治市には中央行政機関のほか、文化・国際交流、先端知識基盤、大学・研究、医療・福祉、都市行政の計6つの機能が配置され、また住宅地、公園なども整備されている。移転対象の行政機関は中央行政機関15部2処18庁のうち9部2処2庁、目標人口は2030年までに50万人と設定されている。人口は世宗特別自治市が発足された2012年は約11万人程でしたが、2023年には約3倍の38万人にまで増加している。（表3）



（表3）

しかし、公務員は仕事のため世宗にいかざるを得ないが、その家族の多くはソウルに残っている。そのためこの人口増加の多くの要因はストロー現象²による周辺地域からの転入者によるものである。

このことから、日本で3機関を移転させたとしても、世宗のように職員の家族は首都に残るとした場合や、東京を出るデメリットを補える移転先のメリットがなければ多くの流入者は見込めない。また仮に、各機関の職員およびその家族、また関連企業などが移動した場合、東京一極集中の緩和には十分な効果がみられる。しかし、ストロー現象による人口増加に加え、東京からの流入者がいるため世宗の人口増加の度合いよりも強くなると考えられる。そのため人口増加による移転先での人口集中を招く可能性がある。

¹①国土構造改編の方向（国土構造改変の方向、企業立地の観点から東京の過密の緩和）、②文化形成の方向、③新しい情報ネットワークへの対応容易性、④大規模災害時の新首都機能都市と主要都市間の情報・交通の確保、⑤外国とのアクセス容易性、⑥東京とのアクセス容易性、⑦全国からのアクセス容易性、⑧景観の魅力、⑨移転候補地の地震災害に対する安全性、⑩移転候補地の火山災害に対する安全性、⑪土地の円滑な取得の可能性、⑫土地の良好性、⑬水害・土地災害に対する安全性、⑭水供給の安定性、⑮既存都市との関係の適切性（市街地連坦の回避の可能性および母都市との連携の容易制）、⑯環境との共生（自然環境との共生の可能性、環境負荷の低減の可能性）

²交通網の整備により地方都市の人口や産業が大都市へ吸い取られる現象

3. 中央省庁の地方分散

政府関係機関移転基本方針に基づいて2023年に文化庁が全面的に京都に移転した。しかし、実際移転したのは13部署中の6部署³、職員は全体の7割程度となった。これは本庁が京都に移ってはいけるが全面的な移転とは言えない。また、文化庁移転協議会第4回の「新・文化庁の組織体制の整備と本格移転に向けて」によると「本庁においては、国会対応、外交関係、関係府省庁との連携調整等に係る政策の企画立案業務及び東京で行うことが必要な団体対応等の執行業務を除くすべての業務を行う。」とされている。このことから効率面や必要性の面から東京でおこなわざるおえない業務があると思われ、中央省庁を全面的に地方に移転させることは難しいと言える。

また、マレーシアでは行政機関の点在による行政機能の非効率のため、1990年代から首都機能移転を開始し、現在プトラジャヤは行政首都として機能している。

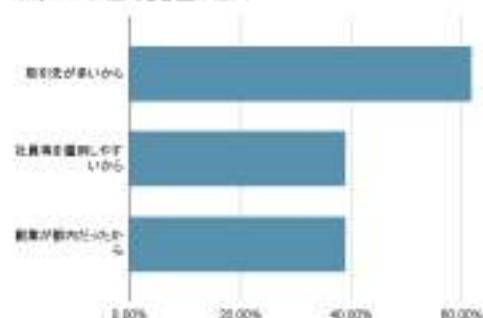
このことから中央省庁を地方分散させたとしても全面的な移転は難しいため、ある程度の機関は東京に残ってしまい東京一極集中緩和には繋がらないと考えられる。また、中央省庁の点在により行政機能が非効率となり新たな問題が生じると考えられる。

4. 地方拠点強化税制

地方拠点強化税制⁴では特定業務施設⁵や本社機能のすべてを東京23区から地方に移転する場合、雇用促進税制やオフィス減税などの課税の特例等の措置が講じられる。課税の特例措置の適用期間は3年となっていて、認定された後に認定基準を満たさなくなった場合認定を取り消される。認定数は2015年から2024年3月31日までに70件程となっていて、目標の約7分の1となっている。

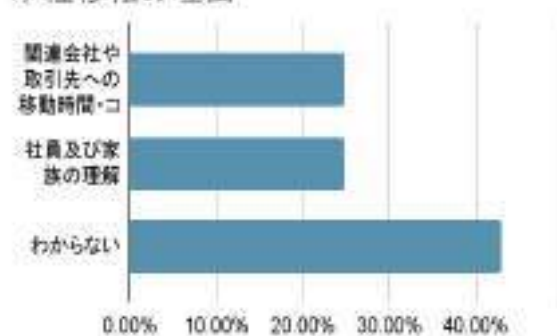
10年で70件程移転していることからこの政策はある程度の効果があると思われる。しかし、東京都内に本社機能を置く理由で最も多い「取引先が多い」（表4）や東京都内に本社を置く企業の本社を地方へ移転する条件で最も多い「関連会社や取引先への移動時間・コストの削減」（表5）を考慮すると、移転先に取引先が少なければまず移転しようとはならないので、この制度あっても活用されないと思われる。また、表4から東京に本社を置き続ける理由としてコストの問題が上位に入っていないことから、移転に対するこの地方強化税制は活用されにくいと考えられる。

東京に「本社等」を置く理由



(表4)

本社移転の理由



(表5)

³政策課、文化資源活用課、文化財第1課、文化財第2課、宗務課、参事官

⁴移転型事業と拡充型事業

⁵事業所・研究所・研修所

5. 結論

この3つの案では弊害なく東京一極集中を緩和することが難しい。また東京一極集中を緩和できても他の地域で集中が起きないようにしなければ意味がない。また、(1)(2)より中枢機能をどのような形であれ東京から移転させることは難しいため、企業や学校を移転させるもしくは流入を防ぐ方法を考えようとしたが現段階では難しく、結論づける事ができなかった。

今後、現在の政策は企業や学校に対する政策が多いため、個人に対する政策の効果について検討していきたい。

6. 参考文献

- ・戸所隆（2014）「東京の一極集中問題と首都機能の分散」『地学雑誌』
- ・山本和博（2022）『大都市はどうやってできるのか』ちくまプリマー新書
- ・文化庁移転協議会（2017）「新・文化庁の組織体制の整備と本格移転に向けて」p5
- ・内閣府首都直下地震帰宅困難者等対策協議会事務局「帰宅困難者対策の実態調査結果について」
- ・総務省統計局（2023）「住民基本台帳人口移動報告」
- ・東京都総務局統計部（1995~2023）「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」
- ・国土交通省 企業等の東京一極集中に関する懇談会 とりまとめ参考資料
- ・国土交通省 東京一極集中の是正方策について
- ・国土交通省 東京一極集中の変化要因となりうる要素
- ・国土交通省（2011）ニューズレター「新時代」第72号
（2016）ニューズレター「新時代」第81号
- ・地方創生 <https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/sakusei.html>

親日度の増減について

1.はじめに

本研究では親日度の増減要因について考察する。

まず、なぜこの研究を行うのか、この研究の意義について説明する。第二次世界大戦時、日本はドイツ、イタリアと日独伊三国同盟を結んだ。この同盟については、寺崎修氏の説明を参考にする。「1940年（昭和15）9月27日、ベルリンで調印された日本、ドイツ、イタリアの間の軍事同盟。三国同盟締結交渉は、最初、1937年に結ばれた日独伊三国防共協定を強化しようという目的で、第一次近衛文麿（このえふみまろ）内閣の末期に始まったが、1939年8月に突然独ソ不可侵条約が締結されたことにより一時中断した。しかし、その後、対米英関係の悪化、ヨーロッパにおけるドイツ軍の圧倒的な優勢などを背景に、交渉再開の機運が台頭、1940年9月6日、ドイツのスターマーH. Stamer特使の来日を機会に、交渉は正式に再開され、9月24日に至り、スターマーと第二次近衛内閣の外相松岡洋右（まつおかようすけ）との間で全面的な合意をみることとなった。三国同盟条約は、前文と本文6条から成り立ち、その内容は、ヨーロッパおよびアジアにおける「新秩序建設」に関し、ドイツ、イタリアおよび日本は、その「指導的地位」を認め合うこと、また日中戦争およびヨーロッパ戦争に参加していない第三国の攻撃に対してあらゆる「政治的、経済的及軍事的方法ニ依（よ）り相互ニ援助スヘキコト」を誓約する純然たる軍事同盟であった。三国同盟の推進者の松岡は、日独伊三国軍事同盟に加えて、ソ連を中立化させる、できれば日・独・伊・ソの四国協商の実現を図り、これらの軍事的圧力を背景に対米調整を有利に進めるという構想を抱いていたが、同盟の成立は米・英を強く刺激し、太平洋戦争突入の要因となった。1943年9月イタリアの無条件降伏、1945年5月ドイツの完全敗北により、無謀な瀬戸際政策であった日独伊三国同盟は完全に崩壊した。」（出典 ジャパンナレッジ）この説明から、日本は日本はヨーロッパの強国である国々と同盟を結んだが、その同盟はあまり日本のメリットがないものになってしまったということがわかる。実際に、この同盟を結んだときの外務大臣である松岡洋右は「この同盟は私の人生における最大の失敗」と記している。さらに、日本は戦時中に、ソビエト社会主義共和国連邦（以下ソ連とする）と日ソ中立条約を結んだ。この日ソ中立条約の説明は「1941年4月、日本とソ連が結んだ領土保全と不侵略を相互に約束した条約。1945年4月にソ連は不延長を通告、8月8日に破棄し満州に侵攻した。

1941年4月13日、モスクワで調印された日本とソ連の条約で、相互に領土の保全および侵略を約束し、締約国の一方が第三国から攻撃された場合は他方は中立を維持することを約したものの。有効期限は5年とされ、満期の1年前に締約国の一方から破棄の通告がなければ、さらに1年間、自動的に延長されることとなっていた。

またこの日ソ中立条約調印に合わせてソ連と日本が共同声明を発表、そこにおいて、「ソ連は満州国の領土保全と不可侵の尊重を保証し、日本はモンゴル人民共和国の領土保全と不可侵の尊重を保証する」と述べた。これは互いの領土だけでなく、日本の傀儡国家である満州国と、ソ連の強い影響下にあるモンゴル人民共和国にたいしてもそれぞれ領土保全、不可侵を宣言したことである。」（「世界史の窓」より）このことから、日本は大国であるソ連とお互いに戦火を交えない条約を結んだことがわかる。しかし、この条約はソ連側に一方的に破棄され、最終的に日本に対して攻めてきた。これは笹川平和財団の海洋政策研究所の情報を引用する。「1945年4月5日、ソ連は日本に対し日ソ中立条約（1941年4月13日）の破棄を通告した。この通告により、日ソ中立条約は1946年4月25日に失効することとなった。

※しかしソ連は、1945年8月9日、日本に対して宣戦布告を行い、8月から9月初めにかけて択捉島、国後島、色丹島及び歯舞諸島を占領した。ソ連は、1946年2月2日付けの最高会議幹部会令でこれらの島々をソ連に編入した。」このことから、ソ連は、中立条約がまだ破棄されていないのに、日本に攻めてきた。このように日本が第二次世界大戦時に他の国から賛同や協力を得られなかった要因は何なのであろうか。私達はこの要因を、当時の日本は、名前だけの「同盟」や

「条約」を結ぶだけで、その国民に、日本に対し信頼感や親近感を持ってもらうことができていなかったからであるのではないかと考えた。これは、現在の日本の外交方針、外交における達成目標につながってくるのではないかと私は考察する。つまり、今の日本はこの歴史から学び、親日国を増やすことを目標とするべきではないのだろうかと考察する。理想論ではあるが、例えば、すべての国の親日度が50以上になれば、日本を攻撃しようとする国が現れたとしても、その国の国民の過半数が親日であるので、日本が攻撃される可能性は低くなると考えられる。そこで私は親日度が50以上の国を「親日国」、親日度が50未満である国を「反日国」とし、親日国を増やすことが日本を守ることに繋がると考えた。

ここで、現在日本が行っている親日度獲得の取り組みについて考えたい。現在日本が行っている親日度獲得に繋がる行為としては「ODA」が挙げられる。草野厚氏は「ODAの現場で考えたこと 日本の外交の現在と未来」という書籍において「ODAの基本は親日家をいかに作るかだ」と指摘している。ODAは親日度の増加の要因となりうるものが、ここから考えられる。しかし、このODAは、パキスタンでのコハット・トンネル建設事業のように、その国の政府その国の政府や住民に感謝され、親日度の獲得に繋がるケースも多くあるが、インドネシアでのコトパンジャン・ダム建設事業における、保証の不十分や環境破壊が進んだという理由で、援助したつもりが結果として住民の反感を買い、親日度の低下につながってしまうケースも有る。このような理由で、ODAは「おせっかい」や「世話を焼きすぎている」という意見を、日本の国民が持ち、ODAの資金増額に否定的で、自国の産業を重視すべきだという意見が多くなり、実際に2010年から2015年にかけては、日本のODA拠出額は年ごとに減少傾向となっていた。その後日本で起こった災害に対する外国からの支援の情報がメディアで報道されるようになったことで、「恩返し」のような機運が高まり、2021年には拠出金額は過去最大となったのだが、支援の分野においては、アメリカ、中国、ドイツなどに遅れをとっている。具体的には、2022年度のアフリカの3カ国（ケニア、南アフリカ、コートジボワール）における対日世論調査においては、親日度こそ高水準であるケニア 96（「そう思う」が47%、「どちらかといえばそう思う」が49%）、南アフリカ 78（「そう思う」が30%、「どちらかといえばそう思う」が48%、コートジボワール 86（「そう思う」が34%、「どちらかといえばそう思う」が52%）が、この対日世論調査の項目にある、「あなたの国にとって、現在重要なパートナーは次の国、機関のうちどの国、機関ですか。（複数回答可）」という問いに対して「日本」と答えた人の割合はケニアで34%、南アフリカで16%、コートジボワールで26%であり、これはアメリカ（ケニア 72%、南アフリカ 50%、コートジボワール 33%）や中国（ケニア 78%、南アフリカ 59%、コートジボワール 52%）の値を下回っている。日本はこの3カ国においてODAなどの支援を行っているが、この値からわかる通り、日本はアメリカや中国に遅れを取っていると言える。したがって、このことは、グローバルサウスの国々における日本の影響力がアメリカ、中国、ドイツといった国々に遅れをとっている要因となっていると考察する。

さらに現在、親日度は親日国とされてきた多くの国で低下している。具体的には過去にエルトゥールル号遭難事件における日本人がトルコ人を助けたことやイラン・イラク戦争の際のトルコの航空会社が日本人を救助したことなどで親日国とされているトルコ（2011年度の調査では81（「そう思う」が45%、「どちらかといえばそう思う」が36%）であったのに対し、2021年度の調査では70（「そう思う」が19%、「どちらかといえばそう思う」が57%）となっている。）や、戦時中に同盟を結んでいて、親日国としてメディアで報道されることも多いドイツ（2003年度の調査では90（「そう思う」が48%、「どちらかといえばそう思う」が42%）であったのに対し、2022年度の調査では64（「そう思う」が27%、「どちらかといえばそう思う」が37%）となっている）などである。ドイツの親日度が下がった要因としては、2020年に、ドイツ首都ベルリンの公的な場所に韓国系反日団体が旧日本軍の慰安婦を象徴する「少女像」を設置

し、日独外相レベルでの問題となったこと。それによって、「過去を反省しているドイツ」ということを信じているドイツ国民が、かつての国防軍や、ナチス組織が占領地などで女性を強制連行して、女性たちの尊厳を奪ったという事実を目を背けて、「過去を反省していない日本」に対して目を向けようとする機運が高まり、ドイツ国内で「過去を反省していない日本」というイメージが広がってしまったことが大きな要因であると、木佐芳雄氏が「「反日」化するドイツの正体」において指摘している。しかし、トルコに関しては、親日度の減少につながるような大きな要因は見つけることができなかった。これは、過去の日本人の行いによって作り上げられてきた親日感情がトルコ国内で失われつつあるからなのではないかと考察した。

現在、日本人は、「日本」という国を、「世界から愛されている」や「世界から感謝されている」という認識を持っている。その認識の根底にあるのは、日本人がこれまでしてきた感謝される行いである。具体的には、トルコのエルトゥールル号遭難事件の際の日本人の献身的な救護活動や、第二次世界大戦時に杉原千畝氏が多くのユダヤ人の命を救ったこと、日本軍がシベリア出兵の時にポーランド孤児を救助したことなどが挙げられる。しかし、そうした親日感情は、東南アジアなどの一部地域を除いて失われつつある。私達は「日本」という国が、国際社会の中でかつてのような影響力を失い、世界からそこまで好意的に思われなくなってきたという事実を目を向ける必要があるのではないかと考えた。

これらの事実から私達は親日国の増減がどのようにして起こるのかを考察することが大切であると考えた。そこで、私達は、現在、親日または反日である国が、なぜそうなったのかの要因を考察し、そこから考えられる親日度が上がるまたは下がることの共通点を見つけ、一般化につなげることを目指す。これが私達が研究を始めた動機である。

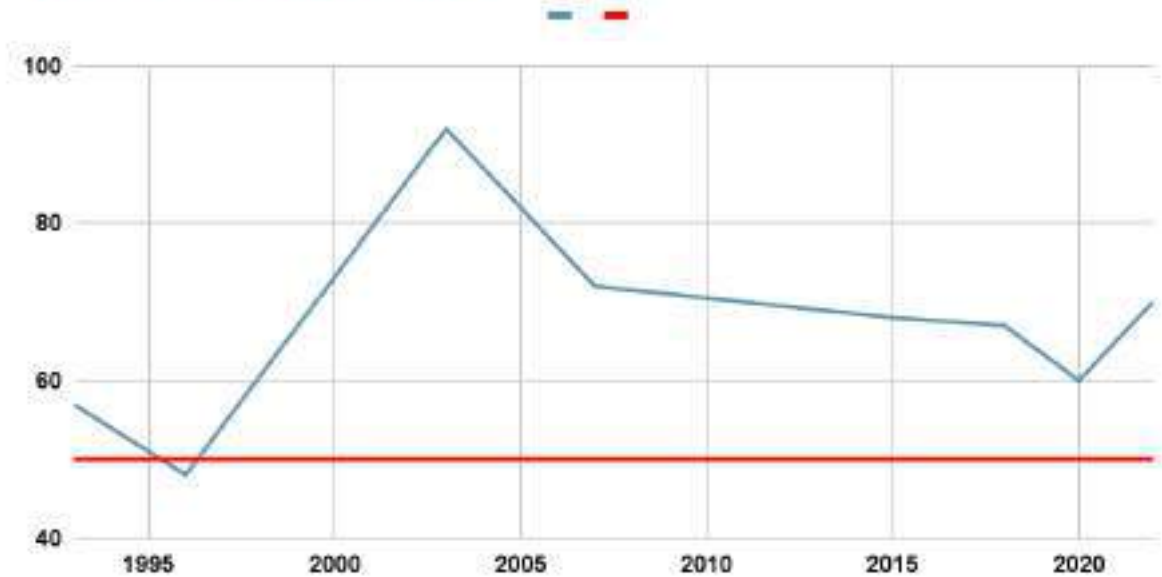
ここで問いを立てる。外務省の海外広報課が隔年で各国に対して「対日世論調査」を行っている。その対日世論調査において、外国の国民を無作為に500人または1000人選び、日本に関する質問に答えてもらっているが、「日本は信頼できるか」という質問に対しての回答で「そう思う」、または「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合の合計をその国の「親日度」と定義した。さらに、その親日度が50以上である国を「親日国」とし、親日度が50未満である国を「反日国」と分類する。この研究では「親日国」がなぜ親日となったのか、また年度ごとの親日度の増減を見て、なぜその国の親日度が増加し、親日国となったのか、反日国となったのかについて考察する。また、これらの要因から今年の親日度の値をこの3カ国において予想する。

2. 考察（論証）

（1）イギリスの親日度について

※赤線は「親日度が50」の線である。つまり、この線より値が下のときは反日国、この線よりも値が上のときは親日国、ということになる。

イギリスの親日度



ここでは、イギリスがなぜ1993年時点では親日であったのか、またそこから1996年時点ではなぜやや反日となったのか、そこから2003年にかけて大幅に上昇したのか、またさらにそこから2007年にかけて大幅に減少したのか、そして2020年から親日度が回復しつつある現状について考察する。

イギリスの親日度は、1993年度の調査では、この要因として考えられるのは、かつての日英同盟、そして日本の皇室とイギリス王室の結びつきが主な要因として挙げられる。まず日英同盟についてだが、日本とイギリスは、1902年に同盟を結んだ。日英同盟の前文によると、「日本国政府及び大不列顛（大ブリテン）政府は偏（ひとえ）に極東に於いて現状及び全局の平和を維持することを希望し、且つ清帝国及び韓帝国の独立と領土保全とを維持すること及び該二国に於いて各国の商工業をして均等の機会を得せしむることに関し、特に利益関係を有するを以て茲

（ここ）に左の如く約定せり。」このように、日本とイギリスは同盟を結んでいた。この同盟は非常に強固なもので、規約第2条によると、「若し日本国または大不列顛国の一方が上記各自の利益を防護する上に於いて別国と戦端を開くに至りたる時は、他の一方の締約国は厳正中立を守り併せて其の同盟国に対して他国が交戦に加わるを妨ぐること努むべし。」このように、どちらかの国が他の国と交戦状態になったとき、同盟国は中立を守ること、それ以上の他国の参戦を防止することが約束されている。さらに、第3条によると、「上記の場合において若し他の一国又は数国が該同盟国に対して交戦に加わる時は、締約国は来たりて援助を与え協同戦闘に当るべし。講和も又該同盟国と相互合意の上に於いて之を為すべし。」このように、どちらかの国が2国以上との交戦状態となった場合には、同盟国も締結国を助けて参戦することが義務付けられている。この同盟は実際に効果を発揮し、第1次世界大戦時、日本はこの日英同盟を理由に連合国側として参戦し地中海やインド洋、太平洋などに海軍を派遣した。このときの日本軍の作戦で、イギリス国民に特に親日感情を与えたと考えられるのは、地中海でのトランシルヴァニア号の救助活動である。このときの日本軍の決死の救助活動により、3000人のイギリス人の命が救われた。この働きによって、駆逐艦の日本人士官がイギリス国王ジョージ5世から叙勲されている。また、地中海派兵時に戦死した日本海軍兵士の慰霊碑が建てられ、第二次世界大戦時のドイツ軍の攻撃によって破損してしまっていたが、1974年に新しい慰霊碑が建てられ、日本軍への

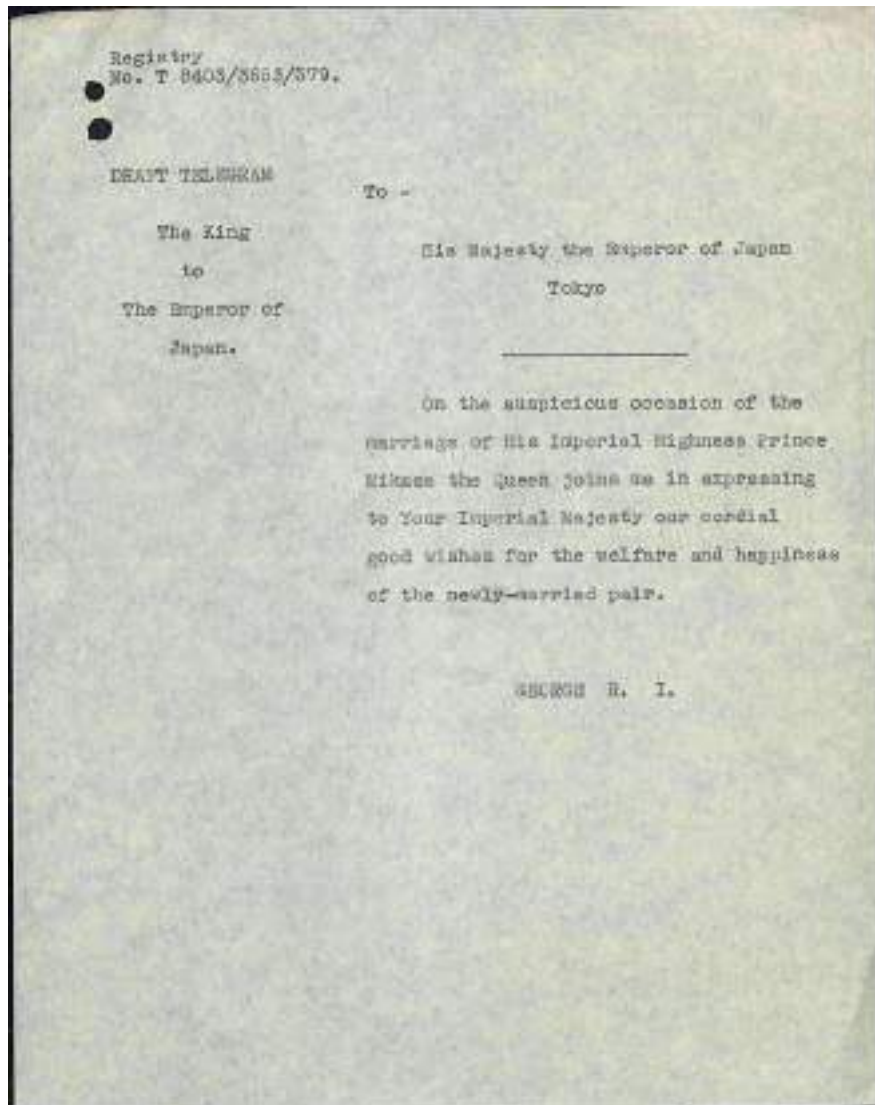
感謝をイギリス人は忘れていない。以上より、1902年から1923年までの日英同盟が、イギリス人の親日感情を高めていたと考察する。また、日本の皇室とイギリス王室の結びつきについてだが、岡部伸氏の記事（nippon.com記載）によると、「日英は立憲君主制の島国で、皇室と英王室の交流は約150年の長きにわたっている。特別の友好関係を証明する資料について、ウインザー城にある英王室文書館に問い合わせた。同館所蔵の国王ジョージ6世の個人秘書のファイルのうち、1940－41年にジョージ国王から昭和天皇に送った、神武天皇即位から2600年にあたる「皇紀2600年」や三笠宮結婚への祝電と、昭和天皇の叔母で恒久王妃昌子内親王（つねひさおうひまさこないしんのう）の逝去に対する弔電、さらに、それぞれに昭和天皇からジョージ国王へ打たれた返電が開示され、親密な関係にあったことが裏付けられた。

英王室文書館から新たに開示されたのは以下の通り。

- ① 1940年2月11日、皇紀2600年に対するジョージ国王から昭和天皇に打たれた祝電（ドラフト）と同12日の昭和天皇からジョージ国王へのお礼の返電
- ② 1940年3月9日、明治天皇の第六皇女で、竹田宮恒久王の妃である恒久王妃昌子内親王の逝去にあたり、ジョージ国王から昭和天皇あての弔電（ドラフト）と同11日、昭和天皇からのお礼の返電
- ③ 1941年10月22日の三笠宮の結婚にあたり、ジョージ国王からの祝電（ドラフト）と同日、昭和天皇からのお礼の返電

この中で③の三笠宮の結婚の祝電は、日本が真珠湾攻撃とマレー作戦を敢行して太平洋戦争が勃発するわずか2カ月前であることが注目に値する。干戈を交える直前まで王室と皇室が「親戚」

のように親しく交流していたことを示している。」



1941年10月22日の三笠宮殿下の結婚にあたり、ジョージ国王から昭和天皇にあてた祝電のドラフト Royal Archives/© Her Majesty Queen Elizabeth II 2021

このように日本の皇室とイギリス王室は戦争直前で両国間が緊迫した状況であっても、交流が続いていたことがわかる。さらに、戦後も日本の皇室外交は続く。1952年には当時の皇太子陛下（現上皇陛下）がイギリスを訪問された。エリザベス女王の戴冠式に出席されて、第二次世界大戦以降悪化したままだった日英関係は、これをきっかけに日英関係は改善に向かった。さらに1971年には、昭和天皇陛下もイギリスを訪問された。このあとの1975年にはエリザベス女王が日本を訪問され、日本の皇室とイギリスの王室の親密な関わりが見て取れる。そして1986年にはイギリスの皇太子夫妻が日本を訪問され、日本では「ダイアナフィーバー」が起こった。このような日本の皇室とイギリスの王室の関わりによる日英関係は間違いなくイギリスが親日国であった要因となっていると考えられる。

次に、1996年度の調査では48（「そう思う」が18%、「どちらかといえばそう思う」が30%）となり、親日国ではなかったと言える。この要因として考えられるのは、まず初めに、第二次世界大戦のときに日本とイギリスが戦火を交えていたことが挙げられる。日本と戦争したこと

で、戦争の犠牲者を中心に親日度が低下したのではないかと考察する。さらには、戦時中の日本人の残虐な行いによる、日本人への悪印象なども、イギリスがやや反日であった要因と考えられる。日本人は残酷であるという固定観念が、イギリス国内において根強く受け継がれており、特に1995年は、終戦終戦50周年ということもあり、戦時中の日本人のイギリス人捕虜に対する残酷な行いがイギリス国内で盛んに報道された。この、日本人の戦時中の残酷な行いや、戦争に関連した日本へマイナスなイメージをもたせるような報道がイギリスメディアによって盛んに行われたことで、日本人のイメージが悪くなり、親日度が低くなったことにつながる要因となったと考察する。

次に、イギリスの親日度が1996年から2003年にかけての大幅な上昇の要因について考察する。2003年度での調査では、親日度92(「そう思う」が24%、「どちらかといえばそう思う」が68%)であり、大幅に上昇していると言える。これは、1996年から2003年にかけての日本の皇室外交が主な要因だと考察する。イギリス人の中には、太平洋戦争中に日本の捕虜であったイギリス軍元兵士たちを中心に、日本に対して不信感をもっている人もいた。実際に、1998年に上皇陛下、上皇后陛下(当時は天皇陛下、皇后陛下)がイギリスを訪問なさった際、イギリス人元戦争捕虜が謝罪を求める抗議活動を歓迎パレードの沿道で行い、当時のイギリス首相であったブレア氏が「遺恨が日英関係を支配してはならない」と呼びかける事態となった。この自体を重く見た日本、イギリス両政府は、当時の日本の内閣総理大臣である橋本龍太郎氏が、イギリス大衆紙サンで元捕虜に対して「反省とおわび」を表明し、イギリス政府が元捕虜たちに対して特別慰労金の支給をすることをきめた。このことから、1998年の上皇陛下がイギリスを訪問なされたことがイギリス人元捕虜の遺恨解消に向けて大きく前進する要因となったということ、元駐日英国大使のデービッド・ウォーレン氏が指摘している(nippon.comの岡部伸氏の記事による)。このことから、この大幅な親日度の上昇には、日本の皇室外交が深く関わっていると考察する。

次に2003年から2007年にかけての大幅な親日度の減少の要因について考察する。2003年度の調査では調査ではイギリスの親日度は92であったのに対し、2007年度の調査では、72(「そう思う」が12%、「どちらかといえばそう思う」が60%)で20も減少している。これは、二度も起こった日本でのイギリス人女性殺害事件、そして日本の捕鯨文化が大きな要因となっていると考察した。事件について詳しく説明すると、1つ目の事件は、「ルーシー・ブラックマン事件」で、2000年7月に神奈川県三浦市でイギリス人女性が殺害された事件で、この事件の犯人は第一審で無罪判決をうけており(他の事件で有罪、無期懲役の判決)、有力な証拠が多く揃っている中で無罪判決が出されたことは、イギリス国内でも多く報道された。この事件の被害者の遺族も「まことに遺憾である。」と英メディアで発言している。次に、2つ目の事件について。この事件は「リンゼイ・アン・ホーカーさん殺害事件」で、2007年に千葉縣市川市でイギリス人女性が殺害された事件で、この事件の犯人を、日本の警察は二度目の前で取り逃がし、2年半もの間捕まえることができなかった。被害者遺族はイギリス国内でもこの事件を広め知ってもらおう活動を行っており、同時に日本の警察の失態はイギリス国内でも多く報道された。この2つの事件によってイギリス国民は日本の警察や法制度に対する不信感をイギリス国民が持つようになったのではないかと考察する。さらに日本の捕鯨文化について言及すると、イギリスは日本の捕鯨文化に理解はなく、ありえないという意見が多数である。2005年に書かれた日本の捕鯨についてのThe Timesの記事では、捕鯨を「slaughter」と表現しており、これは日本語に訳すとすると「虐殺」に当たる単語である。つまり日本人がクジラを捕獲していることを「捕鯨」という中立的な言葉ではなく、「虐殺」という否定的な意味合いをもたせることによって、この記事を読んだイギリス人に日本人は残酷であるという偏見を持つようになった、ということが、花井晶子氏の論文において指摘されている。よって、日本人の行いによって、イギリス国民が日本人に対して

「残酷である」といった悪い印象を持ったことが、この期間の親日度の急降下の要因となっていることを考察する。

そしてその後、イギリスの親日度は継続的に減少する（グラフより）。ここにおいては、親日度の減少につながるような出来事を見つけることができなかった。しかし、2020年から2022年の間に回復傾向に転じている。具体的には、2022年度の調査では60（「そう思う」が17%、「どちらかといえばそう思う」が43%）であったのに対し、2022年度の調査では、70（「そう思う」が27%、「どちらかといえばそう思う」が43%）となり、10増加している。これはイギリスが2021年にEUを離脱して、日本との関係を重視するようになったからであると考察する。2020年から日本とイギリスはCEPA（日英包括的経済連携協定）を締結し、日英間の輸出入に関する関税が大幅に削減され、経済的な結びつきが強まった。実際にこの期間の日英間の貿易額は、「ABCレポート 英国」によると、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあり、輸出入合計1.8兆円であったが、2022年には3.0兆円となり、大幅に増加している。さらに、日本とイギリスはお互いのことを「同盟国」と呼び合うようになっている。これはイギリスがEUを離脱したことで、イギリス政府がアジア太平洋地域との関わりを重要視する政策方針を打ち出し、その地域の新たなパートナーとして日本を選び、日本との関わり方をより強くする狙いがあったからであると考えられる。前述の通り、イギリスと日本は1902年から1923年まで、日英同盟を結んでいた。その時の同盟は良好に機能し、このときの記憶がイギリスに日本をパートナーに選ばせたのであろう。これらのことから、日本とイギリスの外交関係の結びつきが深まったことが親日度の増加に結びついたのでないかと考察する。また、2021年と2022年の二年連続で日本の岸田首相は訪英しており、その前に日本の首相であった菅義偉氏は、新型コロナウイルスの影響もあってなのか、在任中に一度も訪英していない。この二人の首相の在任期間における親日度の増減を見てみると、菅氏の在任期間はイギリスにおける親日度は明らかに低下しており、岸田氏が首相となって、積極的に訪英するようになってから、親日度の回復が起きている。このことから、日本の首相の積極的な訪英が英国国民の日本に対する信頼、親日感を獲得することに結びついたと考察する。まとめると、イギリスにおける親日度の増加には、日本の外交政策による日英感の政治的な出来事や結びつきが要因として挙げられ、減少の要因としては、日本人の残虐な行いによってイギリス国民が日本人に対して悪いイメージを持つことが挙げられる。

（2）韓国の反日度について

韓国の対日感情については外務省の調査が行われていなかったため、言論NPOが2013年から隔年実施している対日世論調査を参考にする。また「日本に対する印象が良いか、悪いか」という質問事項に対し、ここでは「悪い」と答えた人の割合を参考にしている。この割合の増減から反日度の推移を見ていく。

※ここでの赤線は「反日度が50」の線である。つまり、値がこの線よりも下であるときは、親日国、この線よりも上であるときは、反日国、ということである。

韓国の反日度



(1) 言論NPO 対日世論調査より

調査実施初年度の反日度は76.6%で反日国であった。その後6年間反日度は低下し、2019年の調査では49.9%と反日国の気運が下がった。しかし、2020年には反日度の急激な上昇が起きた。続く2021、22年の調査では低下が見られた。まず前述の通り調査初年度の値が75%を超えていた要因について考察する。その要因は日韓の歴史的な対立にある。具体的には竹島問題や慰安婦問題などが挙げられる。

次に、調査初年度から2018年にかけての反日度の緩やかな低下が起きた要因について考察する。この期間には新たに、目立った政治的問題が起こっていないため、反日度が上昇する要因がなかったと考えられる。ここで、この期間の訪日韓国人数の推移に目を向けてみる。



(2) 日本政府観光局（JNTO）の訪日外客統計

より

2014年から2018年に統計上最多の年間753万人を更新するまで増加傾向にあった。韓国人が日本に訪れる理由は、日本の治安の良さ、韓国からのアクセスの良さが考えられる。(参考：JNTO資料)対日感情のグラフ(1)とグラフの変動(2)を比較すると、訪日韓国人数の増加に伴い、反日度は減少しているといえる。よって、2つのグラフに相関関係があるといえる。訪日韓国人の増加は「人的交流量」の増加をもたらし、対日感情の向上に繋がったと考察する。人的交流量の増加と対日感情の向上は単純比例の関係でもないと言える。だが、交流頻度の増加に伴って自国のメディアを介してではなく、自分の目でその国を見ることにより相手国への誤解の抑制に繋がるため、対日感情の悪化を防ぐことに繋がったと考える。

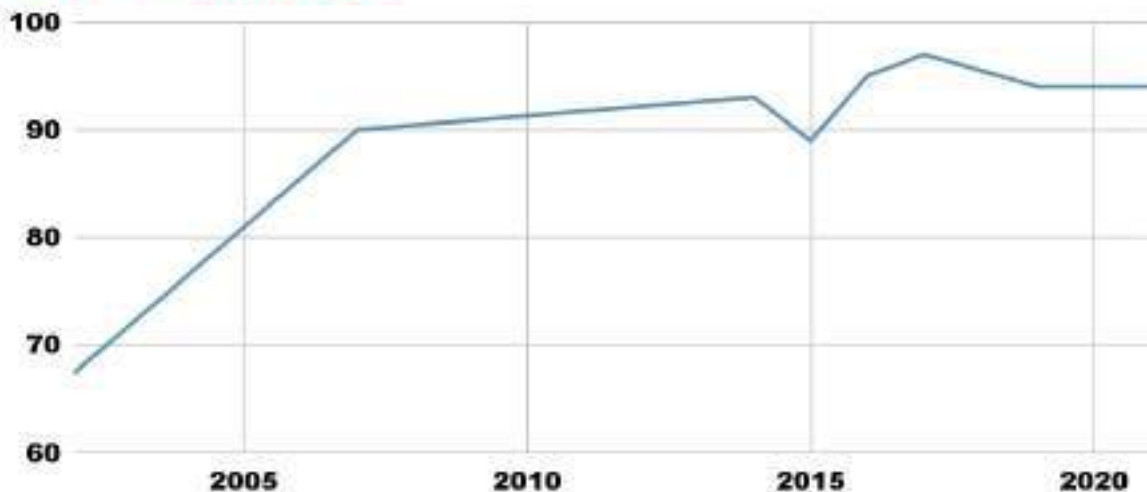
上記のグラフ(1)の通り、2019年に50%を下回っていた反日度が2020年に71.6%まで上昇した要因を考察する。この上昇には政治的要因が大きく関わっている。日本政府は2018年、兵器等を使用される物質が韓国から輸出されていたことの発覚を受け、2019年7月、半導体材料など三品目の輸出管理を厳格化した。翌月には唯一アジア諸国で対象としていた輸出優遇国から韓国を除外した。この一連の日本の動きに対して韓国政府はGSOMIA破棄を通告した。同年9月にはWTOへ提訴、戦略物資の輸出管理の優遇対象国から日本を除外した。韓国内では日本産ビールやユニクロの商品等の安くて代替しやすい日本製品不買運動が発生し、反日の気運が高まった。

次に、その後の反日度の低下が起きた要因を考察する。2020、2021年の2年間では新たに政治的問題は起きていない。そのため2021、2022年は反日度が次第に低下していったという見方ができる。訪日韓国人客数のグラフ(2)で見られるようにコロナウイルスの影響と前年の政治的対立による日韓関係の冷え込みを受け、訪日韓国人数は2020年に約50万人、2021年に約2万人と急激に減少した。人的交流量が減少した中で反日度が減少の方向に進んだのは、やはり反日度が増加する要因である目立った政治的対立がなかったからだと考察する。

(3) タイの親日度について

※タイは調査年度全てで親日度が50を上回っていた、つまり親日国であったので、赤線は引いていない。

タイの親日度



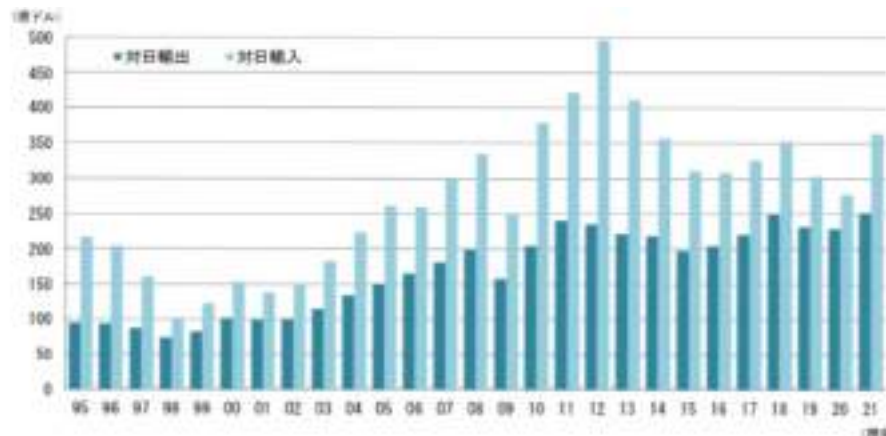
外務省海外広報課「対日世論調査」より

タイの親日度は、2002年の初年度の調査では67（「そう思う」が22%、「どちらかといえばそう思う」が45%）と親日であった。親日であった要因として日本と直接戦火を交えたことがないこと、皇室外交が行われていたことが挙げられる。タイは王室、日本は皇室を戴いている。当時の国王であったプミポン・アドゥンヤデート前国王は1902年にラーマ6世が訪日したことで、タイ王室と皇室の交流が始まった。上皇とラーマ9世、プミポン前国王は農村の貧困から国民を救うプロジェクト等の行いもあって街中の至るところに前国王の写真が飾られており、国民から敬愛されていた。その前国王と上皇の交流が始まったのは、前国王が来日された1963年であった。1991年には、上皇御即位後初の海外訪問先としてタイをお選びになった。それほどタイ王室と日本の皇室は親しい関係にあったと言える。敬愛する国王との交流によりタイ国内の皇室、日本に対するイメージは上がったと考える。また、日本人がタイへ旅行することで、日本人が現地でお金を使い、そのことによって「日本人は豊かだ」というイメージがタイ国内でも広がっていたことは、親日度が高くなっていた要因であると考察する。

次の2008年の調査では親日度が90（「そう思う」が21%、「どちらかといえばそう思う」が68%）まで急上昇した。また2014年から2021年の7年間で2020年を除いて6回調査が行われ、約90%の高水準を維持し続けている。初めに急上昇の要因を考察する。2004年にインドシナ沖を震源とするm.9のスマトラ沖地震が起きた。それに伴いタイ南部に津波が到達し、5000名を超える死者が出るなどの甚大な被害を受けた。そのため日本は医療チームを12チーム、自衛隊を1600名派遣する等の人的支援を行った。資金援助の面では中国の66億円、アメリカの360億円を凌ぐ525億円もの無償資金援助をした。これでタイ人に日本が信頼できる国だと印象づけることがで

き、親日国の急上昇に繋がったのだと考察する。次に、高水準を維持できているのには2つの要因があると考え。1つはタイと日本の強固な経済的な結びつきにあると考察する。この結び付きは輸出入額で見られる。タイにとって日本は2022年にタイの輸出額全体の9%を占め、アメリカ、中国に次ぐ輸出先である。輸入の方は輸入額全体で11%を占め、日本との交易が中国に次ぐ割合を占めている。（参考：タイ商務省）

対日貿易額の推移



JBIC国際銀行より

貿易額の推移のグラフで見ても、親日度が上がり始めたのと同時期くらいから増加し、その高水準を維持している。タイが受ける直接投資も日本からのものが世界の国々の中で最も割合を占めている。直接投資は企業が海外に進出するためにその準備として施されるものもあるため、直接投資額が多いことは日系企業数の多さに繋がる。その企業数だが1998年に2230社だったのが、2021年には5856社になり、2倍以上も増加している。この5856社というのは枚方市の株式会社の数と同じになっている。以上のことから、タイと日本はより経済の結びつきを強めていることが分かる。維持している要因の2つ目は、継続的な支援にあると考察する。対日信頼度を急上昇させた要因は、地震等の突発的なことに対する支援だった。しかし継続的な支援では日本政府が政策を練り、鉄道の整備やバンコクの上水道の整備、タイを代表するスワンナプーム空港建設の資金的、技術的支援を行っている。また、インフラ整備は現地法人設立を円滑に行うことに有効であるため、インフラ整備は直接投資と関係があると言える。つまり日本は直接投資を有効にしたいという狙いもあってインフラ整備等の支援を行っているのだと考察した。タイの親日度の上昇とその維持には、日本の政策が大きく関わっている。

(4) 今年度の親日度を予想する

最後に、これらの3カ国の今年度の親日度の値を予想する。まずイギリスについて考察していく。イギリスの親日度の増加要因として今回は2002年の上皇陛下の訪英を挙げた。このことから、天皇陛下の訪英は親日度の増加に強く結びつくと考えられる。そして、今年(2024年)天皇陛下がイギリスを訪問された。今年も皇室外交は行われているのである。陛下はイギリスで国賓待遇で歓迎され、大規模なパレードがイギリス国内で行われた。また、貿易額は2022年から変わらず3兆円であり、日本はイギリスの重要な貿易相手国となり続けている。訪日英国人の数も、2022年の5万人から2023年には30万人以上に増えている。岸田首相は2023年もイギリスを訪問していて、このことも親日度の増加に結びつくと考えられる。親日度の大きな減少に結びつくよう

な事件も起こっていないので、今年の親日度は増加すると考察する。では具体的な値についてだが、2022年度は70であった。ここからどのくらい上昇するのだろうか。2002年の上皇陛下の訪英の際にあった日本とイギリスの第二次世界大戦のときのわだかまりは現在解消されつつある。また2002年の訪英によって決まった元捕虜への特別慰労金の給付のような措置も、今回の天皇陛下の訪英の際には行われていないので、親日度は上がりはするが、2003年度ほど上がりはしないと予想する。さらに、2024年7月にイギリス国内で行われた選挙において、労働党が大勝し、14年ぶりに政権交代が起こった。この影響によってイギリスは、従来のアジア太平洋地域との関わりを重視する方針から、EUとの対話を重視するようになるだろう。イギリスにとっての日本の重要性が、これまでよりも小さくなり、親日度は天皇陛下の訪英や、岸田首相の積極的なイギリスとの外交があっても、親日度はそこまで回復しないと予想する。よって今年の親日度は75になると予想する。

次に韓国の反日度について考察していく。韓国の反日度は前年より低下すると考えられる。イギリスの親日度の例のように、首脳間の交流は対日感情の改善に繋がることが分かっている。そのため、2023年3月に尹大統領が訪日、5月には岸田総理が訪韓したシャトル外交が12年ぶりに行われたことは対日感情改善の一つの要因となり得るだろう。また3月の首脳会談と同期間中に日本の経済産業省と韓国の産業通商資源省の協議で、韓国に対する半導体輸出規制が解除された。この規制は、韓国の不買運動にまで発展した反日度上昇の要因であった。よって政治的な関係は改善されつつあるといえる。また、昨今の円安ウォン高の促進、コロナ前の社会に戻っていることによる訪日韓国人の増加が見られるため、人的交流量の増加が考えられる。以上より反日度の低下が見込まれる。具体的な数値を上げるとするならば、2022年の値が53であったため、50を下回るのではないかと予想する。つまり、「親日国」になるのではないかと考察する。

タイの次回調査での親日度を考察する。直近のタイの調査では、親日度が98(「そう思う」61%、「どちらかといえばそう思う」37%)であった。前年度に調査が行われていたため、タイは統計的に今年度の調査は行わない。対日世論調査には前年度の日本との政治的交流が大きく関わっているためここでは予測しないものとする。

3. 結論

イギリス、韓国、タイにおいての親日度の増減の要因の考察から、親日度の増加には日本とその国の相互の政治的な結びつきが主な要因となり、減少の要因は多岐にわたることが考察できた。データ不足により各年の親日度を調べることができなかったため、今回上げた事例が親日度の増減の本当の要因であるかということを言い切るのは難しい。また、この親日度の増減の要因を見ることが、その期間内にあった出来事から、次年度の親日度、または反日度を予測することができた。

4. 参考文献

- ・外務省 海外広報課 対日世論調査
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/culture/pr/yoron.html>
- ・伊藤 拓 祥伝社『親日国の世界地図』
- ・非営利シンクタンク言論NPO 日韓共同世論調査
<https://www.genron-npo.net/world/archives/13326.html>
- ・最新図説 政経 浜島書店
- ・今井 佐緒里「ニッポンの評判」 新潮新書
- ・草野 厚「ODAの現場で考えたこと」 NHK出版

- ・ ABCレポート 英国 ABC国別情勢研究会
- ・ 日本国際交流史事典 日外アソシエーツ編集部
- ・ 花井 晶子 日本人と〈残酷〉～イギリスの日刊紙The Timesの日本関連報道から～
https://www.jstage.jst.go.jp/article/james/1/1/1_73/_pdf/-char/ja
- ・ 東京読売web
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/226248>
- ・ 一般社団法人 平和政策研究所
<https://ippjapan.org/archives/5913>
- ・ 松村昌廣 なぜ韓国は反日なのか
- ・ JBIC国際銀行
<https://www.jbic.go.jp/ja/information/investment/image/inv-thailand05.pdf>
- ・ スマトラ沖地震と各国の支援
<https://www2.rikkyo.ac.jp/web/taki/contents/2011/20110526.pdf>
- ・ データで分かる訪日英国人観光客
<https://honichi.com/visitors/europe/uk/data/>
- ・ シンシアリー「今、韓国で起きていること」 扶桑社
- ・ ジャパンナレッジ 日独伊三国同盟
<https://japanknowledge.com/introduction/keyword.html?i=2237>
- ・ 「日ソ中立条約の破棄に関するソ連覚書」
日本国外務省・ロシア連邦外務省『日露間領土問題の歴史に関する共同作成資料集』1992年版, 3(10)
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/hoppo/ryodo.html>
- ・ 「南サハリン州の設置に関するソ連最高会議幹部会令」
日本国外務省・ロシア連邦外務省『日露間領土問題の歴史に関する共同作成資料集』1992年版,3(13)
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/hoppo/ryodo.html>
- ・ 「世界史の窓」
<https://www.y-history.net/appendix/wh1505-053.html>
- ・ 国際時事アナリスト編 日本の命運にかかわる同盟と対立の世界地図 最新情勢版 河出書房新社
- ・ 木佐 芳男 「反日」化するドイツの正体 ワック株式会社
- ・ 酒井 亨 アジア 親日と反日の正体 イースト・プレス
- ・ 井上 和彦 親日を巡る旅 世界で見つけた「日本よ、ありがとう」 小学館
- ・ 第1回日英同盟規約
アジア歴史資料センター
<https://www.jacar.go.jp/nichiro/uk-japan.htm>

髪色が統一される意義は何か

1. はじめに

今日の社会では、従業員の髪色について黒髪であることを規定する企業が多く存在する。2023年に行われた全国750人を対象とした、『あなたの勤務先には髪色に関する規定がありますか』のアンケートでは28%の人が「明確に規定がある」と回答した(楽天インサイト株式会社)。また2021年2月、大阪府立高校の地毛が茶色である生徒が教員に黒染めを繰り返し強要されたとして、大阪府教育庁を大阪地裁に訴えたという事例がある。本研究では、これらの髪色を統一しようとする動きにはどのような意味があるのかを、主に社会的・文化的な側面から考察していく。

2. 考察

(1)日本人は生来黒髪の人が大部分を占める。多くの日本人の髪には黒褐色のユーメラニンが多く含まれているからだ。『異常の構造』では、「異常とは規則性、法則性からの逸脱」であり、「多数者の常態と異なった状態にあるものも異常とみなされる」とある(注¹)。黒髪でない者や黒以外に染色・脱色している者がそれに当たるだろう。

(2)明治維新以降、機能的合理性の追求による、人工的に構成される秩序の形成が進んだ。健康を脅かす「ヨゴレ」は秩序の外部に排除され、人工的に構成された空間の秩序がその秩序に属する人々の健康を維持するものとなる。また、不特定多数の人々の行動・言語は標準化され、均質化され、互いの理性によって理解しやすく、数量的に操作、管理しやすいものとなる。その結果、ヒトとモノの品質管理が高度化し、合理化・工業化・市場経済化が進んだ(注²)。つまり、この人工的秩序は人々に安楽と快適を提供する秩序である。そしてこの秩序において、1%でも混乱や混沌をまねく可能性のある存在は排除または秩序化される。すなわち秩序の外に出されるか、何らかの形で秩序の中に組み込まれることとなる。このように、この秩序は絶えず完成度を高める方向に動く。ところが人工的に構成される秩序は限定された空間でのみ成り立つ。その結果「秩序の過剰性」が発現する。ここで、秩序の過剰性とは、1%でも混乱や混沌をまねく可能性のある存在を排除または秩序化する動きが過剰に行われることをいう。

(3)E.フロム(1900～1980)は「権威主義的パーソナリティ」という人間の性格について考察している。権威主義的パーソナリティとは、自分の価値判断によって行動を導くのではなく、外的な権威を判断や行動の基準として権威に無批判に服従する性格のことをいう。E.フロムはナチス政権の全体主義に下級中産階級の人々が服従した背景にこの心理的要素があると考察している(注³)。上記のように人工的秩序は安楽と快適を提供するものであり、その秩序に属する人々、秩序そのものの生存・成長にとって極めて重要なものだといえる。この人工的秩序によって確約される安楽で快適な社会においても権威主義的パーソナリティという人間の性格が発現し、「秩序の過剰性」を増加させているという側面もあるのではないかと考える。更に、E.フロムは、「人間は想像上の危険や脅威に反応することができる」と言及している。(注⁴)

(4)集団での協力関係の維持においては、協力行動をとらない「裏切り者」を探しだすことが重要であるとされており、そのような裏切り者の検出を担う「裏切り者検知モジュール」の能力が注目されている(注⁵)。これは言い換えれば、集団内における将来的な不安やリスクを感知する能力のことである。この「裏切り者検知モジュール」にはドーパミンとノンアドレナリンのバランスを調整して、落ち着きや満足感をもたらすセロトニンという神経伝達物質が関わっている。セロトニンを分解する際に回収されるものをセロトニント

ランスポーターと言い、セロトニントランスポーターには遺伝子量の多いL型と遺伝子量の少ないS型の2種類がある。L型はセロトニンを多く作り、逆にS型は少なく作る。遺伝子の型はSS型、SL型、LL型の3種類の組み合わせで作られるが、国別調査において一般的に日本人ではSS型が最も多く、全体の65.1%を占めている。SS型が多い人は、一般的に心配性で不安傾向が高いとされている。それに対してアメリカ人のSS型は全体の18.8%で、LL型が多く、安心感が強かったり楽観的になる傾向が見られる(注⁶)。つまり日本人の多くは不安傾向が高く、それによって「裏切り者検知モジュール」の強度が非常に高くなるのだと言える。

(5) 秩序を乱す者に対して何らかのペナルティや制裁を加える行動は、学術用語でサンクションという。多数派でない「異常」な者によって秩序が適切に保たれない、理想的な姿にならないと多くの人が感じたときに、サンクションは正義とみなされる。人工的な秩序の中では、社会的な制裁が比較的簡単に発動する仕組みが備わっている。さらにそれは大きな快感を生じさせるという、脳生理学的考察もある(注⁷)。排除行動がエスカレートして集団のために攻撃を始めると「暗黙の了解に従わない」「まわりから浮いている」という要素によって、過剰な制裁行為であるオーバーサンクションが行われるのである。

3. 結論

以上より、黒髪でない者は、人工的秩序、すなわち社会秩序を乱す可能性がある存在とみなされ、秩序の維持のために統一されるという側面があると考ええる。

4. 参考文献

(注¹) 木村敏『異常の構造』講談社現代新書(1973)

(注²) 成沢光『現代日本の社会秩序 歴史的起源を求めて』岩波書店(2011)

(注³)『アプローチ倫理資料PLUS』東京法令出版(2023)185頁

(注⁴) 高橋三郎『人間の攻撃についての一考察』

https://doi.org/10.4057/jsr.28.4_68

(注⁵) 阿部 慶賀・中川 正宣『洞察問題における制約としての「裏切り者検知」』

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsr1950/28/4/28_4_68/_article/-char/ja/

(注⁶) 中野信子“読む講演会”

<https://www.kouenirai.com/kakeru/closeup/17422>

(注⁷) 中野信子『正しい恨みの晴らし方』ポプラ新書(2015)

人が色から連想するイメージ

1. はじめに

「色彩心理学入門」を読んで、人が色から連想するイメージは世界共通となる色があることを知り、人種や地域が違うのになぜそうなるのか気になって調べてみても見つけられなかったので研究のテーマをこれに決めた。

2. 考察

今回は人が色から連想するイメージが同じになる理由として、「人体の構造」、「色そのものの仕組み」、「歴史的・国際的背景」の3つに分類して考察した。

3. 考察①

はじめに、「人体の構造」である。私達人間は、個人差はあるものの人種、地域などに関係なく、基本的には同じ構造をしている。よって、人間がものを見るときに使う目の網膜の錐体細胞や、色を認識するときを使う脳も基本的に同じであると言える。よって、同じ構造の目で見て同じ構造で認識した同じ色からは、同じイメージを連想すると考えることができる。

4. 考察②

次に、色そのものの仕組みである。色の仕組みには様々あるが、『進出色と後退色』というものがある。これは赤色、黄色などは近くにあるように見え、青色、紫色などは遠くにあるように見えるというものである。赤色や黄色は代表的な進出色であり、目で認識したものに対して飛び出しているような印象を与え、人が無意識に目につきやすい。しかし、目立つ色でも赤色と黄色のような進出色同士だとその性質は打ち消し合う。黄色と黒色のような進出色と後退色を組み合わせることによって、進出色をより目立たせることができる。この黄色と黒色の組み合わせは警告色とされており、この二色は、世界中で禁止行為を周囲に知らせるときや、看板などの目立たせたいものに使用されている。さらに『東京ディズニーランド』でも、『進出色と後退色』の仕組みが使われている。入口から入ってすぐの『ワールドバザール』というエリアは、赤色、茶色、黄色など進出色が使われているのに対して、入口から遠くにある『シンデレラ城』には青色や白色などの後退色が使われている。近くをより近く、遠くをより遠く見せることによって、限られた土地であるディズニーランドがより広く見えるように工夫されている。『進出色と後退色』の原因は、進出色は長波長色であるため近くにあるように見え、後退色は短波長色であるため遠くにあるように見えるからである。これは人種や地域によって変わるものではないため、そこから連想されるイメージは同じになると考えられる。

また、人は黄色や赤色に対して温かい、暑い、青色などに対して冷たい、寒いというイメージを持っている。これは色の『暖色と寒色』という性質で、その原因は私達が日常の経験を通じて脳内に蓄積されてきた情報が無意識のうちに参照され色から温度感を連想しているからではないかと言われている。私たちが普段目にしているのは赤い炎、オレンジの太陽、青い川などであり、これは物理的なものであるため人種や地域によって変わらないので、その色から連想するイメージも変わらないと考えられる。

5. 考察③

さらに、歴史的・国際的背景である。例えば紫は、ローマ帝国の最盛期、貝紫という一つの貝からほんの少量しか染料が取れないアクリルから取る染料を使った染め物の色があり、貝紫はとて希少価値が高かったために帝王や貴族の式服にのみ使用が許されていた。そこから人々に紫色は高貴というイメージが付いたと考えられる。また中国では、『淮南子』天文訓に、『紫宮は太一の居なり』と書かれてお

り、紫宮とは天子、神や仙人のいるところで、太一とは紀元前300年頃の墓から発見された楚簡『太一生水』の前半で、すべての根源を生み出す礎と考えられていたものと言われている。また『山海経』には、『延維との髪が紫の衣をまとっている』、『延木の木の幹が紫』と記されており、延木とは、その木から皇帝などが登り降りし、天地の中央であると言われている木のことである。ここから、中国では紫を神や仙人などと結びつけていたことがわかる。また、中国では前漢の武帝が紫を天帝の色として禁色にした。このように、神と結び付けられたり、帝のみが身につけられる色となっていたため、紫に高貴なイメージが付いたと考えられる。『そしてその中国の影響を受けた日本では、聖徳太子が設定した『冠位十二階』の中で一番位の高い『徳』の帽子を紫色にし、紫を徳以上の身分の人間しか身につけることのできない色としたため、人々に高貴なイメージが付いたと考えられる。さらにイギリスでも王室を象徴する色に紫を用いていたため、高貴なイメージが付いていると考えられる。他にも、貝紫が使われた染め物は世界中で貴重なものだったため、世界中で紫色が高貴なものとして考えられるようになったと考えられる。このように昔にできた紫の高貴なイメージは現在まで続き、今も世界共通して紫には高貴なイメージがついていると考えられる。次に青色については、国際平和と安全維持を目的とする普遍的平和機構である国際連合の旗に自由と平和を意味するものとして使われている。ここから、世界の共通認識として青色に自由と平和のイメージがあると考えられる。また、ヨーロッパには『something blue』といって、花嫁が挙式の日になにか青いのを身につけると幸せになるという言い伝えもあり、ここからも青色に平和や幸福のイメージがあると考えられる。さらにイギリス発祥で日本を含め世界に広がっている『オーラソーマ』というカラーセラピーの世界では、青色は『大いなる意識の海』、『内なる静寂』、『平安の色』として捉えられており、青色に平和というイメージがあると考えられる。ここから、青色は世界共通で自由や平和というイメージがあると考えられる。

6. 結論

「人体の構造」から見ると、人体の構造は人種や地域に関係しないため、そこから連想されるイメージも同じになると考えられる。また「色そのものの仕組み」から見ると、色そのものの仕組みは物理的な現象であるため人種や地域によって変わることはないので、そこから連想されるイメージも同じになると考えられる。さらに「歴史的・国際的背景」から見ると、昔に各国でついたイメージが現代にも引き継がれていたり、支配や貿易の関係によって共通のイメージが付いたり、国際的機関などが特定の色にイメージを付けて用いることで世界共通となると考えられる。

これらの考察から、色から連想するイメージが世界共通となる色がある理由は、「人体の構造」、「色そのものの仕組み」、「歴史的・国際的背景」の3つすべてが理由となっていると考えられる。

また、それぞれに関連性があるのか、他の観点は考えられないか今後考察したい。

7. 参考文献

大山正 色彩心理学入門:ニュートンとゲーテの流れを追って 中公新書 1994

布施英利 色彩がわかれば絵画がわかる 光文社新書 2013

村上元彦 どうしてものが見えるのか 岩波新書 1995

色覚についての基礎知識

<https://cud.nagoya/basic/>

光と色の話 第一部 第41回 色彩の心理

https://www.ccs-inc.co.jp/guide/column/light_color/vol41.html

暖かく感じる色と冷たく感じる色がある理由やそのメカニズムは？【決定版 色彩心理図鑑】

<https://love-spo.com/books/shikisai011.html>

少年の被虐経験に基づく家出による特殊詐欺 ——課題と実施すべき取り組みの提案——

1. はじめに

本研究は、対面での関係から特殊詐欺に関わる少年の背景と社会の取り組みの特徴と課題を、統計資料と先行資料を用いて考察したものである。

特殊詐欺とは、「犯人が電話やハガキ（封書）等で親族や公共機関の職員等を名乗って被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取ったり、医療費の還付金が受け取れるなどと言ってATMを操作させ、犯人の口座に送金させる犯罪（現金等を脅し取る恐喝や隙を見てキャッシュカード等をすり替えて盗み取る詐欺盗（窃盗）を含む。）のこと」¹である。また、少年とは、20歳に満たない者をいう²。

近年、特殊詐欺では、総検挙人員の約2割を少年が占めている³。これは、全刑法犯に占める少年の割合⁴より多い。それを踏まえ本研究は、特殊詐欺に加担する少年の数を減らすことを目的とした。現在の主な公的機関による対策はサイバー空間に対するものがほとんどであり、対面での関係から特殊詐欺に加担する少年への対策が不十分である⁵。よって、本研究では、サイバー空間から特殊詐欺に加担する少年ではなく、対面での関係から特殊詐欺に加担する少年に着目して研究を行った。

少年の非行には被虐経験が関係していることを示した資料や、被虐経験のある少年の心境に関する考察から、特殊詐欺へと繋がると考えられる家出の要因の1つに虐待があると考察した。しかし、虐待問題を解決することには課題があるため、虐待を起因とする家出などから特殊詐欺へと繋がらないようにする取り組みを、社会の様々な場において実施することが必要であると考えた。その例として、元非行少年を対象としたオンラインコミュニティの創設、学校等における非行少年の背景について理解するための講演会の開催を提案した。現在、児童虐待相談対応件数が年々増加していることを踏まえると、この取り組みはより一層必要とされるといえる。

本稿の流れは以下の通りである。「2. 少年による特殊詐欺の現状」では特殊詐欺の現状および暴力団構成員等と少年との関係の現状から、対面での関係から特殊詐欺に繋がらないようにする対策の必要性を述べた。「3. 非行少年と虐待の経験との関係」では、虐待を受けた少年の心理状態を考察し、非行少年の約7割が虐待被害に遭っていたというデータから、危険回避のために家出を行うのではないかと考えた。「4. 家出による小集団と特殊詐欺との関係」では、特殊詐欺という犯罪の性質から、家出などによる小集団と特殊詐欺との関係について考察した。

「5. 児童虐待の現状とアウトリーチ」では、児童虐待の現状から虐待問題の解決は難しいことを示し、特殊詐欺に加担する少年の数を減らすためには、虐待によって家出に至ってしまった少年に対して適切なアウトリーチを行うことが重要であると考察した。「6. 推測される課題」では、非行少年の社会復帰には時間がかかること、社会復帰後にも課題が残るが、その対応を支援団体のみに依存すべきではないことを述べた。その上で、「7. 結論」では、対応を支援団体のみに依存しないため、社会の様々な場においての取り組みが必要であると結論づけ、その例を提案した。

¹ 警視庁ホームページ.特殊詐欺とは。(2024-7-16閲覧)

² e-Gov法令検索.昭和二十三年法律第百六十八号少年法。(2024-7-16閲覧)

³ 警察庁.2019年から2024年までの特殊詐欺の認知・検挙状況について。

⁴ 警視庁生活安全部少年育成課.令和5年中少年育成活動の概況.2024,p.10による。2020年以降は微増傾向で約13%~14.5%で推移しているものの、特殊詐欺の総検挙人員に占める少年の割合より少ない。

⁵ 警視庁ホームページ.特殊詐欺根絶アクションプログラム・東京.;特殊詐欺（振り込め詐欺）について.;警視庁.SNSで実行犯を募集する手口による強盗や特殊詐欺事案に関する緊急対策プラン。(2024-7-16閲覧)

2. 少年による特殊詐欺の現状

2-1. 少年の検挙人員

少年の検挙人員について、2023年では431人となっており、総検挙人員に占める割合は17.6%にのぼる。さらに、受け子の総検挙人員に占める少年の割合は19.6%と、受け子の5人に1人が少年である⁶。このように特殊詐欺の首謀者に末端役として使い捨てにされる人員を減らすことが、最終的に首謀者が特殊詐欺を起こしにくくなることに繋がると考えた。

また、少年の検挙人員は緩やかに減少傾向にあることが分かる（図1）⁷。しかし、総検挙人員に占める少年の割合はわずかに減少してはいるものの17～21%で推移しており、ほぼ横ばいである（図2）⁸。

さらに、刑法犯少年の検挙・補導人員に占める特殊詐欺での少年の検挙人員の割合は、2023年には減少したものの、2014年から2018年にかけては増加、そこから2022年までは横ばいの傾向が続いていた（図3）⁹。そのため、少年の検挙人員が減少しているとはいっても、総検挙人員や刑法犯少年の検挙・補導人員に占める少年の割合自体が減っているわけではなく、依然として状況改善には至っていないことが分かる。

総検挙人員と少年の検挙人員の推移



（図1）総検挙人員と少年の検挙人員の推移

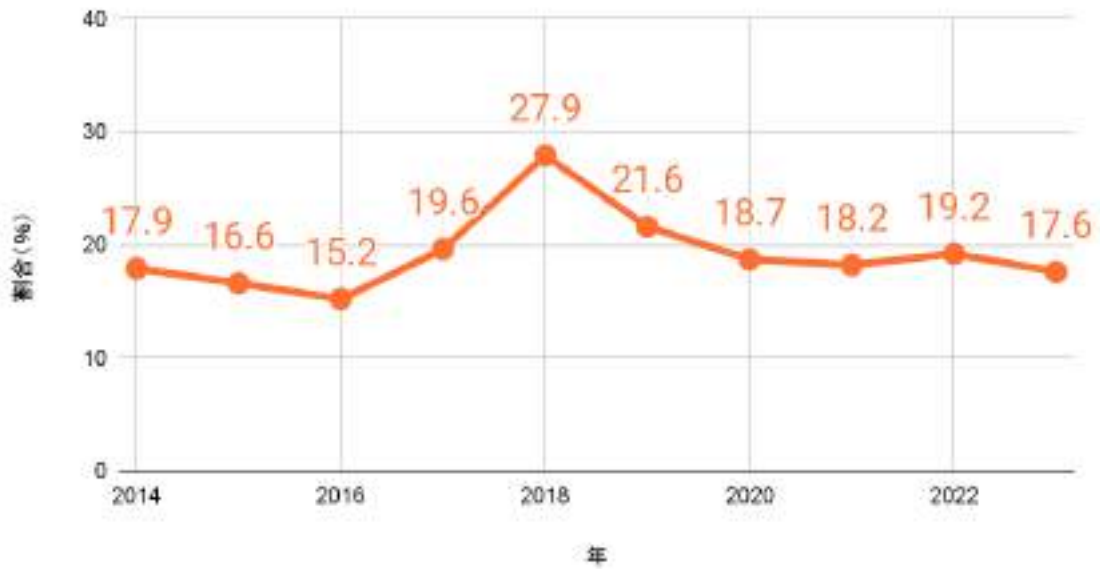
⁶ 警察庁.令和5年における特殊詐欺の認知・検挙状況等について（暫定値版）.2024,pp.5-6

⁷ 警察庁.2019年から2024年までの特殊詐欺の認知・検挙状況について.および警察庁生活安全局人身安全・少年課.令和4年中における少年の補導及び保護の概況.2023,p.8より筆者作成。

⁸ 脚注7参照。

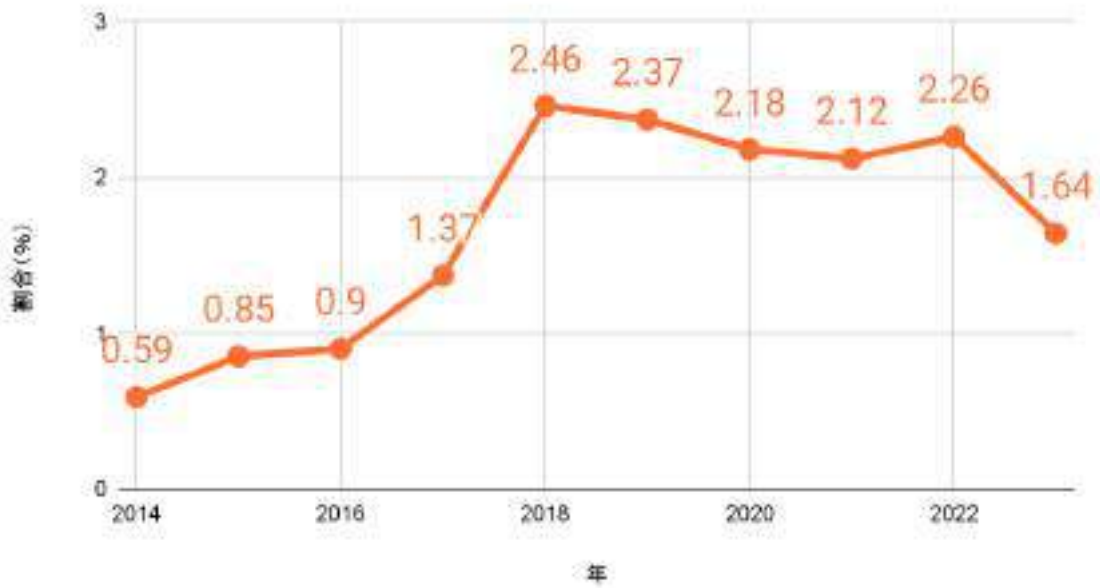
⁹ 警察庁.2019年から2024年までの特殊詐欺の認知・検挙状況について.および警視庁生活安全部少年育成課.令和5年中少年育成活動の概況.2024,p.4より筆者作成。

総検挙人員に占める少年の割合の推移



(図2) 総検挙人員に占める少年の割合の推移

刑法犯少年の検挙・補導人員に占める特殊詐欺での少年の検挙人員の割合の推移



(図3) 刑法犯少年の検挙・補導人員に占める特殊詐欺での少年の検挙人員の割合の推移

2-2. 特殊詐欺加担の端緒と現行の対策

特殊詐欺に関与した少年の事件関与の端緒について、2020年の調査では、「友人・知人からの勧誘」が約4割であった。さらに、「不良集団関係者や暴力団からの勧誘」は22%であり、不良集団や暴力団との関係が以前より強まっている傾向も報告された¹⁰。

実際に、テレビ朝日社会部の阿部佳南によると、トー横¹¹に以前より暴力団組員の姿が増えているという変化がみられた。組員は警察の未成年に対する一斉補導の際に未成年への庇護や逃亡の手助けを行うなど、未成年に対して恩を売るような行為がみられる。その目的は「トー横キッズ」¹²と呼ばれる未成年の中での暴力団組員の存在感を高めることでトー横キッズとの「緩い繋がり」や匿名・流動型犯罪グループを形成し、最終的に彼らを金儲けや犯罪に利用することである可能性があると考えられている。このようなグループは関係性が希薄であるため、1人を逮捕しても全容解明が困難となる。そのため、犯罪組織は犯行に及ぶたびにトー横キッズを招集し、利用することができるとされている。現時点では暴力団組員が少年を巻き込んでいる具体的事例はみられないが、風俗店勤務や特殊詐欺の末端役を担わせる可能性は十分考えられるとされている。対策としてトー横には新宿区により柵が設置され居座れないようになっているが、トー横キッズらは規制の緩い場所に散らばっており封鎖は成功していない¹³。

このように、現在既に暴力団組員と少年らの間での関係性ができつつある状況にあるため、早急な対策が求められる。

現行の警視庁による特殊詐欺の対策としては、被害者となる高齢者への注意喚起、SNS等のサイバー空間からの闇バイト等の情報の削除が挙げられる¹⁴。

少年の友人・知人からの勧誘による特殊詐欺への加担も端緒の4割を占めており、不良集団関係者や暴力団との繋がりによる加担も増えているのにも関わらず、少年とそれらとの繋がりを断ち切ることに特化した対策が行われていない現状がある。それを踏まえ筆者は、SNS以外の入口から特殊詐欺に加担する少年を減らすことも必要であると考ええる。

そのため、以下に示す理由により、少年が特殊詐欺に加担することを防ぐには、社会全体として虐待を起因とする家出などから特殊詐欺に繋がらないようにする対策を実施することが必要であるといえる。

3. 非行少年と虐待の経験との関係

3-1. マズローの欲求の階層に基づく家出をする心理

まず、非行少年らの背景には虐待の経験がある傾向にあるとされている。

アメリカの心理学者マズローは、人間の欲求を、欲求の階層を用いて理論化した(図4)¹⁵。そのうち第2階層の安全欲求とは、不安・恐怖からの自由を求める欲求である。一般的に大人はこの反応を抑制することを理解しているが、幼児は脅威や危険に対する反応を抑制しないため、この欲求がはっきり見られる¹⁶。これより、低次の欲求ほど優先順位が高いため、虐待を受けている少年らはこの欲求を満たそうとして、家出などをして家庭以外に居場所を求めるのではないかと考えた。

¹⁰ 法務省法務総合研究所.研究部報告64 特殊詐欺事犯者に関する研究.2023,p.34による。特殊詐欺に関与した全国の少年院在院者を対象に2017年に東京矯正管区において実施された調査に基づく形で、2020年にも調査が実施された。17年調査では、「友人・知人からの勧誘」が6割で、「不良集団関係者や暴力団からの勧誘」は14%であった。

¹¹ 「トー横」とは、新宿歌舞伎町の複合商業施設「新宿東宝ビル」周辺の広場を指す。

¹² 「トー横キッズ」とは、トー横に集まる若者を指す。

¹³ ABEMA TIMES.なぜ暴力団はトー横キッズを庇うのか?「ハウル」「トー横の帝王」になり変わるため?…記者がたどり着いた“真相”.2024.

¹⁴ 脚注5参照。

¹⁵ 浜島書店編集部.最新図説公共.株式会社浜島書店 代表者 浜島晃,2022,p.23による。図は筆者作成。

¹⁶ 松井剛.マズローの欲求階層理論とマーケティング・コンセプト.1987,p.3



(図4) マズローの欲求の階層理論に基づくピラミッド

また、被虐待経験から同じような境遇の者が集まる小集団が形成され、非行や犯罪に至っていたケースが散見される¹⁷。虐待などの危険を回避するために家出などを行うことは、マズローが理論化した欲求の階層を具現化したものとして説明できる。

3-2. 非行少年の被虐待経験

全国の少年院中間期教育課程に在籍している全少年の70.5%の子どもは家庭内と家庭外の両方で被害を受けており、そのうち9歳以上では被虐待児の2割近くに非行がみられる可能性が示されたと報告されている。そして、「出ていけ」等の暴言があると、それが家出に結びつく可能性が指摘されている¹⁸。ここから、非行少年の背景には、被虐待経験を有する傾向にあることが分かる。

家出は、被虐待経験から同じような境遇の者が集まる小集団を形成する一因になる。実際に、困難な状態に陥っている10代の若者の支援に取り組む認定NPO法人D×Pが2024年に開いた記者会見で、「グリ下」¹⁹に集まる若者らを同法人が調査したところ、全体の6割が「家庭内での暴力や虐待があった」と供述したと報告されている²⁰。

4. 家出による小集団と特殊詐欺との関係

4-1. 特殊詐欺首謀者が集団を標的とすると考えられる理由

「特殊詐欺は、その他詐欺と比べて共犯者率に有意な差があり、多人数による共犯事件の構成比が高い傾向が認められた。……さらに、令和3年の刑法犯・特別法犯の検挙人員に占める暴力団構成員等の割合が5.0%である一方、同年の特殊詐欺の検挙人員に占める暴力団構成員等の割合は13.6%であり、このうち主犯の検挙人員に占める暴力団構成員等の割合が39.5%である」ことが報告されている²¹。

したがって、特殊詐欺の首謀者はこのように集団でいる人々を標的にし、特殊詐欺の犯罪者グループの一員として利用するため、複数人を特殊詐欺に加担させようと考えられる。よってこのように家出を行い集団を形成すると、他の犯罪と比べ、より特殊詐欺に加担させられやすくなるといえる。

¹⁷ 廣末登.闇バイト——凶悪化する若者のリアル.祥伝社,2023,p.190

¹⁸ 安部計彦.子ども虐待と非行の関係.2018,28p.

¹⁹ 「グリ下」とは、大阪の繁華街の1つであるミナミの、グリコ看板下の通称を指す。

²⁰ 読売新聞オンライン.「グリ下」に若者なぜ集う…家庭内で暴力や虐待「家が安心安全な場所ではない」.2024.

²¹ 法務省法務総合研究所.研究部報告64 特殊詐欺事犯者に関する研究.2023,p.110

4-2.暴力団構成員等と少年との関係

暴力団構成員等からの誘いが特殊詐欺の加担の端緒であると答えた少年の割合は増えているが、検挙人員は暴力団構成員等よりも少年の方が多いという結果からは、暴力団構成員等はあくまで組織の中核部であり、少年らに声をかけて特殊詐欺の末端役を担わせていると考えられる(図5)²²。

暴力団構成員等と少年の検挙人員の推移



(図5) 暴力団構成員等と少年の検挙人員の推移

廣末(2023)が10年程度半グレを経験した人物へ取材を行ったところ、特殊詐欺等を行う半グレは地縁的な繋がりの延長にあるということが分かった²³。つまり、地縁的な繋がりの延長というのは、非行の頃の先輩・後輩関係から、犯罪者グループの一員となることを意味すると考察している。また、廣末(2023)は薬物を扱う売人の元締めや先輩から闇バイトへ勧誘されたら、少年は無下に断れないと思うと述べている²⁴。

さらに、2007年9月から2009年9月の間に実施された深夜の街頭・公園にいる少年らへの調査によると、マリファナ等の薬物の使用経験が認められる少年や、大手暴力団との関わりをもって少年がおり、暴力団は組織の維持・拡大と構成員確保のために、深夜徘徊などの虞犯傾向を示す少年に対して真っ先に加担させようとすると言われている²⁵。これは、特殊詐欺が暴力団構成員等と関係が深いとする法務省法務総合研究所(2023)の研究とも合致する。

²² 警察庁.2019年から2024年までの特殊詐欺の認知・検挙状況について.より筆者作成。

²³ 廣末登.闇バイト——凶悪化する若者のリアル.祥伝社,2023,p.32およびp.95による。廣末は「半グレ」を、「コロナ禍を経験した昨今では、暴走族やグレん隊上がりの非行青少年に加えて、現役の大学生や会社員、フリーターなどの非行・犯罪経験のない者、多重債務者、暴力団を離脱した者で犯罪に従事する『元暴アウトロー』(社会復帰に失敗した暴力団の『真正離脱者』や、計画的な『偽装離脱者』)なども半グレと呼ばれています。」としている。

²⁴ 廣末登.闇バイト——凶悪化する若者のリアル.祥伝社,2023,p.191による。読売新聞オンライン。

「トー横」の少年連れ去った暴力団組員、自宅に押しかけ親に「金を払わないと命の保証はない」。2023.によると、少年と暴力団構成員等との間の違法薬物を巡るトラブルの一例として、歌舞伎町の路上で男子高校生を連れ去りスパナで頭を殴るなどして重傷を負わせた上、母親を脅し現金20万円を受け取るなどした疑いで、住吉会系暴力団組員の男ら4人が逮捕されていた事件が挙げられる。

²⁵ 田中勤.深夜の繁華街における虞犯少年の社会医学的研究.2010,10p.

さらに、「家庭が正常に機能していないと、こどもに対する監護に間隙が生まれ、実質的なネグレクトから生じる重大な結果を助長する」とされている²⁶。

4-3. 繁華街等集まる少年等が金銭を必要とすると考えられる理由

グリ下で多額の金銭を得るために違法風俗店に勤務している20歳の女性への取材によると、違法風俗店勤務の理由として、グリ下で流行しているオーバードーズ²⁷を自身も行いたい、それを行うには多額の金銭を必要とすることを挙げていた²⁸。

厚生労働省の研究班が2021～22年にかけて調査した結果、オーバードーズで搬送された患者の一度に飲む薬の数の平均は101.8錠で、特に解熱鎮痛薬、せき止め・たん切りの薬、風邪薬等が多く使用されていた²⁹。そこで、筆者が大手製薬会社3社のこれらの薬の価格を調べたところ、以下の表のようになった(表1)³⁰。これらの薬を実際の患者が飲んだ平均の量と同様に飲むとすると、1つあたりの商品の内容量に比べ約3～5倍必要であり、安くても3,300円ほど、高ければ12,375円ほど金銭が必要となる。これを1週間続けるとすると、高ければ87,000円ほどかかる計算になる。

前述の取材を受けた女性はオーバードーズに必要な金銭のために違法風俗店に勤務していたが、同様の理由で特殊詐欺に加担する少年もいるのではないかと考えた。

市販薬の名称 (アリナミン製薬)	ベンザブロックS プレミアム	ベンザブロックL プレミアム錠	タイレノールA	ベンザブロック せき止め錠
メーカー希望 小売価格(税込)	2,197円/24錠	1,757円/30錠	2,090円/30錠	1,650円/36錠
市販薬の名称 (大正製薬)	パブロンS ゴールドW錠	パブロンS せき止め	パブロンのだ錠	ナロンエースT
メーカー希望 小売価格(税込)	1,540円/30錠	1,606円/24錠	2,420円/36錠	902円/24錠
市販薬の名称 (第一三共ヘルスケア)	ロキソニン 総合かぜ薬	新ルルAゴールド DXα	プレコール持続性 せき止めカプセル	カロナールA
メーカー希望 小売価格(税込)	2,178円/24錠	1,100円/30錠	2,475円/20カプセル	1,078円/24錠

(表1) 市販薬の名称と価格

²⁶ 脚注25参照。しかし、田中(2010)は、「親権・監護権者および義務教育期間における教師との関係性が良好なこどもにも虞犯傾向は認められる」とも報告している。また、田中(2010)はSutherland&Cressy(1956)により提唱された文化的接触理論(Differential Association Theory)によって、犯罪傾向のある大人や非行傾向のある仲間との接触により、犯罪・非行行動が招かれ、そして非行少年が形成されることが指摘されていると述べている。

²⁷ 「オーバードーズ」とは、厚生労働省によると、医薬品を、決められた量を超えてたくさん飲んでしまうことを指す。

²⁸ FRYDAI DAGITAL.大阪名物「グリコの看板」の下でたむろする「グリ下キッズ」の間で「違法風俗店勤務」が流行している訳。

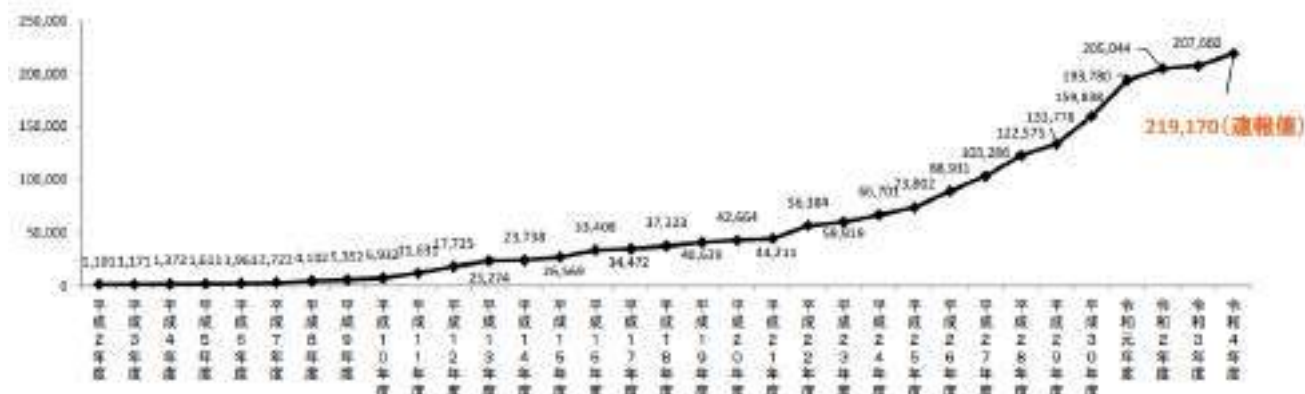
²⁹ yomiDr..オーバードーズ 何が危険? 一度に飲む薬の量は平均101.8錠との調査結果も…薬剤師が啓発活動.2023.

³⁰ アリナミン製薬, 大正製薬, 第一三共ヘルスケアホームページ. (2024-7-21閲覧)

5. 児童虐待の現状とアウトリーチ支援

5-1. 児童虐待相談対応件数と問題解決の課題

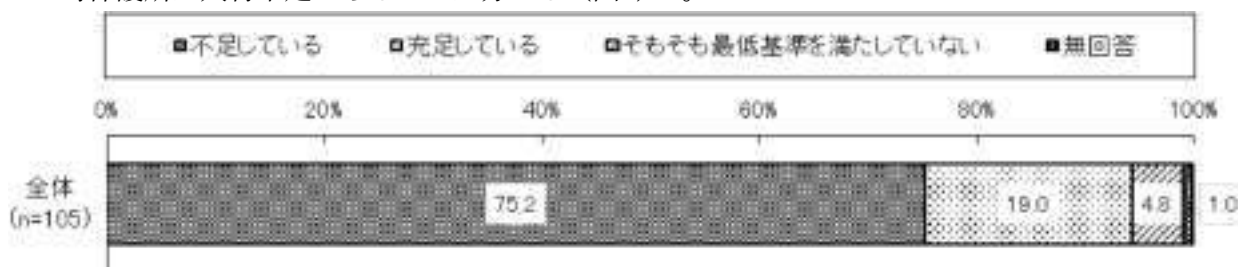
児童相談所における児童虐待相談対応件数は年々増加しており、今後もその傾向が続くと考えられる（図6）³¹。



（図6）児童虐待相談対応件数の推移 こども家庭庁より引用

また、東京都・児童相談センターは、虐待相談では子ども自身が困っていることはあっても、少なくとも親は困っていないとしている。そのため、児童相談所の判断でその家庭に虐待に関する調査に入るが、親からすれば「なぜ来たのか」と抵抗を感じるため、相談関係を構築しづらい点が難しいとしている³²。

さらに、全国の一時保護所への調査によると、人材の充足状況について、人材が「不足している」一時保護所は75.2%、「そもそも最低基準を満たしていない」一時保護所は4.8%あり、8割の一時保護所が人材不足であることが分かる（図7）³³。



（図7）全国の一時保護所における人材の充足状況 こども家庭庁より引用

³¹ こども家庭庁.令和4年度 児童相談所における児童虐待相談対応件数（速報値）.2023,p.1による。図は報告書より引用。田中理絵.社会問題としての児童虐待——子ども家族への監視・管理の強化——.2011,20p.により、増加傾向が続いている理由として、2000年に制定された「児童虐待防止等に関する法律」およびその改正法により、以前より児童虐待の定義が抽象的になり範囲が拡大したこと、さらに、児童福祉法第25条および児童虐待防止等に関する法律第6条で、「虐待に関する通告義務」が国民に課されたこと、「児童虐待」という言葉の浸透とともに自身や他人の養育態度に関心が寄せられるようになったこと、相談が誤報であったとしても取り消されないことが挙げられている。児童虐待相談対応件数が、必ずしも児童虐待件数と一致するわけではないことは考慮すべきである。

³² Yahoo! ニュースオリジナル.「親子の暮らし」か「子供の保護」か 対応難しい児童虐待—児童相談所インタビュー.2014.

³³ こども家庭庁.令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業 児童相談所における児童福祉司等の勤務実態等についての調査研究事業報告書.2022,p.47による。図は報告書より引用。さらに、産経ニュースに取材を受けた児童相談所所長によると、所長のもとでは緊急対応のみで7人の担当ケースワーカーが計約50件を同時進行しており、家庭復帰後の面談などの長期的な支援は別の10人超が、6自治体分を受け持っている。また、家庭訪問や面談は1件のみで数時間に及ぶこともあり、児童相談所が各家庭に丁寧に向き合い続けることは難しいとしている（産経ニュース.家庭復帰と親失うリスク 児相、難しい判断.2020.）。

5-2.少年らへのアウトリーチ

厚生労働省は、平成30年度ひとり親家庭等自立支援関係予算案に若年被害女性等支援モデル事業を盛り込み、モデル事業の創設にあたり「未然防止」「夜間見回り」「声かけ」をアウトリーチ支援の枠組みとして明記した。

しかし、厚生労働省では支援に関する具体的な方法については言及されていない³⁴。そのため、アウトリーチの方法は各支援団体に委ねられている。実際に、荒井（2018）が調査を行った団体は声かけをその時間帯や適任者を選んだ上で実施しているが、厚生労働省の指示が不明瞭なため、荒井（2018）が調査を行った団体のように対象者個人の特性に合わせて対応しているケースは少ないと考えた。荒井（2018）が調査を行った団体では、主な活動目的を支援機関に繋げるのではなく、話を聞くことで関係性を構築し、ともに歩んでいくこととしていた³⁵。

警察による非行少年に対する一斉補導では少年の保護者への連絡を取ったり、少年に対して帰宅することを促したりする³⁶。10代を対象に無料相談を行うNPO法人若者メンタルサポート協会の岡田沙織理事長は「一方的に家に帰すだけなら、居場所を無くし、心を追い詰めることになる」と指摘する。また、同協会が支援した若者の中には、家族の元に帰されたことで再び親から虐待を受けた事例もある³⁷。よって、時間をかけて話をするというスタンスである、荒井（2018）が調査を行った団体の方法は効果的であると考えられる。

以上の理由から、虐待を受けた少年を一時保護をすることが難しいことが分かる。虐待と非行、そして特殊詐欺には関係があることが前述の論証よりいえるが、特殊詐欺の要因の1つである虐待問題を短期間で解決することは、一時保護の難しさから現実的でないといえる。そこで特殊詐欺に加担する少年の数を減らすためには、虐待と特殊詐欺との間である、虐待の起因となる家出において適切なアウトリーチを行うことが効果的であると考えられる。

6. 推測される課題

不良行為をなし、又はなすおそのある児童等を入所または通所させる施設である児童自立支援施設では、進学に関する支援や社会生活を送るための指導や支援ができていることが伺われるものの、退所後に進学した学校の中途退学率は約3割となっている。また、退学理由としては「学生間、教師等との人間関係」が約7割と最も高い割合であると報告されている³⁸。このことから、人間関係が改善されない限り、退所後の居場所は最終的に、既に付き合いのある入所前の非行集団になるのではないかと考えられる。その結果、再犯に至る可能性が高くなると考えられる³⁹。

グリ下では2023年8月から大阪府・大阪市と府警、地元商店会、若者を支援している団体が「グリ下会議」を設置した。これまで5回会合を開いて課題や対策を共有しており、グリ下で若者の支援を続けている認定NPO法人D×Pは、2024年秋から本格調査に乗り出す予定である⁴⁰。

³⁴ 荒井和樹.若年被害女性等支援モデル事業におけるアウトリーチの方法ーアウトリーチ（直接接触型）実践からの分析.2018,p.1

³⁵ 荒井和樹.若年被害女性等支援モデル事業におけるアウトリーチの方法ーアウトリーチ（直接接触型）実践からの分析.2018,p.5

³⁶ NHK NEWS WEB.「グリ下」周辺で 若者ら一斉補導 大阪・ミナミ.2023.

³⁷ 産経ニュース.「グリ下」に「トー横」 たむろする少年少女.2021.

³⁸ 東京都福祉局.東京都における児童養護施設等退所者の実態調査報告書（全体版）.2017,p.77-78

³⁹ また、法務省法務総合研究所.令和3年版犯罪白書.2022,449p.によると、保護観察所においては、少年の場合には、地元不良集団との繋がりから特殊詐欺グループの加入に至るケースも見られるため、交友関係改善を促す指導及び特別遵守事項や生活行動指針に基づき、離脱を実行させる指導を行うとされている。特殊詐欺で保護観察所に行くと、このように特殊詐欺グループから離脱する指導が行われている。しかし、一時的に不良集団等から離脱することができたとしても、児童自立支援施設の退所後の学校の中退率が高く、その理由が人間関係であったことと同様に、学校に復帰したとしてもその中退後に非行グループに戻ってしまえば、それがいずれまた特殊詐欺グループへとになってしまう可能性がある。

⁴⁰ 読売新聞オンライン.「グリ下」に若者なぜ集う…家庭内で暴力や虐待「家が安心安全な場所ではない」.

同法人は、2022年8月からグリ下にテントを立て、菓子類や飲料を提供し、若者と話をするフリーカフェ事業を行っている。また、2023年6月には食事や仮眠、スタッフへの相談が可能なユースセンターを設立した⁴¹。

このように、グリ下などから少年を排除するのみではない対応も取られているが、D×Pの事業や、虐待などでグリ下に集まった少年を暴力団構成員等から守るためのシェルターを整備したとしても、少年が人間関係を構築し、確実に社会復帰をすることができるまでには時間がかかる。そして、社会復帰をしたとしても、元非行少年であることから、すぐに周囲に受け入れられるわけではないことが推測される。また、こうした長期的な支援を行うのが支援団体のみになると、その団体の負担は大きくなる。すると、東京都福祉局（2017）のデータと同様に、社会復帰をしても以前の居場所に戻ってしまうことが推測される。よって、社会復帰をすることができたとしても課題が残ると考えられる。

前述のように、虐待問題を解決するための一時保護所は人員確保が難しく、NPO法人だけでは負担が大きく支援が十分ではない現状がある。そのため、それらの団体に頼り切るのではなく、社会の様々な場においてこの問題に取り組む必要があるといえる。

グリ下では、2023年3月から大阪府警により防犯カメラが設置されているが、専門家は「（防犯カメラ設置で）“グリ下”での犯罪は減ったと思うが、問題の根本的解決ではない。根本的解決には、行政も含めた街ぐるみでの対策が必要だ」と指摘している⁴²。

7. 結論

少年が特殊詐欺に加担することを防ぐためには、目の前の被害者を減らすことだけに注力するのではなく、虐待を起因とする家出などの非行から、特殊詐欺に繋がらないようにする対策が求められると考えた。「虐待を起因とする家出などの非行から、特殊詐欺に繋がらないような対策をする」というのは、少年らの居場所を奪うことではなく、荒井（2018）が調査を行った団体のような、少年らに寄り添った対応をしていくということである。その上で、対応を専門の支援機関等に依存するのではなく、社会の様々な場において対応していくことが求められる。

「2. 少年による特殊詐欺の現状」で述べたように、トー横では既に少年らが暴力団組員との関係を持ちつつある現状がある。これはグリ下、名古屋市中区栄のドン・キホーテ横である通称ドン横、福岡市天神の警固公園等の同様の場所でも起きる可能性が十分あると考えられる。暴力団構成員等が少年らにこれ以上関わる前に、早急な対応が必要である。

推測される課題として、「6. 推測される課題」で示した通り、非行少年らが社会復帰後に再度以前の居場所に戻ってしまうことが挙げられる。この課題を解決するために、同じ支援団体等の支援を受けた人同士が繋がることができるコミュニティを作ることを提案する。社会復帰後に周囲の人から向けられる視線は、当事者にとって精神的負担になりうると推測される。そのため、支援団体等の支援を受けた人同士が繋がることにより、当事者同士の悩みを相談できると考えた⁴³。

類似の取り組みとして、虐待サバイバーと呼ばれる虐待を経験した人のための自助会や、ユースセンターは存在するが、これらは対面での交流等が主な活動とされている。そこで、実際に対面で集まらなくても、元非行少年で、支援団体等の支援を受けて社会復帰をした人同士がより気楽に悩みなどを相談し合えるようなオンラインコミュニティの創設は効果的であると考えた。

⁴¹ 認定NPO法人D×Pホームページ。（2024-7-21閲覧）

⁴² FNNプライムオンライン.トラブル多発していた「グリ下」防犯カメラ設置2カ月…“映らない場所”で今もトラブル 必要なのは“若者の自立”【大阪発】.2023.

⁴³ しかし、このコミュニティを作る上でも懸念事項がある。それは、オンラインコミュニティであり気楽に話しやすいからこそ、上手く人間関係を築くことが難しい少年らにとって、悩みを相談、共有できる場所となる一方で、思い違いなどによるトラブルの場所ともなる可能性があるということである。非行少年から社会復帰をした人として、同じ経験を持つ人同士が自由に交流できることは重要であると考えた。この懸念事項の解決のため、そのコミュニティには同じ支援団体等の支援を受けた人しか加入できないようにするなどの制限が必要であると考えた。さらに、コミュニティ内での発言は最小限に留めるものの、支援団体のメンバーも加入し、管理人などとするのも解決策となると考えた。

実際に、少年院出院者の自助グループであるセカンドチャンス！は対面での交流会を開催しているのに加え、交流会が開催されない地域のメンバーが交流できるよう、メッセージアプリやインターネットでもグループを作り交流を深めている⁴⁴。

このようなコミュニティは、グリ下などに集まる非行少年の社会復帰後の支援としても有効であると考えられる。

また、学校や地域住民の理解も不可欠である。元非行少年やその家族を「悪」として排除しようとすればするほど、立ち直りはより難しくなる。ありのままの元非行少年の声に耳を傾け、同じ社会を生きる1人の人間として受け入れることで、自分らしく生きることができるようになり、非行少年同士の繋がりでない「本当の仲間」にも出会えるはずである⁴⁵。

法務少年支援センターは、非行少年の支援団体等に向けた講演を行っている⁴⁶。このような講演を学校等でも行うことで、生徒や教員の元非行少年に対する差別的な言動を軽減することができる考えた。中川知宏により、非行グループの友人以外に付き合える仲間がいない少年らは、同級生や教師、警察から差別的な扱いを受けた少年の方が受けなかった少年よりも非行グループの一員としての自覚が強かったことが報告された⁴⁷。これにより、社会復帰後の周囲からの視線が、社会復帰した元非行少年に影響することが示される。講演会等を開催するという取り組みは、支援団体に依存しない取り組みとして挙げることができる。元非行少年に対する差別的な言動を軽減するということは、元非行少年が社会復帰をしたあとに生活をしやすくなることに繋がる。

社会復帰をしたあとの周囲からの視線による精神的負担の軽減のため、「非行少年にも辛い背景がある」ということを、学校等の少年と関わる施設は講演等を通じて改めて認識するべきである。

オンラインコミュニティの創設は、社会復帰をしたあとに課題を抱える少年らに対しての支援であり、講演会の開催は、社会が社会復帰をした少年らを受け入れるための支援だといえる。

8. 今後の展望

本研究では特殊詐欺に加担する少年の数を減らすため、対面での関係から特殊詐欺に加担する少年について研究を行った。今回は家出などに至る過程を虐待に限定したが、認定NPO法人D×Pによるグリ下での調査では、約4割の若者は虐待がなかったもののグリ下に集まっている。調査の発表では集まった若者の中で人数の割合が大きい虐待について注目されていたが、虐待以外の理由でグリ下等の繁華街に集まる少年についても考察をする必要がある。この約4割の若者がグリ下に集まる理由を詳しく見ていくことで、家庭での虐待はないが、いじめなどで学校に居場所がないというような、今回の研究と類似の例がある可能性が予測される。その場合、今回提案した支援の方法を活かすことができる可能性がある。また現在、SNSや報道によって、グリ下が観光スポット化し、グリ下等集まる理由が家庭の問題などから憧れなどに変化しつつあるという声もある⁴⁸。グリ下等に近づかないように啓発をする必要もあるが、それによりそのような場所に集まる少年らへの差別意識が助長される懸念がある。この懸念を解決することは難しいが、グリ下等に集まらないよう啓発は行うものの、そこにいる少年らを単純に悪だとするのではなく、各個人の背景を想像することが必要である。これには、今回の提案の1つである学校等での講演会の開催が効果的であると考えられる。

また、本研究では特殊詐欺の問題について考察したため、児童虐待問題についての解決策を提示することができなかった。児童虐待問題は、即座に解決することは難しい問題である。しか

⁴⁴ JAMMIN.CHARITY FOR 少年院出院者に新たな居場所を。当事者同士が支え合い、再び犯罪に戻らず社会復帰できる道を～NPO法人セカンドチャンス！.2020.

⁴⁵ 龍谷大学犯罪学研究センター.“つまずき”からの“立ち直り”を支援するためのハンドブック. 2021,p.13

⁴⁶ 法務少年支援センターホームページ. (2024-7-21閲覧)

⁴⁷ 日本心理学会.誌上公開講座 なぜ、少年たちは非行グループに身を寄せるのか？.2023.

⁴⁸ 関西テレビNEWS.「グリ下」に集まる若者たちに“変化” 憧れてやって来る少年少女…市販薬で“バキる”のが流行 「グリ下」という“沼”から立ち直ろうとする若者 心ある大人たちの“支援の輪”. 2023.

し、児童虐待相談対応件数の推移からも、この問題は喫緊であるといえる。本研究において、根本的なこの問題を解決しないことには、少年の特殊詐欺加担を減らすことには繋がらないといえる。短期間で解決させることが難しい問題であるからこそ、一時保護所の人員不足問題などを解消するなどの、長期的な解決方法を研究していきたい。

9. 謝辞

本研究を行うにあたり、アカデミック・リーディングおよびアカデミック・ライティングにおいて大阪大学全学教育推進機構・堀一成教授並びに坂尻彰宏准教授にご指導を賜りました。ここに感謝の意を表します。

子供が攻撃的にならないアニメ・特撮の表現

1. はじめに

日本には多くの子供向けアニメ・特撮があるが、中には主人公たちが敵を攻撃して倒す暴力が含まれるものがある。子供向けのテレビ番組は子供に教育的影響を与えられ、多くの子供がアニメ・特撮の作中の暴力に影響されてむやみに人を攻撃し続け、将来暴力的になり、反社会的行動を起こすことは社会にとって悪影響となると考える。しかし、戦闘シーンを含むアニメ・特撮を視聴することで、子供が必ずしも攻撃的になるとは限らない。それは、親による教育や子供自身の経験によって子供が人を傷つけるべきではないと学習するためだと考えられる。しかし、私はそれだけではなく、アニメ・特撮の作中の表現にも子供が攻撃的にならない要因があるのではないかと考える。それでは日本において戦闘シーンがある子供向けアニメ・特撮を見た子供が攻撃的にならない表現とはどのようなものか。

子供が攻撃的にならないアニメ・特撮の表現を調べるにあたり、私は戦闘シーン、セリフ、物語の設定・構成に視聴者の攻撃性を抑制する要素があると考えた。本研究で攻撃性とは、攻撃行動や攻撃反応が生み出される内的な心理過程を指し、攻撃的な思考や関心、攻撃的な感情、攻撃への意欲や願望がこれに当たる(大淵、2000)。私が戦闘シーン、セリフ、物語の設定・構成を取り上げたのには理由がある。戦闘シーンではキャラクターたちが変身して敵を攻撃をするところが描かれるが、そのように作中で最も攻撃的なシーンにおいて攻撃性が抑制されるような表現がされているのではないかと考えた。セリフについては、そこで使われる言葉に攻撃性を抑制する要素があるのではないかと考えた。そして物語の設定・構成に注目したのは、キャラクターたちが戦う背景や、物語の戦闘シーン以外の場面に攻撃性を抑制する要素があると考えたからだ。文献購読をすることで、戦闘シーンを含むアニメ番組の「プリキュアシリーズ」、特撮ヒーロー番組の「仮面ライダーシリーズ」「スーパー戦隊シリーズ」の戦闘シーン、セリフ、物語の設定・構成と、暴力映像においてどのようなものが攻撃を促進または抑制するのかを調べ、アニメ・特撮の表現と攻撃を促進しない表現または抑制する表現が一致しているか考えた。また、人間の自己の発達についてや、物語が人間に及ぼす影響について調べ、それらがアニメ・特撮の表現とつながり、攻撃を抑制する要素になるかを考えた。戦闘シーンを含むアニメ・特撮で文献から表現を調べる対象の作品は、東映アニメーション株式会社の「Yes！プリキュア5」(2007～2008、全49話)「Yes！プリキュア5GoGo！」(2008～2009、全48話)、また東映株式会社の「仮面ライダーシリーズ」(2000～2018、20作品、全960話)、「スーパー戦隊シリーズ」(2000～2018、19作品、全939話)とする。「Yes！プリキュア5」「Yes！プリキュア5GoGo！」は友達同士の女子中学生らがプリキュアという戦士に変身し、邪悪な組織から妖精の大事なアイテムを守る話のアニメ番組である。「仮面ライダーシリーズ」「スーパー戦隊シリーズ」は主人公たちがそれぞれの作品名で呼ばれる戦士に変身し、怪人と戦う特撮テレビドラマシリーズである。

2. 考察1 戦闘シーン

「プリキュアシリーズ」、「仮面ライダーシリーズ」、「スーパー戦隊シリーズ」のいずれも毎回の話の中にキャラクターが変身して敵と戦う戦闘シーンが含まれる。そこでキャラクターたちはパンチやキック、魔法などの技を使って敵を倒す。「仮面ライダーシリーズ」の技の表現について小林(2012)は「平成ライダーではCGによる表現の可能性が広がり、必殺技もただのキックではなく映像的に派手になった。よって子供が真似できるレベルを超越し、『子供が真似をする』という苦情は今ではほとんど聞こえなくなったという。」と述べている。また「Yes！プリキュア5GoGo！」ではフェンシングで用いられる剣からアイディアを得たキュアフルーレというアイテムが登場するが、それについて本作品のプロデューサーである鷲尾はインタビューで「でも、あれは直接相手に突きつけない、と決めていた。決めポーズまではキュアフルーレを使って、そこから光線のような技が出る。アクション自体に使うことはなかった。」(「あれ」はキュアフルーレを指す)と述べている(加藤、2012)。他にも別作品の「Yes！プリキュア5」でキャラクターたちが使う技を見てみ

るとなにもないところから水や炎、蝶の形をした光を出すエフェクトが使われていることがわかる。これらのことから「プリキュアシリーズ」、「仮面ライダーシリーズ」でキャラクターたちが使う技の表現にCGやアニメーションによるエフェクトが使われていることがわかる。エフェクトが使われることによって技による攻撃は、現実ではあり得ることのない、つまり非現実的なものになっており、また映像的に派手で華やかなものとなっている。このようなエフェクトが使用される戦闘シーンは攻撃性を抑制するのか。クラーエ(2004)は次のように述べる。

もし視聴者が提示される暴力から心理的に自分自身を遠ざけることができれば、攻撃促進効果は抑えられる。映像のもつ芸術的な特色のような、メディア内容の非攻撃的な側面に注目することで、あるいは、描写される暴力は虚構であり、現実ではないという事実に関心を向けることで、距離を置くことができる。

エフェクトによる技の派手さや華やかさは映像の芸術的な非攻撃的側面に当たると考えられる。また、攻撃の非現実性は心理的に暴力と距離を置く事を可能にすると考えられる。このことからエフェクトによって攻撃が非現実的で芸術的になっていることで、アニメ・特撮を視聴する子供が心理的に暴力と距離を置くことができれば戦闘シーンにおける攻撃性は抑制されることが考えられる。しかし、エフェクトによる技の表現が必ずしも攻撃性を抑制するとは限らない。クラーエ(2004)は次のようにも述べる。

しかしながら、3D映画のように、ますます強力になりつつあるメディア内容の表現形態は、視聴者の感覚によりいっそう直接性で持って影響を与える。それは、外の現実に関する意識をむしろむくことで、距離を置こうとする努力をしないものにするように作られている。

このことからCGやアニメーション技術の進歩によって、現実ではありえない攻撃でも、それが実際に可能であるかのように思ってしまうほどリアルに描かれた場合、視聴者が暴力と心理的距離を置くことが難しくなり、攻撃性は抑制されないと考えられる。リアルなエフェクトを使うことで視聴者に臨場感を与えることは視聴者を物語に引き込み、夢中にさせると考えられるが、攻撃性を抑制するためには攻撃が虚構のものであり、非現実的だと感じる余裕のあるほどにリアリティを抑えた表現にする必要がある。

3. 考察2 セリフ

子供はアニメ・特撮の作中のセリフを模倣し、セリフの内容は子供の発達に影響を与えられと考えられる。フランチェスコ(2022)によると「社会的学習理論とは、人間が他者を観察してその行動を模倣する『モデリング』を通じて様々な社会規範や慣習、行動を学習しているとする理論である。」とされる。また、フランチェスコ(2022)は社会的学習理論について「社会的学習理論が興味深いのは、観察対象が生身の人間には限定されないことにある。ゲームや漫画、そしてアニメなどのフィクションに見られるキャラクターも、観察学習のモデルになり得るのだ。」と述べている。このことから子供はアニメ・特撮のセリフを模倣し、そこから様々なことを学習していると考えられる。次に、発話と自己の発達について岡本(2005)によると、子供は幼児期に入り対話能力が強まると、自分で自分の発話を聞きながら話し方を調整してゆく「セルフ・モニタリング」という働きが現れ、たとえば「弱い者をいじめをするな」と言う場合、それは同時に、自分に対して「弱い者はいじめな」という命令になるといったように、それは自己の発達と関連し合う。このことから、子供が模倣したセリフを自分で聞くことで、そのセリフの内容が自己の発達に関わると考えられる。アニメ・特撮の作中で攻撃的思考を連想する言葉をセリフで使うことは、自己の発達において攻撃性を促進する可能性があるのだ。実際、プリキュアシリーズの「ふたりはプリキュア」から「Yes！プリキュア5GoGO！」まで「戦う」「敵」「勝つ」「負ける」という言葉はなるべく使わないようにされていた(加藤、2012)。このことについてこれらの作品のプロデューサーである鷺尾は「端的に言うとその言葉に含まれる差別的なニュアンスが嫌だったんですよ。『勝つ』という単語は『負け』をさげすむ気持ちににじみ出てしまうし、『敵』は自分が『正義』であることを正当化して主張する意味合いが出てしまう。」と述べる(加藤、2012)。このことから子供

は言葉に含まれるニュアンスから攻撃的思考を連想する可能性があると考えられる。そして、これらのことから私は攻撃的思考を連想する言葉をセリフで使わないことは攻撃性を抑制すると考える。

4. 考察3 物語の設定・構成

「プリキュアシリーズ」、「仮面ライダーシリーズ」、「スーパー戦隊シリーズ」は例外もあるが概ね1年毎に新作が発表される。シリーズや作品ごとに物語の設定・構成は異なるが、共通点も見られる。「仮面ライダーシリーズ」、「スーパー戦隊シリーズ」を含む特撮ヒーロー番組のキャラクターについて小林(2012)は「彼らは世界を救うヒーローとしての宿命を負っていたとしても、戦う目的は身近な人間を守るためであったり、仲間との友情のためだったり、より視聴者が共感しやすいモチベーションへと変化しつつある。」と述べる。また「プリキュアシリーズ」についても小林(2012)は「ストーリーの軸になるのは、友達や仲間との友情である。性格の異なる女の子たちが支え合い、絆を深めて悪に立ち向かう。」と述べる。これらのことから、「プリキュアシリーズ」、「仮面ライダーシリーズ」、「スーパー戦隊シリーズ」はいずれも友情がテーマとして物語に含まれていることがわかる。また、キャラクターたちが自分以外の身近な人や自分たちの住んでいる世界と違う世界の妖精を守り抜こうとする点からは、キャラクターたちの誠実さを感じ取ることが可能であると考えられる。このような友情、誠実といった要素を含む物語への感情移入についてフランチェスコ(2022)は次のように述べる。

感情移入の体験が引き起こす「信念の変化」とはどのようなものか。グリーンとブロックの実験では暴力、友情、誠実といったテーマを含んだ物語が用いられ、作品への移入体験の深かった鑑賞者が、その後の質問に対して作品とより一致する考えを回答した。

物語作品による感情変化としては、第四章でも説明した向社会的行動が挙げられる。これが高まることは、社会のルールに準じたり、非行や暴力などの反社会的行動を止めたりすることにつながると思われる。

このことから友情、誠実といったテーマを含む物語の設定・構成は、人間が社会の集団の中で生きるために必要な他人を思いやる感情を促すと考えられる。しかし、他人に共感して思いやることは、時に攻撃性を促進する。山竹(2022)は「従来の研究によれば、自分に近い人間が虐待された場合、被害者に深い親愛の情を寄せているほど、加害者に対して攻撃的に振る舞うことがわかっている。」と述べる。人間は他人を思いやるがゆえに他人を攻撃することがあるのだ。よって、友情、誠実といったテーマを含む物語は必ずしも攻撃性を抑制するとは考えられない。しかし、広く他人を思いやる気持ちは、人をむやみに攻撃することを止めることができるという点で、攻撃性を抑制すると考える。

5. 結論

子供が攻撃的にならない戦闘シーンを含む子供向けアニメ・特撮の表現には、非現実的で芸術性のある戦闘シーン、攻撃的思考を連想しないセリフ、友情、誠実といったテーマを含む物語の設定・構成があると考えた。非現実的で芸術性のある戦闘シーンは、攻撃時にCGやアニメーションによるエフェクトが使われる事によって実現され、それによって視聴者の攻撃性は抑制される。しかし、映像が虚構のものということを知って視聴者が忘れてしまうほどリアリティのあるエフェクトによる表現は、視聴者が暴力と心理的距離を置くことを妨げ、攻撃性を抑制しない。また、攻撃的思考を連想しないセリフは、子供がセリフを模倣した時に自己の発達において攻撃性を抑制する。そして、友情、誠実といったテーマを含む物語の設定・構成の作品に深く共感することは、社会ルールに準じたり、反社会的行動を止めることにつながる向社会的行動を促す。

6. 参考文献

パントー・フランチェスコ(2022)『アニメ療法 心をケアするエンターテインメント』光文社新書

加藤レイズナ(2012)『プリキュアシン드ローム！〈プリキュア5〉の魂を生んだ25人』幻冬舎

小林雄二(2012)『特撮ヒーロー番組のつくりかた』キネマ旬報社

岡本夏木(2005)『幼児期一子どもは世界をどうつかむかー』岩波新書

大淵憲一(2000)『攻撃と暴力 なぜ人は傷つけるのか』丸善ライブラリー

B.クラエ(2004)『攻撃の心理学』北大路書房

山竹伸二(2022)『共感の正体一つながりを生むのか苦しみをもたらすのか』河出書房新社

東映アニメーション(2007)「Yes！プリキュア5」

https://www.toei-anim.co.jp/tv/ves_precure5/,2024年6月26日

東映アニメーション(2008)「Yes！プリキュア5GoGo！-東映アニメーション-」

https://www.toei-anim.co.jp/tv/precure5_gogo/,2024年6月26日

日本の生活保護制度はなぜ人々に悪い印象を与えているのか

1. はじめに

日本の生活保護制度は、日本国憲法第25条に基づいて生活困窮者の生活を保障しその自立を助長するという目的のもと定められた。生活保護法第一章総則の第二条には、『すべて国民は、この法律の定める要件を満たす限り、この法律による保護（以下「保護」という。）を、無差別平等に受けることができる。』と書かれている。しかし、スマートフォンやテレビのニュースで市の職員が生活保護を申請しに来た人に圧力をかけていたという内容が報道される。こういった生活保護受給者や申請者に対する危害が生まれるのは生活保護制度への印象が影響しているのではないかと考え、その印象が生まれる原因を実際におきた事件や騒動から考察していく。

2. 考察

1) 生活保護制度における問題として大きく取り上げられるものに、不正受給がある。不正受給とは、収入や就労の無申告や過少申告をして生活保護を受給したりすることである。厚生労働省の資料によると、令和2年度の生活保護負担金のうち不正受給額は全体の約0.36%であるとわかる。

では、なぜ生活保護制度に不正受給のイメージを持つ人がいるのかというと、理由として2012年に起きた芸能人親族の生活保護受給騒動がきっかけだと考えられる。この騒動が批判された原因は、その芸能人が親族を扶養することができたと判断されたからである。当時、この芸能人はテレビ番組に多く出演しており、また出演した際には、親族にマンションを買い与えたと話していたことも今回の騒動に関係している。不正受給であるとはならなかったものの、この一件については謝罪会見が開かれたが、その芸能人に対する批判が落ち着くことはなかった。さらには、メディア上でのバッシングは芸能人やその親族に対するものだけではなく、生活保護の不正受給から生活保護を受給している者にまで広まっていった。

2) 生活保護法の目的は貧困に苦しんでいる人々に生活を保障することであり、自分たちの暮らしを守るために生活保護を正しく受給している人々が決して批判されてはいけない。過去にあった事例を紹介する。

2007年に発覚した小倉北餓死事件とは、北九州に住む男性が生活保護廃止から2ヶ月後に餓死してしまった事件である。男性は病気で働けない状態にあったため生活保護を受給していたが、福祉事務所から働くことを勧められ生活保護を辞退し、仕事に就くことができず餓死してしまったと報道された。また、亡くなった本人の日記には市やケースワーカーへの不満や生活保護の辞退についても記されていた。この日記にある情報から、男性は辞退を強要されたのではないかと推測された。この事例の他にも生活保護を受給できずに、もしくは生活保護が受給できても死亡してしまった事件は起こっており、2020年の八尾市母子餓死事件や2006年の門司餓死事件などが例として挙げられる。これらの事件を引き起こす原因となっているのは、生活保護受給者に対する否定的な感情である。このような感情が受給者に対して向けられるのは、生活保護の悪い側面を見たり聞いたりすることが原因だと考えられる。

3) 現在、私たちが情報を得るために利用するメディアにはテレビやインターネット、新聞、書籍など様々なものが存在する。総務省の令和4年度の調査によると、数多くあるメディアのう

ち世の中の動向について信頼できる情報を得るのに利用されるのは、全体の半数以上の割合をテレビが占めており、その次に多い割合を占めているのがインターネットだとわかる。これらの媒体は、私たちの生活に身近なものであり、書籍や新聞などよりも簡単に情報を手に入れられるツールである。

その一方で、これらのメディアは情報に偏りが生じやすく、生活保護に関する情報は不正受給の問題が大きく取り上げられるが生活保護の実態は遠ざけられてしまっている。生活保護の実態の例として、ケースワーカーや福祉事務所、役所による不当な扱いには、生活保護費を減らすための圧力、受給申請者への水際作戦などが存在している。また、受給者は周囲から「生活保護を受給している人だ」という目で見られ、生活していくために生活保護を受給しているのに生活をしにくくなるという状況が生まれている。こういった現状が報道されないままだと、生活保護の悪い側面ばかりを見てしまい、人々の生活保護や受給者に対する不信感がより高まるという負の連鎖が生まれる。この負の連鎖を生まないためにも、生活保護への偏見がない情報や、生活保護が貧困に苦しむ人々へのセーフティネットとして機能するためのものであると人々に伝えることがメディアの役割として必要とされる。

4. 結論

日本では、日本国憲法第25条「健康で文化的な最低限度の生活」を国民に保障するための法律として生活保護法が定められた。この制度が悪く思われる原因の1つに不正受給問題がある。しかし実際には、現在の不正受給率は約0.36%ほどであり、年々減少の一途を辿っている。

そこで、「生活保護＝不正受給」のイメージが広まったきっかけを考えると、2012年の芸能人親族の生活保護利用に関する騒動が関係していると推測できた。この騒動に関する芸能人や芸能人親族へのバッシングは、対象を生活保護制度自体や受給者へとかえて広まっていった。生活保護法の目的は貧困で苦しむ人々に生活を保障することだが、2007年に発覚した小倉北餓死事件は生活保護が適切に運用されていないことが原因だった。同様の例は他にも存在しており、これらの事件は、人々が生活保護受給者に対して抱く否定的な感情が引き起こしてしまったものだと考えられる。私たちが用いているメディアは簡単に情報を手に入れられるが、そのメディアがもつ情報に偏りが生じていることがある。生活保護に関する情報にも同じことが言え、不正受給問題がクローズアップされ生活保護の実態は大きく報道されていない。これにより、人々の生活保護への不信感はより高まってしまう。そうならないためにも、メディアは生活保護のセーフティネットとしてのほたらきや生活保護の実態について報道することが必要である。また、生活保護制度は適切な基準に基づいて受給者を受け入れ、受給に携わる人は生活、つまりその人の命自体を扱っている責任を持って仕事に取り組むべきである。

5. 参考文献

稲葉剛（2013）『生活保護から考える』岩波新書

今野晴貴（2013）『生活保護-知られざる恐怖の現場』ちくま新書

立岩真也、尾藤廣喜、岡本厚（2009）『生存権—いまを生きるあなたに—』同成社

厚生労働省（2022）『生活保護制度の現状について』

<https://www.mhlw.go.jp/content/12002000/000977977.pdf>

コア・エシックス12号

中村亮太（2016）

『生活保護バッシングのレトリック—貧困報道に見る〈家族主義を纏った排除〉現象—』
https://www.r-gscefs.jp/wp-content/uploads/2016/04/%E3%82%B3%E3%82%A2%E3%83%BB%E3%82%A8%E3%82%B7%E3%83%83%E3%82%AF%E3%82%B912%E5%8F%B7_21_%E3%80%90%E8%AB%96%E6%96%87%E3%80%91%E4%B8%AD%E6%9D%91%E4%BA%AE%E5%A4%AA.pdf

九州大学学術情報リポジトリ

藤藪高原（2008）

国のモデル・生活保護「ヤミの北九州方式」の違法性を検証する:門司・小倉北餓死事件の法的
検証と、運用実態の解明
https://api.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/13868/g_housei_02_p095.pdf

総務省情報通信政策研究所

『令和4年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書〈概要〉』
https://www.soumu.go.jp/main_content/000887659.pdf

若者言葉「蛙化現象」の流行はなぜ起こったのか

1. はじめに

「蛙化現象」とは、異性への好意が相手の些細な言動をきっかけにして冷めることを意味する若者言葉^{*1}である。2023年には、ユーキャン新語・流行語大賞のTOP10にノミネートされた。蛙化現象が起こるきっかけは、「食事中のマナーが悪い」「店で店員を呼んでも気づかれない」「SNSのアイコンがダサい」などと、人によって様々に異なる上に、一見理不尽に思えるものもある。このような言葉が、なぜ今、多くの若者の共感を集めて流行するに至ったのか、疑問を抱いた。昨今の蛙化現象の流行は、現代の若者を取り巻く何らかの社会的要因によってもたらされたのではないだろうか。蛙化現象の流行を、「現象の流行」と「言葉の流行」の2つの側面に分けて考え、それぞれの流行をもたらした社会的な要因を、現代の若者のコミュニケーション手段に着目して考察する。

*1…ここでの「若者」はZ世代、すなわち1990年代後半から2000年代に生まれた世代を指すこととする。2024年現在では、15～29歳にあたる。

2. 蛙化現象の定義

蛙化現象については、異なる2つの定義が混同されているという現状がある。

まず1つ目に、心理学用語としての意味がある。2004年に、心理学者藤沢伸介が初めて定義した、「ある男性に対し自分が一方的に好意を持っていると女性が理解している状況で、実はその男性も自分に対し好意を持っていることが女性にとって明らかになると、それがきっかけとなって、その女性はその男性に対して生理的な嫌悪感をもつ現象」^{*2}である。2つ目に、元の心理学用語から変化して、近年若者言葉として新しく誕生した概念がある。意味は「異性への好意が相手の些細な言動をきっかけにして冷めること」である。元の意味の蛙化現象に関しては、後続研究で心理学・社会学的に生起メカニズムが研究されている。それに対して、新概念については、元の定義と区別した研究が行われていない。

川久保惇氏(埼玉学園大学 人間学部心理学科 准教授)は、蛙化現象について「少なくとも2年前には、意味が変化していたように思う」^{*3}と語っている。このことから、近年の流行で中核的な意味を担ったのは、流行と同時期に形成された、新概念であると考えられる。よって本研究では、新しい定義に即して流行の要因を考察する。

*2…吉田光成、他(2020)による大学生を対象とした調査で、女性特有の現象ではないことが報告されている。

*3…川久保惇氏(埼玉学園大学 人間学部心理学科 准教授)は、「少なくとも2年前には、意味が変化していたように思う」と2023年8月14日発表の「東京新聞Web」内記事(tokyo-np.co.jp/article/264372)で語っている。本論文で用いる語彙「近年」の指す時期は、この発言に基づくものである。

3. 考察

蛙化現象の流行には、「現象の流行」と「言葉の流行」の2つの側面があったと考える。本研究では、その双方について考察する。「現象の流行」とは、蛙化現象それ自体の発生が増えることである。若者社会に、蛙化現象が比較的容易に起こり得る環境が成立したことが一因となっ

た。これを要因1として考察する。「言葉の流行」とは、蛙化現象を体験したという事例や、それに関する情報が増加することである。流行の規模が、SNSを介した言葉の拡散によって拡大したと考えられる。これを、要因2として考察する。

3-1. 要因1 恋愛における出会い方の変化ー「現象の流行」

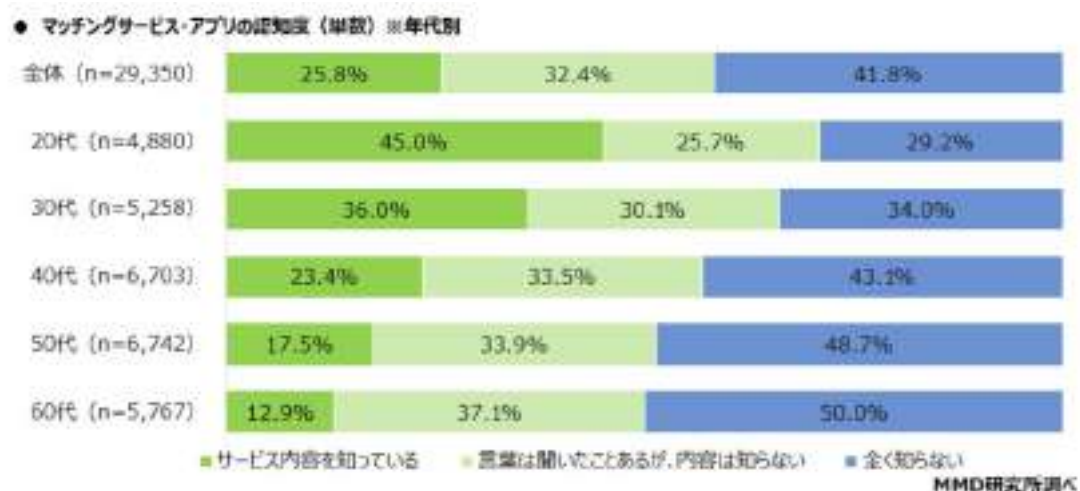
第一に、近年の恋愛においては、マッチングサービス・アプリをはじめとする、SNS*4を介した出会い方が主流となりつつある。マッチングアプリとは、恋愛・結婚等を目的とした会員同士が、自身のプロフィールや写真、自己紹介文などをもとにして知り合うサービスである。特にマッチングサービス・アプリに関しては、以下のような調査が行われている。

*4…SNSとは「登録者同士が交流できるインターネットの会員制サービス」である。(NTT西日本ホームページより)ここでのSNSは、マッチングサービス・アプリ、LINE、instagram などを含む。

*5…スマートフォンを所有する20歳～69歳の男女29,350人が対象。

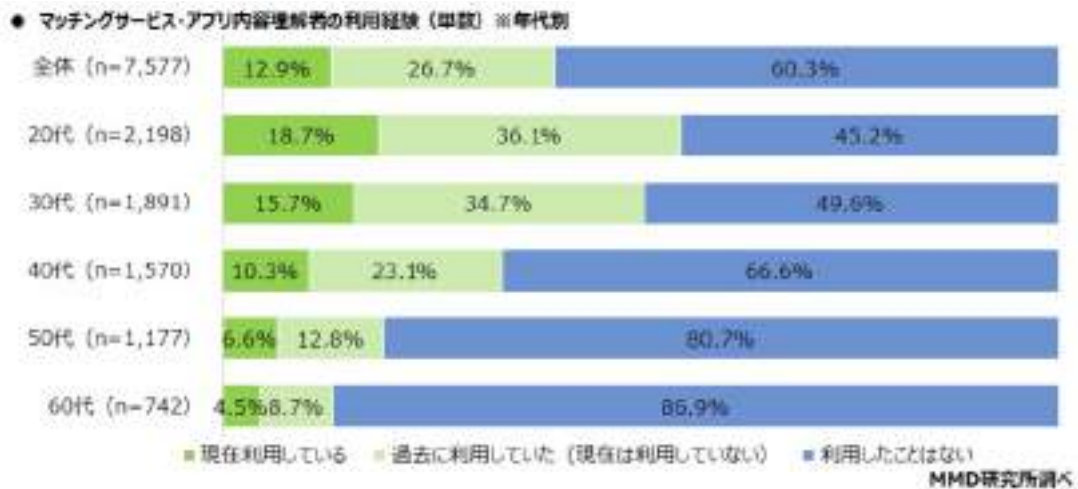
MMD研究所の「2023年 マッチングサービス・アプリの利用実態調査」*5によると、マッチングサービス・アプリの「サービス内容を知っている」と回答した人は全体で25.8%となった。特に20代では、45.0%となっており、その認知度の高さが伺える [図1]。

[図1]



さらに、そのサービス内容理解者のうち、マッチングサービス・アプリを「現在使用している」「過去に利用していた」と答えた人の割合は、20代では50%を超えている [図2]。

[図2]



また、現在のパートナーと出会った場所や手段の調査においては、20代ではマッチングサービス・アプリを利用したものが2位となっている [図3]。

[図3]

● 現在のパートナーと出会った場所や手段（単数） ※年代別、上位5位抜粋

全体 (n=21,549)			20代 (n=2,391)			30代 (n=3,353)		
1位	職場や学校での出会い	37.9%	1位	職場や学校での出会い	32.3%	1位	職場や学校での出会い	31.0%
2位	友人や家族からの紹介	19.3%	2位	マッチングサービス・アプリ	16.1%	2位	友人や家族からの紹介	18.9%
3位	マッチングサービス・アプリ	4.4%	3位	友人や家族からの紹介	13.7%	3位	マッチングサービス・アプリ	9.6%
4位	合コン	3.8%	4位	街コン	2.4%	4位	合コン	4.1%
5位	お見合い	3.6%	5位	マッチング目的のイベント	2.1%	5位	結婚相談所の紹介	2.4%

40代 (n=5,008)			50代 (n=5,600)			60代 (n=5,197)		
1位	職場や学校での出会い	35.4%	1位	職場や学校での出会い	43.1%	1位	職場や学校での出会い	41.9%
2位	友人や家族からの紹介	20.0%	2位	友人や家族からの紹介	19.2%	2位	友人や家族からの紹介	21.6%
3位	合コン	6.2%	3位	合コン	4.2%	3位	お見合い	10.0%
4位	マッチングサービス・アプリ	3.3%	4位	お見合い	2.8%	4位	街中で話しかける	2.2%
5位	結婚相談所の紹介	2.1%	5位	結婚相談所の紹介	2.1%	5位	合コン	2.1%

MMD研究所調べ

このように、現代では、マッチングサービス・アプリを含むSNSを通してパートナーと出会うことが一般化しつつあるといえる。それはすなわち、恋愛に非対面コミュニケーションが関わるが増えているということである。

次に、非対面コミュニケーションの性質について述べる。非対面コミュニケーションにおいては、「共在性」が実現されないため、コミュニケーションの質が対面時と異なる。

論文「共在性がコミュニケーションに与える影響:発話の重なりに注目して」(田代・佐々木, 2018)によると、共在性は、Clark & Brennan (1991) によって「二者が同じ物理的空間を共有

していることであり、対面会話のことを指す。会話の参加者が同じ環境にいること、そしてお互いが何をしているか何を見ているかを、見たり聞いたりできる状況。他のメディアでは不可能である。」と定義されている。

田代・佐々木（2018）は、共在性が対面コミュニケーションに特有な性質であるとしている。その根拠は、二者間のコミュニケーションにおける8つの制約条件（Clark & Brennan, 1991）である。どのコミュニケーション手段を選択するかによって、そのコミュニケーション手段が持つ制約条件も変わる。（これを、田代・佐々木が表にしたものを[図4]に引用する。）そのなかで共在性は、唯一対面コミュニケーションだけが持つ特徴である。つまり、対面コミュニケーションと非対面コミュニケーションとの間には明確な性質の差異があるといえる。

[図4]

Table 1 8つの制約条件（Clark & Brennan, 1991 高梨訳を表にしたもの）	
共在性	AとBが同じ物理的環境を共有している
可視性	AとBが互いに見える
可聴性	AとBのコミュニケーションが音声言語による
共時性	Bが受け取るのはAの産出とほぼ同時である
同時性	ある参加者が同時に送信と受信を行うことができる
連鎖性	AとBのターンが連鎖を外れることができない
見直し可能性	BがAのメッセージを見直すことができない
推察可能性	AがBのためのメッセージを私的にかつ送信前に推察できない
注）コミュニケーションをとる二者をAとBと仮定する	

Table 2 7つのメディアとそれぞれの制約条件（Clark & Brennan, 1991 から筆者がまとめたもの）							
メディア	コミュニケーションの性質						
	共在性	可視性	可聴性	共時性	同時性	連鎖性	見直し可能性
対面	○	○	○	○	○	○	
電話		○	○	○	○	○	
テレビ会議		○	○	○	○	○	
チャット				○		○	○
留守番電話		○					○
電子メール							○
手紙							○

共在性を伴う対面コミュニケーションでは、視線の動きや細かな表情変化、動作、相づちなどの非言語情報が共有できる。これに対して、非対面コミュニケーションでは、そのような非言語情報を共有することが難しい。例えば、メッセージのやりとりでは、言語化されたテキスト情報のみが伝達される。比較的対面と条件の近いビデオ通話においても、非言語情報の読み取りが困難になるため、コミュニケーションの取りにくさを感じる事が示唆されている。（狩野・布井, 2020）このように、対面コミュニケーションと非対面コミュニケーションでは、伝達できる情報量に差があると考えられる。

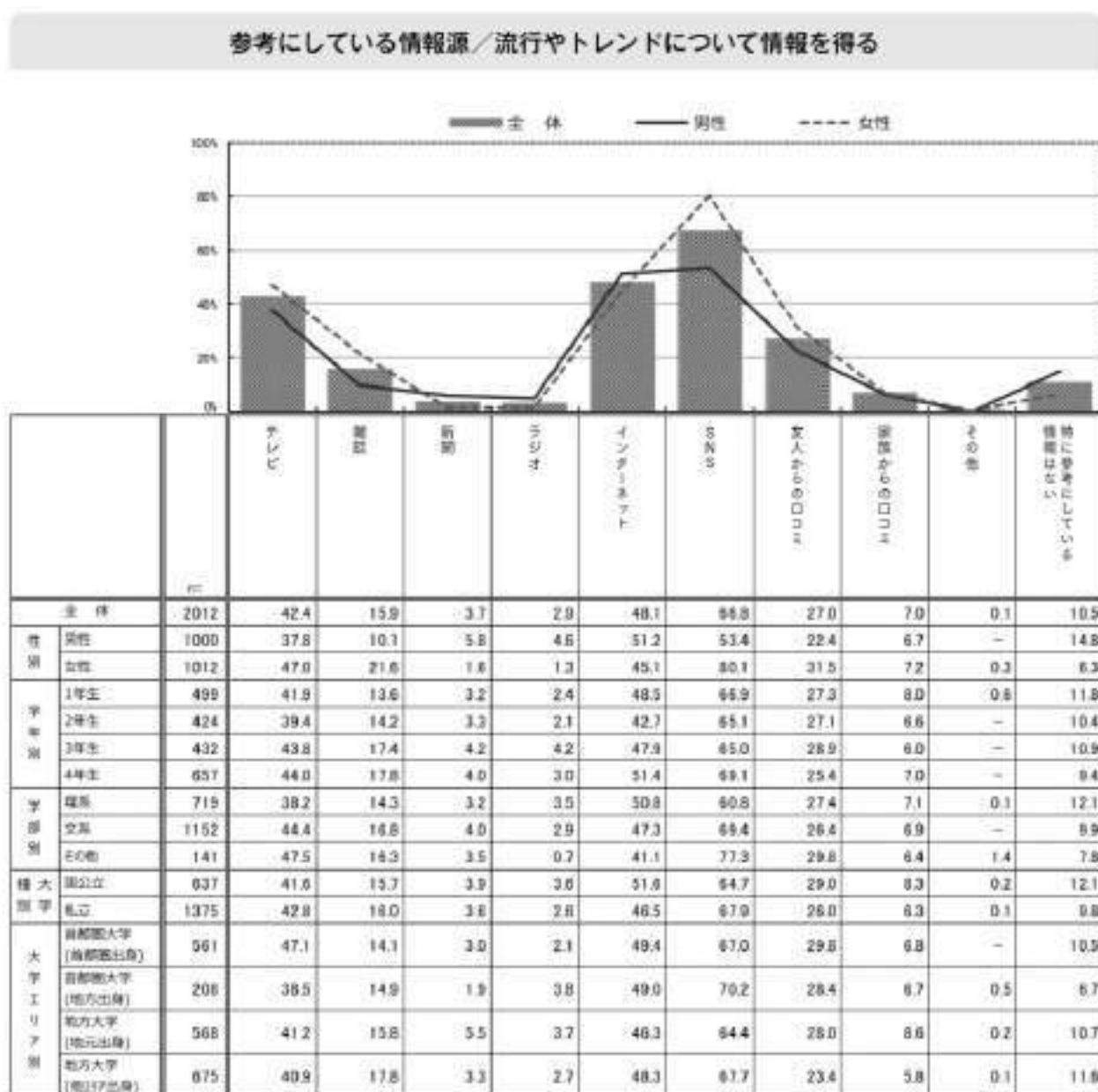
以上より、要因1での論証をまとめる。まず、近年、マッチングサービス・アプリを含むSNSやインターネットを通じて、恋愛に非対面コミュニケーションが関わるが増えている。非対面コミュニケーションの性質として共在性がないため、視線の動きや細かな表情変化、動作などの非言語情報が共有できない。この点で、非対面での情報からつくられた相手へのイメージと、

対面での情報から受ける相手の印象との間には、ギャップが生じる。そのため、マッチングアプリ・サービスをはじめとする、インターネットやSNSを介した非対面での恋人との出会い方では、対面したときに相手の些細な行動に違和感を感じて恋愛感情が冷めることが起こりやすいと考えられる。したがって、現代社会において、恋愛における出会い方が非対面の方向に変化しつつあることが、蛙化現象の発生を増加させ、「現象の流行」をもたらしたといえる。

3-2. 要因2 SNSを介した情報拡散と新概念の形成―「言葉の流行」

公益財団法人ハイライフ研究所の大学生を対象とした調査によれば、若者が流行やトレンドについての情報源として最も参照しているのはSNSである[図5]。したがって、蛙化現象という言葉も、SNSを通じて流行したと考えられる。

[図5]



続いて、蛙化現象が、SNSを介してどのように広まったかを論じる〔図6〕。蛙化現象の「言葉の流行」は、先に述べた通り、蛙化現象を体験したという事例や、それに関する情報が増加することである。SNS上で蛙化現象が拡散されると、自身が持つ恋愛体験を蛙化現象に投影して、共感する若者が増える。その体験がさらにSNSで共有されることによって、蛙化現象に関する情報が増加すること、すなわち流行が起こる。このように、共感と共有の連鎖が起こり、より大きな流行につながったと考えられる。

〔図6〕



またこのとき、個々に異なる恋愛体験が、蛙化現象という1つの言葉に結びついた。これによって、多様な意味を持った、新しい蛙化現象の概念が形成されたと考えられる。

4. 結論

蛙化現象流行を「現象の流行」と「言葉の流行」の2つの側面に分け、それぞれの流行をもたらした要因を考察した。

要因1では、近年恋愛に非対面コミュニケーションが関わることが増えている事実を挙げた。そこでは非言語情報の伝達が困難であり、対面・非対面間で得られる情報量に差がでるため、蛙化現象が起こりやすくなる。このことが、蛙化現象の発生を増加させ、「現象の流行」の一因となったことを論証した。また要因2では、蛙化現象が主にSNSを通じて流行したことを前提とし、多くの若者が蛙化現象の体験に共感することで、それに関連する情報が再度SNS上で共有され、流行するという連鎖が起こることを述べた。多様な個人の恋愛体験が新しい蛙化現象の概念を形づくり、より大きな規模での流行をもたらした。

いずれの要因も、SNSの発達によって、若者のコミュニケーション手段が変化していることが背景にあるといえる。昨今の蛙化現象の流行には、単なる若者の流行り言葉としてだけでなく、そうした社会変化の表出としての側面があったとも捉えられる。現代の若者たちは、「デジタルネイティブ」というように、情報化社会に無自覚に適応している存在だとみなされることが多々ある。実際に、若者は対面会話をメディアの一つとみなし、他の非対面のメディアを含めて、その場に適したコミュニケーション手段を自由に選択している(小泉,2013)。しかしながら、人間のコミュニケーション能力が実環境、すなわち対面状況に即している(石黒,2021)、という性格が変

わることはない。若者の間に限らず、対面コミュニケーションと非対面コミュニケーションとの性質の違いによって、何らかの違和感や人間関係の歪みが生まれることは、これからも避けられないだろう。使用可能なコミュニケーションメディアが多岐にわたる現代では、このような性質を理解した上でメディアをうまく活用することが求められる。

「現象の流行」については、本研究で挙げたもの以外にも流行に影響を与えた要因が存在すると考えられる。今後の研究では、それらの要因を明らかにしたい。また、「蛙化現象」という「言葉の流行」を他の言葉の流行と比較することで、物事が世の中に流行する仕組みをより詳細に分析したい。

5. 参考文献

- ・ 藤沢伸介.女子が恋愛過程で遭遇する蛙化現象.日本心理学会,2004
- ・ 川久保淳・小口孝司.両思いになるとなぜ冷めてしまうのか?.日本心理学会,2022
- ・ simeji ランキング. Z世代が選ぶ!!「蛙化現象あるあるTOP10」
(<https://simeji.me/?p=news>)
- ・ NTT西日本ホームページ,ICT用語集
(<https://www.ntt-west.co.jp/business/glossary/words-00027.html>)
- ・ MMD研究所.2023年マッチングサービス・アプリの利用実態調査.2023
- ・ 田代・佐々木.共在性がコミュニケーションに与える影響:発話の重なりに注目して.
九州大学心理学研究 第19巻,2018
- ・ 狩野・布井.直接対面とビデオ通話における日常的コミュニケーションの評価の違い.聖泉論叢
2020 28 号
- ・ 公益社団法人ハイレイフ研究所.現代若者報告書 Phase 1 大学生編.2020
- ・ 水戸啓明高等学校,小泉悠里.対面/非対面コミュニケーションの関係構造からみた現代高校生の友人関係の様相 日常生活におけるモバイルメディア利用実態に着目して.日本高校教育学会年報
第 20号,2013年
- ・ 石黒浩.ロボットと人間 人とはなにか.岩波新書,2021

6. 謝辞

大阪大学 全学教育推進機構 堀一成教授、並びに坂尻彰宏准教授には、課題研究を進めるうえで重要な手法を丁寧にご指導いただきました。心から感謝いたします。

日本紙幣の変遷に見る歴史と思想

1. はじめに

貨幣は、モノやサービスを交換する媒介物であるが、同時にその国の歴史や思想を反映した象徴という側面を持つ。貨幣には今まで様々なデザインが描かれてきたが、中でも人物の肖像は、他のものにはあまり見られない貨幣特有のデザインである。紙幣肖像の研究は肖像の彫刻技術や偽造防止技術に関するもので、歴史的背景への言及は紙幣肖像の変遷に焦点を当てて、その背景には何があったのか考察する。紙幣肖像の変遷には、①皇族やその臣下→政治家②政治家→文化人という2つのターニング・ポイントがある。

2. 肖像はなぜ必要なのか

そもそもなぜ肖像が紙幣に用いられているのか、肖像には主に三つの役割がある。

一つ目は偽造防止の役割である。植村峻著『紙幣肖像の近現代史』には「我々は子供の頃から、親子親類縁者と外部の見知らぬ人を見分ける知的センサーを本能的に備えており、人物の識別が容易である」とある。貨幣に人物の肖像を用いることで我々が真贋を判別できるようにしているのである。しかし、特に日本の場合、偽造防止技術が進んでいるため、肖像を用いずとも貨幣の偽造は防げるのではないかと私は考える。2024年7月3日発行の新紙幣に「3Dホログラム」という偽造防止技術が用いられた。この技術の紙幣への使用は世界初であり、日本の偽造防止技術が最先端であることがよく分かる。また、1963年の千円札の肖像の候補に挙がっていた渋沢栄一は、ひげがなく肖像画が複雑でないことで、偽造防止の観点から不採用であった。つまり、渋沢栄一が2024年7月3日発行の新紙幣の肖像に採用されたことは、偽造防止技術の発展を象徴する出来事と言えるだろう。したがって、本研究ではこの紙幣の持つ側面は扱わない。

二つ目は人々に親近感をもたせるという役割である。通常、紙幣肖像にはその国で知名度があり、かつ尊敬される人物が採用されている。その狙いとして、紙幣という無機質なものに愛着をもたせることが挙げられる。例えば、日本では一万円札のことを、長らく肖像として用いられてきた福沢諭吉をもじって「ゆきち」と呼ぶことがあり、これは紙幣肖像の親しみ深さが現れている事象だと言える。

三つ目は国内外に様々なメッセージを伝える役割である。例えば、世界の紙幣を見ると、肖像にはその国の政治家、建国時の革命家、文化人などが用いられているが、特に君主制の国ではその国の国王・女王を用いることが多く、これは先程述べた親しみやすさというよりも、国民に敬愛の念を抱かせるという効果があると考えられる。しかし、日本では天皇が紙幣肖像に用いられたことはなく、これは極めて例外的な事例である。また、紙幣はその国のシンボルでもあり、国際的なイメージにも大きな影響力を持っている。例えば、伊藤博文が紙幣肖像に用いられた際、韓国から批判が殺到した。日本にとって伊藤博文は初代内閣総理大臣を務め、日本の近代化を推し進めた偉人であるが、韓国にとっては植民地支配を推進した中心人物の一人として捉えられており、こうした立場による評価の違いも考慮することも肖像を選ぶ一つの要素となっている。(もっとも、現在の一万円札の肖像である渋沢栄一は、朝鮮の鉄道網整備や国立銀行を作り自らの肖像が入った紙幣を発行したことなどから、朝鮮半島に対する経済収奪を象徴する人物として韓国側から批判されているため、日本は韓国への配慮はさほど意識されていないようである。)

以上より、日本の紙幣肖像の変遷の背景には、

- (1) 紙幣に親近感をもたせる役割
- (2) 国内外に様々なメッセージを伝える役割

といったものがあるのではないかと考えられる。よって、これからこの二点を中心に置き、各ターニング・ポイントにおける歴史や当時の人々の思想を調べていくこととする。

3. 天皇やその臣下から政治家への変遷

日本の紙幣肖像が皇族やその臣下から政治家へと変わったのは第二次世界大戦後である。敗戦国となった日本はGHQ(連合国最高司令官総司令部)の支配下にあった。当時のアメリカは、戦時中に強い精神性を発揮した日本人から、神道を完全に取り除こうとした。GHQは1945年12月に「神道指令」を出し、神道は軍国主義・超国家主義の象徴だとして公共機関などで教えることを禁じた。さらに、1946年に「公職追放令」が出され、軍国主義的な人物が公職から追放された。これらの政策によって、日本は今までの精神性を失い、アメリカに従順な国となったのである。

また、この影響は紙幣肖像にも出ており、例えば、一円券の肖像として武内宿禰を採用することが認められなかったことが挙げられる。武内宿禰は五代の天皇に仕えたという伝説的な忠臣であるため、GHQは彼を軍国主義のシンボルであるとして承認しなかった。そのため、政府は急遽図柄を変更し、新たな肖像として二宮尊徳が用いられた。二宮尊徳は篤農家であり、「報徳思想」(私利私欲に走るのではなく社会に貢献すれば、いずれ自らに還元される)という考えを広めたことから、アメリカは二宮尊徳に民主主義的な要素を見出し、政府に新たな紙幣肖像として用いるよう取り計らったのではないかと考えられる。また、1946年、次期紙幣肖像の候補として20人の人物をリストアップし、GHQに打診を行ったところ、戦前の紙幣に登場した人物は聖徳太子以外認められなかった。(聖徳太子においても議論されたが、当時の一萬田日銀総裁はGHQに対し、「聖徳太子は『和を以て貴しとなす』と述べるなど、軍国主義者どころか平和主義者の代表である」と主張してその存続についてGHQを押し切ったと言われている。)そのため政府は、承認された人物の中から聖徳太子と岩倉具視を採用した。1950年に聖徳太子のB千円券、1951年に岩倉具視のB五百円券が発行された。ここから政治家肖像が増加し、1951年に高橋是清のB五十円券、1953年に板垣退助のB百円券が発行された。つまり、①皇族やその臣下→政治家という変遷の背景には、紙幣の(2)国内外にメッセージを伝える役割を利用して、日本国民から軍国主義的な思想を排除し日本がアメリカに従順であるように仕向けたと考えられる。

4. 政治家肖像の問題点

日本の紙幣肖像が政治家から文化人へと変わったのは1984年である。この変遷の理由は主に三つ考えられる。

一つ目は、政治家は不安定であるからである。政治家は、現役時代の政策や行動が賛否を生みやすい。そして、先述した伊藤博文や渋沢栄一の事例から分かる通り、政治家の評価は立場によって異なるため、国民全体の支持を得づらい。(アメリカの分断統治下にあった日本ではなおさらであろう。)それに対して、文化人は特定の政治的立場に立つことは少なく(「脱亜論」を唱えた福沢諭吉は侵略主義的だと中国・朝鮮の輿論を買ったが)、中立性を確保することができるため、比較的使いやすい。また、1976年の「ロッキード事件」という政治家の汚職事件があり、社会全体として政治家への印象が下がっていた。こうしたことが変遷につながったと考えられる。

二つ目は、経済が安定していたからである。当時の日本は石油危機(1973)を乗り越え、安定成長期であった。経済の安定により生活に余裕が生まれ、芸術・文化志向が高まっていた。

三つ目は、世界の傾向であったからである。1946年のGHQへの新紙幣案の打診の際に、夏目漱石、野口英世、福沢諭吉といった、後に文化人肖像に採用される人物たちがノミネートされていた。GHQもこの3人を承認しているため、政府の行動指針によっては、この頃に文化人肖像を採用することもできた。しかし、この頃の日本はアメリカに従順であるため、紙幣肖像に政治家を用いる”アメリカ式紙幣”に則り政治家肖像を採用している。その後、日本は国際連合への加盟で国際社会に復帰し、東京オリンピックの開催のような実績を残し、国際社会で一定の地位を確立していった。その頃ヨーロッパでは、レオナルド・ダ・ヴィンチの50,000リラ紙幣や、マリー・キュリーの500フラン紙幣(どちらも1967年発行)など、ヨーロッパを中心として紙幣に文化人肖像の採用がされつつあった。こうした世界の傾向に合わせて、紙幣肖像に文化人を用いる”ヨーロッパ式紙幣”に則り文化人肖像を採用しているのではないかと考えられる。紙幣の(2)国内外に様々なメッセージを伝える役割を最大限に活かしているのが日本銀行券であり、日本ならではの最先端の彫刻技術と美しい自然とともに形成された島国の文化を国外に伝え、日本の戦後復興の歩みを国内に伝える、唯一無二のツールである。

以上より、②政治家→文化人という変遷の背景には

- ・政治家の不安定さと芸術・文化の高まりがあった。
- ・日本の戦後復興が世界で評価され、国際社会での地位を確立しつつある流れがあった。

5. 結論

紙幣肖像の変遷の背景には、日本が本来の精神性を失いアメリカに従順である状態から脱却し、国際的な地位を確立しつつある一連の流れが読み取れる。

※(1)人々に親近感をもたせる役割に関しては、人間の出す親しみやすさというのは人物の職業ではなく個人によって異なるものであるため、職業ベースで紙幣肖像の変遷をたどった本研究では考察に含めることができなかった。

6. 参考文献

植村峻.『紙幣肖像の歴史』.東京美術.1989

加来耕三.『紙幣の日本史』.KADOKAWA.2019

山口勇.『渋沢栄一 その光と影 埼玉での活躍と負の側面』.埼玉研究所.

https://www.saitama-kenkyujo.org/kikanshi/95-21_23.pdf

日本銀行情報サービス局.『お金の話あれこれ』.日本銀行

<https://www.boj.or.jp/about/education/data/arekore.pdf>

福本文夫.『占領と戦後日本～GHQ文書と外務省文書から』獨協大学.

<https://www.mofa.go.jp/mofai/files/000260129.pdf>

日本人の睡眠不足について

1. はじめに

日本人の睡眠不足は深刻である。海外と比較してもいわゆる先進国の底辺であり、昔と比較しても睡眠時間が激減している国が日本である。なぜ欧米化しているにもかかわらず我々だけが睡眠不足に陥っているのか。それについてまず人間が睡眠不足の原因となりうるものについて考察したのち、それでない日本独自の原因を探る。

2. 考察

*日本の現状

そもそも睡眠不足というのは、集中力・判断力の低下などをもたらす生命の危機的状況である。睡眠不足は、睡眠の質・量どちらもを重要な要因として持っているが、本稿では量にのみ焦点を当てて論じることとする。

まず欧米と比較すると、下図より平均睡眠時間にはなるがおよそ70分から100分少ないことがわかっている。(注1)また、最新の研究では人類に必要な不可欠な睡眠時間は個人差はあれども、7～8時間とされている。(注2)これは日本人の平均がギリギリ満たしているラインである。さらに、睡眠時間の推移を見るとここ数年で睡眠時間が足りない人の割合が徐々に増えてきていることもわかっている。(注3)

以上のことから、日本人にとって睡眠不足は非常に深刻な問題であることが読み取れる。

(図5) 睡眠時間の国際比較

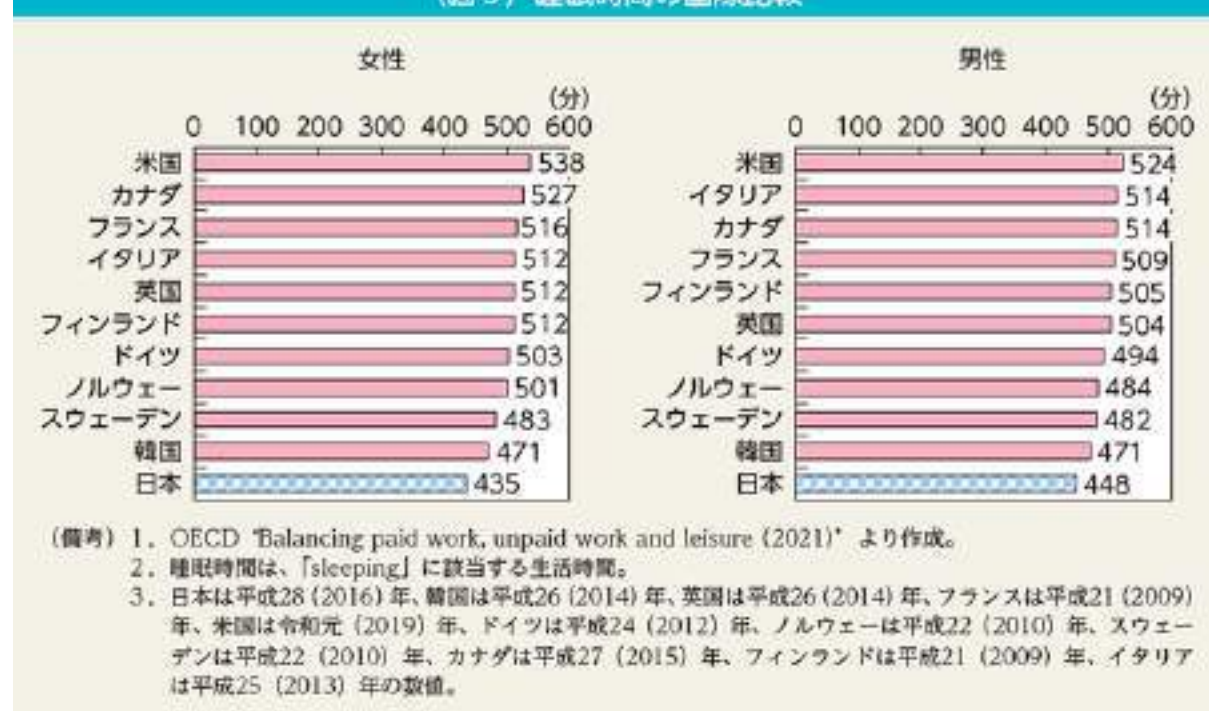
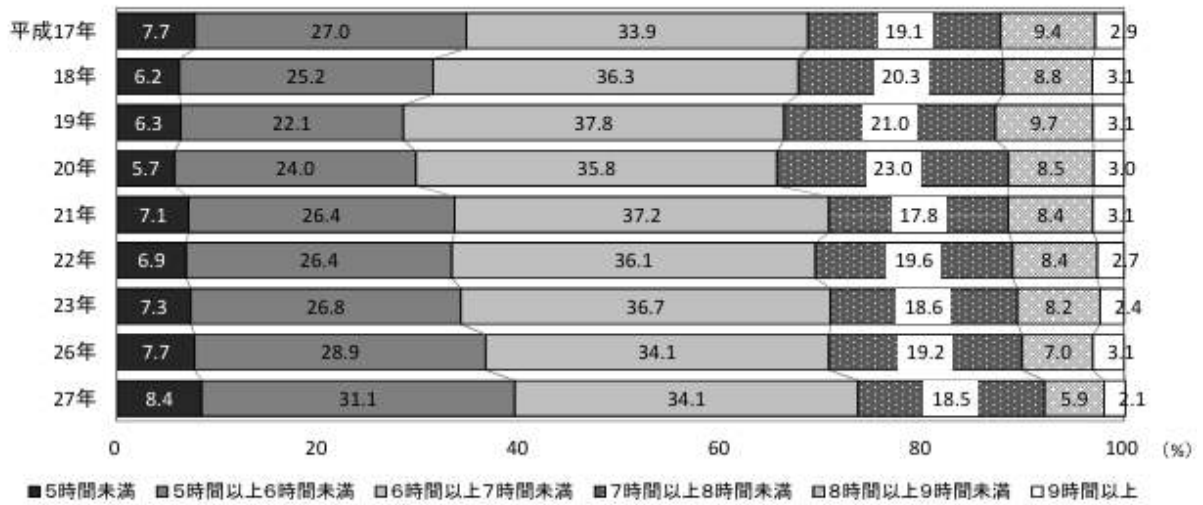


図 39 1日の平均睡眠時間の年次推移(20歳以上、男女計)(平成17~27年)



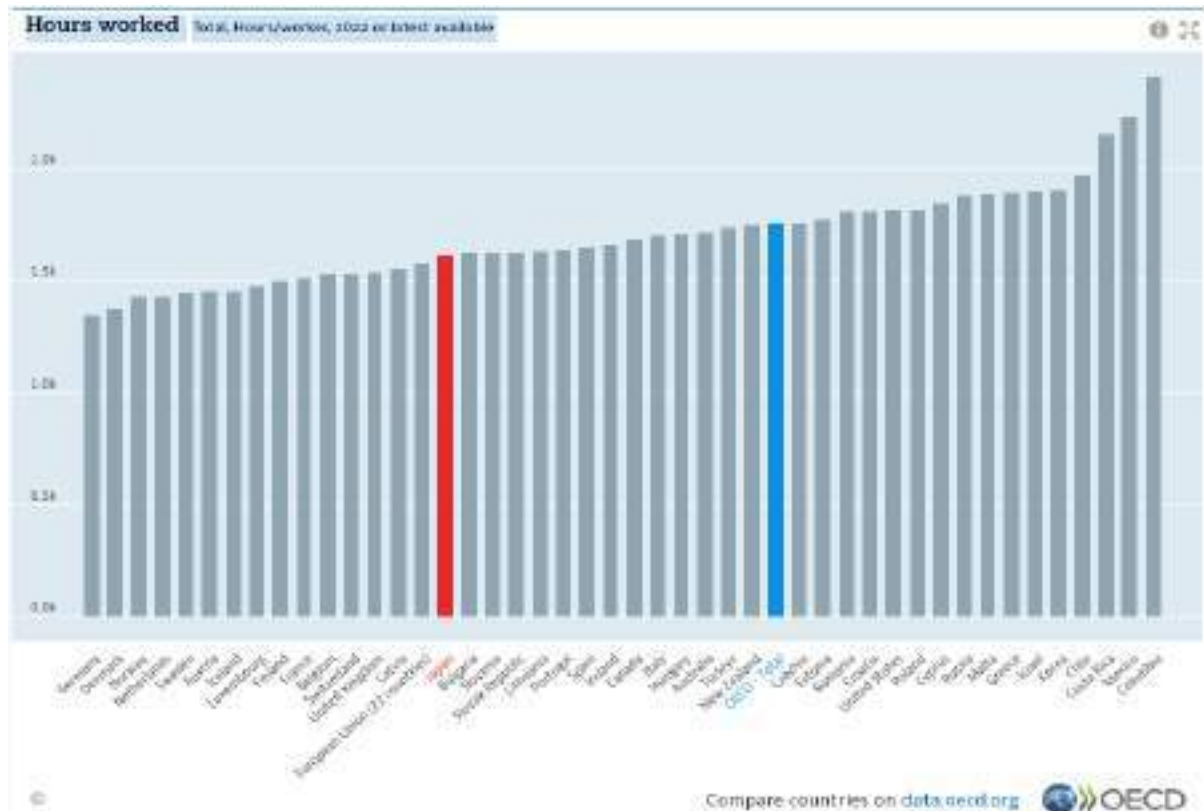
※平成24、25年は未実施。

上が注1、下が注3

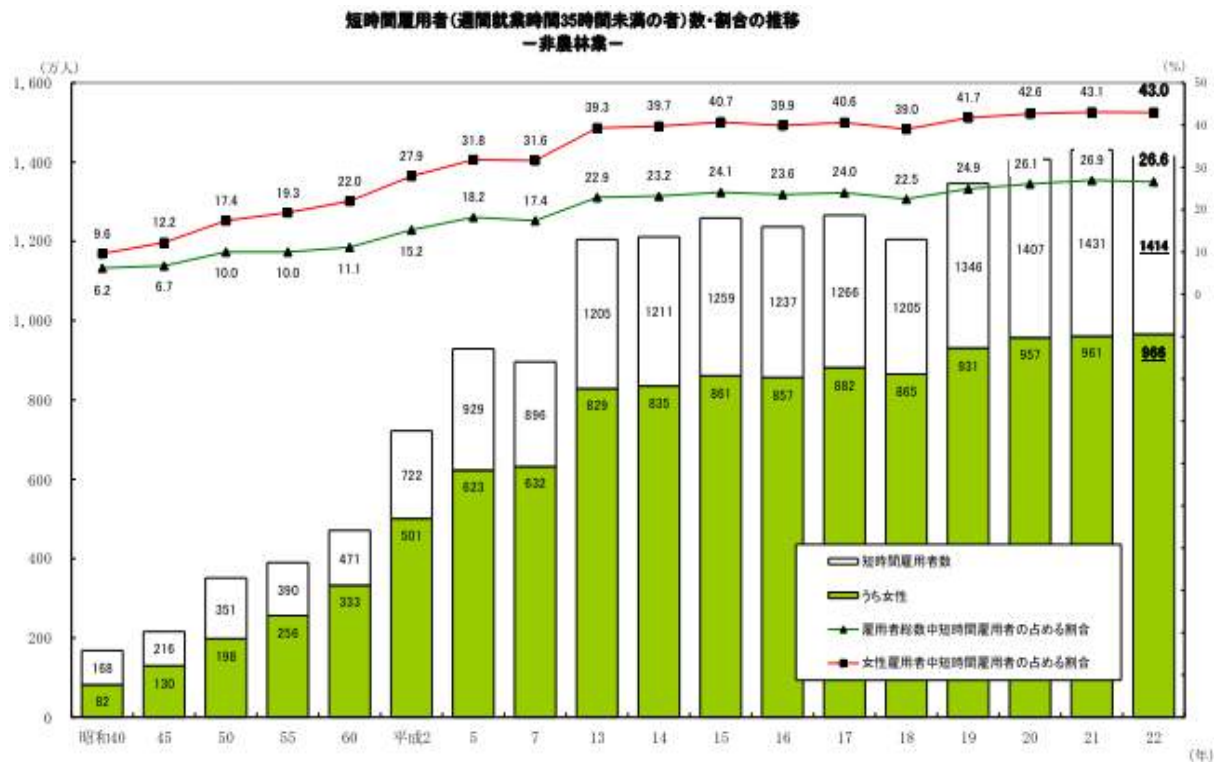
*睡眠不足の原因

睡眠不足の原因としては、睡眠時間の短縮と活動時間の増長の2つが考えられる。本稿では活動時間の増長の観点からアプローチをしていく。また活動時間を、基本的に対価を求める労働と対価を求めない娯楽に分けて考えることとする。

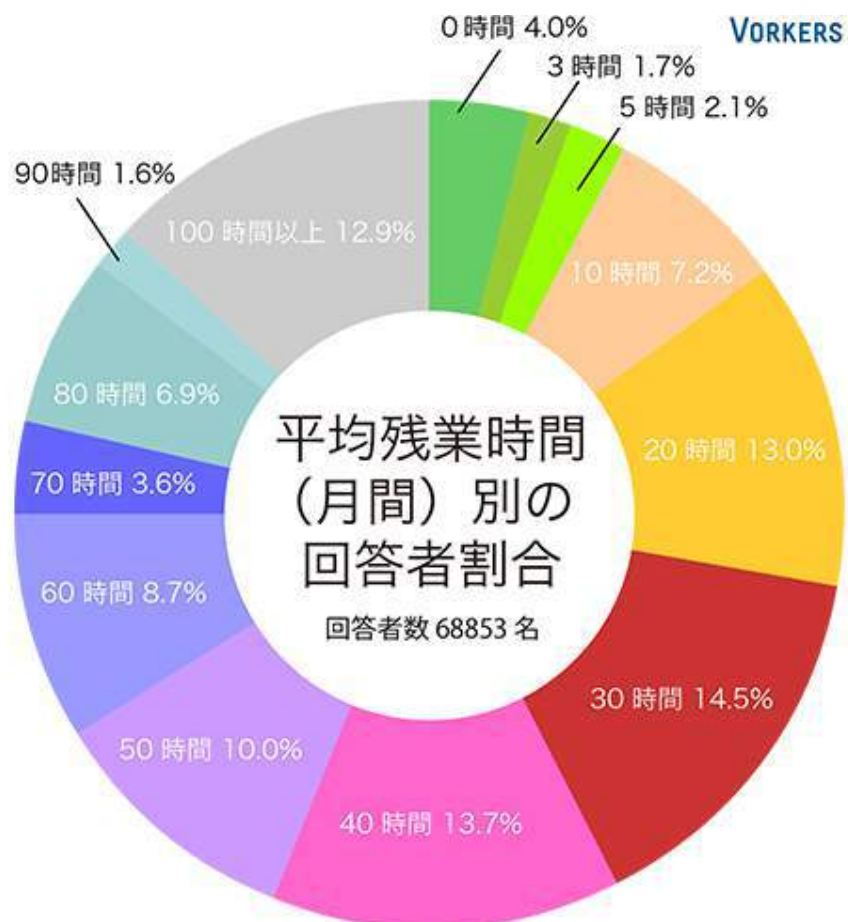
まず、労働に関して考えていく。労働時間の各国のグラフを見てみると、日本は比較的少なめの位置にいるように思える。(注4)



しかしここにはパートタイム労働者の増加と残業時間が加味されていないので、実際はもっと上位に位置している。(注5, 6)



資料出所: 労働力調査(総務省)



以上より単純に労働時間が増え家庭での時間が減っているため、睡眠時間も少なくなっていると考えられる。

さて、ここで女性に関して論点を移す。近年女性の社会進出が進んできてはいるが、まだまだ専業主婦もしくはパートタイム労働者の枠を超えない。(注5)これによりこれまでの性差による役割分担がなくなりつつあるが、やらなければならないこと(家事)は減っていない。そのため、休養時間において家事が占める割合が両性とも増加しているのである。

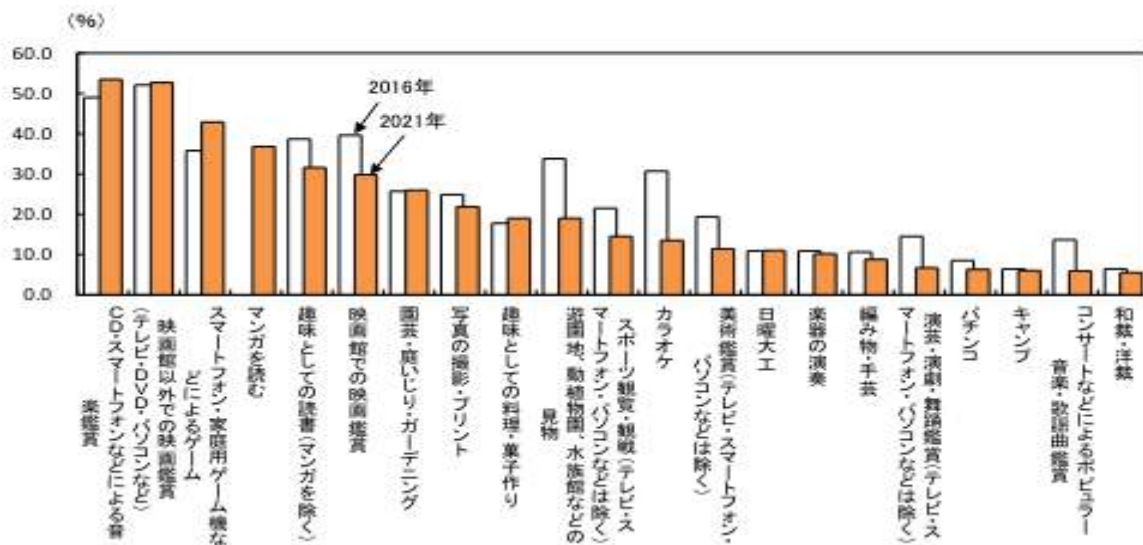
次に娯楽という観点に移る。下図(注7)は我々の休養時間は何に消えているのかを示している。これによるとスポーツなどの主に肉体を使う娯楽の割合は低いのに対して、テレビ、スマホ、パソコンを使用している時間が長い(1, 2次活動は除いている)。こういった電子機器は、ブルーライトなどの物理的な睡眠障害の他にネットやゲームには精神を興奮させる働きがあり、こういったことが直接的な原因と捉える

表1 男女、行動の種類別生活時間 (2016年、2021年) 一週全体

	総 数			男			女		
	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減
1次活動	10.41	10.57	0.16	10.34	10.50	0.16	10.49	11.03	0.14
睡眠	7.40	7.54	0.14	7.45	7.58	0.13	7.35	7.49	0.14
身の回りの用事	1.22	1.24	0.02	1.11	1.14	0.03	1.31	1.32	0.01
食事	1.40	1.39	-0.01	1.38	1.37	-0.01	1.43	1.41	-0.02
2次活動	6.57	6.47	-0.10	6.50	6.36	-0.14	7.03	6.57	-0.06
仕事等	4.49	4.37	-0.12	6.08	5.45	-0.23	3.35	3.33	-0.02
通勤・通学	0.34	0.31	-0.03	0.43	0.38	-0.05	0.25	0.24	-0.01
仕事	3.33	3.28	-0.05	4.41	4.27	-0.14	2.29	2.32	0.03
学業	0.42	0.38	-0.04	0.44	0.40	-0.04	0.41	0.37	-0.04
家事関連	2.08	2.10	0.02	0.44	0.51	0.07	3.28	3.24	-0.04
家事	1.23	1.27	0.04	0.19	0.25	0.06	2.24	2.26	0.02
介護・看護	0.04	0.03	-0.01	0.02	0.02	0.00	0.06	0.04	-0.02
育児	0.15	0.14	-0.01	0.06	0.06	0.00	0.24	0.21	-0.03
買い物	0.26	0.26	0.00	0.17	0.18	0.01	0.34	0.33	-0.01
3次活動	6.22	6.16	-0.06	6.36	6.34	-0.02	6.09	6.00	-0.09
移動(通勤・通学を除く)	0.29	0.22	-0.07	0.28	0.21	-0.07	0.30	0.23	-0.07
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.15	2.08	-0.07	2.19	2.11	-0.08	2.11	2.05	-0.06
休養・くつろぎ	1.37	1.57	0.20	1.37	1.59	0.22	1.36	1.56	0.20
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.13	0.13	0.00	0.13	0.13	0.00	0.12	0.12	0.00
趣味・娯楽	0.47	0.48	0.01	0.57	1.00	0.43	0.37	0.37	0.00
スポーツ	0.14	0.13	-0.01	0.18	0.16	-0.02	0.10	0.10	0.00
ボランティア活動・社会参加活動	0.04	0.02	-0.02	0.04	0.02	-0.02	0.04	0.02	-0.02
交際・付き合い	0.17	0.10	-0.07	0.15	0.08	-0.07	0.19	0.12	-0.07
受診・療養	0.08	0.07	-0.01	0.07	0.06	-0.01	0.09	0.08	-0.01
その他	0.19	0.16	-0.03	0.17	0.15	-0.02	0.20	0.17	-0.03

ことができる。

図8 「趣味・娯楽」の種類別行動者率（2016年、2021年）^{1）2）}



また間接的には、スマホによって情報で中毒になっているという説もある。（注8）

* 時間感覚

これまで考えてきた事柄は、睡眠不足の原因として人類がなりうるものである。日本にこういった原因がいち早く取り入れられただけであり、他の国でも同様のことが原因で睡眠不足におちいる可能性はある。そこで日本独特の原因として「時間感覚」について考えていく。

まず、日本の時間感覚の変化（主に時計を利用する前後）について触れる。『講座日本の民俗学』（注9）では、時計が使われる以前は聴覚、視覚、生理的現象、その他五感によって時間を感じていただろうとされている。つまりこれらは定量的に観察できるものではないのである。その後時計を一般的に使用し始めたきっかけは、山での作業が行われたときに暗さに危険が伴うため、日の入りの正確な時間を知る必要があったということであった。日本の時間の定量化の流れは労働での必要に迫られてであり緩やかなのである。また現代でも

”物理的時間よりも、仕事の達成度に充足感を抱いてきたのが日本であり、それは民俗的な根拠のあることと理解できよう。”（同著）

とあるように、この感覚が長時間労働ひいては睡眠不足に繋がっていると考えられる。

よく知られているように、西洋ではエジプト文明の頃から時間を計量する考えがあったため、日本と反対に終業時間にきびしかったりといったことがあるのだろう。

3. 結論

ここまで見てきた通り日本人固有の睡眠不足の原因は時間感覚によるものである。そしてその時間感覚は文化によるものである。だからこそ、西洋化が進むにつれて文化的ギャップが生じ、そのしわ寄せの一つとして睡眠の問題が露呈している。

4. 今後の展望

解決手段の提示

ほかの視点からのアプローチ

韓国など周辺国家の睡眠不足の原因との比較

5. 参考文献

注1 <https://www.gender.go.jp/about/danjo/whitepaper/r05/zentai/html/zuhyo/zuhvoc01-05.html>

内閣府男女共同参画局

注2

クリスティアン・ベネディクト、ミンナ・トゥーンベリエル著 鈴木ファストアーベント理恵訳 熟睡者 サンマーク出版

注3

<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10904750-Kenkoukyoku-Gantaisakukenkouzoushinka/kekkgaiyou.pdf>

P27図 39 1日の平均睡眠時間の年次推移(20 歳以上、男女計)(平成 17～27 年)より

注4

<https://data.oecd.org/emp/hours-worked.htm>

OECD Hours worked

注5

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001orbi-att/2r9852000001orfa.pdf>

厚生労働省 パートタイム労働者の推移

注6

https://www.openwork.jp/hatarakigai/vol_4

約6万8000件の社員クチコミから分析した‘残業時間’に関するレポート

注7

<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2021/pdf/youvakua.pdf>

令和3年社会生活基本調査 生活時間及び生活行動に関する結果 結果の要約

注8

スマホ脳 アンデシュ・ハンセン、久山葉子訳 新潮社

注9

赤田光男、福田アジオ編集 講座日本の民俗学 ⑥時間の民俗 雄山閣出版

なぜ日本は死刑制度を存続しているのか

1. はじめに

死刑とは、凶悪な犯罪を犯した者が自らの死をもって罪を償うための刑罰である。2020年現在、すべての犯罪に対して死刑を廃止している国は108カ国、通常犯罪のみ死刑を廃止している国¹は8カ国、事実上死刑を廃止している国²は28カ国、と大多数を占めており、その数は年々増加している。そんな中、私達の住む日本は数少ない死刑存続国である。なぜ日本は死刑を存続しているのだろうか。

本研究では、海外との比較、過去の歴史的なできごとからの考察を通して、世界的に死刑制度の廃止の流れができてきているのにもかかわらず、日本が現在まで死刑を廃止しなかった要因について考えていく。

2. アンナ・カレーニナ

デイビット・T・ジョンソンは、著書『アメリカ人のみた日本の死刑』の中で、

レフ・トルストイの小説『アンナ・カレーニナ』(1878年)は、次のような一説で始まる。「幸せな家族はすべて似かよっているが、不幸な家族にはそれぞれ不幸のかたちがある」。… これは死刑についても同じことがいえるだろう。なぜなら「すべての廃止国は似かよっている が、死刑のある国はそれぞれに独自の死刑存置の理由がある」からである。

と述べている。では、廃止国はどのような点で似かよっている特徴を持っているのだろうか。

3. 独裁主義的指導者の失脚

イタリア、ポルトガル、スペインの死刑廃止前の歴史的なできごとについて見てみると、似たようなことが起こっている。いずれの国でも死刑廃止前に独裁主義的指導者が失脚しているのだ。(それぞれムッソリーニ³、サラザール⁴、フランコ⁵である) また、同様のことがクメール・ルージュ⁶崩壊後のカンボジア(1989年)、マルコス⁷政権崩壊後のフィリピン(1987年)、インドネシアからの独立後の東ティモール⁸(1999年)などアジアの一部の国でも起こっている。ここから、死刑廃止のきっかけの一つとして、独裁主義的指導者の失脚があると考えた。

ここで、独裁主義とはすべての権力が一人、またはこの人のグループに集中する統治思想のことであると定義する。そして日本にも同じく独裁主義的な政治があったとするなら、大日本帝国憲法下で行われていた天皇制がこれに近いと考えた。そして前述の例に習うなら、大日本帝国憲法が効力を失った1947年以降死刑は廃止されるはずである。しかし死刑が廃止されることはなかった。

4. 極東軍事裁判

日本の戦後改革は連合国軍の手によって行われた。そして、1946年には極東軍事裁判が行われた。極東軍事裁判とは1946年に開始された戦時中の日本の指導者を「戦争犯罪人」として裁くことを目的とした軍事裁判である。この裁判の結果として、軍人、政治家ら28人が起訴され、このうちの7人が死刑判決を受け、絞首刑が執行された。このことから、アメリカ当局がこの裁判で日本の「戦犯」たちに死刑を言い渡したかったということが、死刑が改革課題とならず、廃止されなかった要因ではないかと考えられる。

5. ドイツと日本

ここで疑問にあがるのがドイツの死刑廃止の流れについてだろう。ドイツも日本と同様、戦後の改革は連合国軍によって行われた。さらに極東軍事裁判と並ぶ軍事裁判であるニュルンベルク裁判⁹が行われ、12人に死刑が言い渡された。ここまでは戦後の日本とドイツは全く同じ道をたどっているように思える。しかし、ドイツは1949年に死刑を廃止した。この差異が生まれたのは、日本とは違い、ドイツは戦時中ヒトラー

による独裁政治のなかで、罪のない多くの国民を処刑したという過去があり、その反省として死刑制度が改革課題に挙げたことが原因だと考えられる。つまり、日本が死刑が改革課題となるようなできごとを持たないことも、日本が死刑を存続している理由の一つであると考えられる。

6. まとめ

日本において、今もなお死刑が存続されている要因の一つとして、第二次世界大戦後、アメリカ当局が極東軍事裁判で日本の「戦犯」たちに死刑を言い渡したかったという敗戦国の政権に対する復讐心により、第二次世界大戦後に死刑を廃止するチャンスを失ってしまったからということ、そして、日本がヒトラー政権下に行われた非人道的な政策などといった、死刑が改革課題となるようなできごとを持たないことが考えられた。

¹軍法下での犯罪や、特異的な状況における例外的な犯罪におも死刑を適用している国

²過去10年間執行されておらず、死刑を執行しないという政策があったり、死刑を適用しないという国際的な公約をしている国

³イタリアのファシズム指導者。1883–1945

⁴全体主義体制を敷いた独裁者。1889–1970

⁵スペインの軍人。反共産主義を掲げ、独裁権力を握った。1892–1975

⁶カンボジア内戦における共産勢力。極端な独裁政治を行った。

⁷フィリピンの大統領として開発独裁の政治を進めた独裁者。

⁸インドネシアからの独立に反対し、インドネシアへの併合を主張する勢力が暴動を起こし、多数の独立派が殺害された。

⁹ナチス・ドイツの戦争責任と犯罪を断罪するための国際軍事裁判。

7. 参考文献

デイビッド・T・ジョンソン『アメリカ人のみた日本の死刑』岩波新書 2019

柴田政子『アメリカ占領軍とドイツ諸州の改革交渉』2004

死刑廃止国・存置国<2020年12月31日現在>

https://www.amnesty.or.jp/human-rights/topic/death_penalty/DP_2020_country_list.pdf

2022年の死刑判決と死刑執行

https://www.amnesty.or.jp/library/report/pdf/statistics_DP_2022.pdf

アメリカ占領軍とドイツ諸州の改革交渉

https://www.istage.ist.go.jp/article/kansaisea/30/0/30_56/pdf

世界史の窓 ムッソリーニ

<https://www.v-history.net/appendix/wh1502-108.html>

世界史の窓 サラザール

https://www.v-history.net/appendix/wh1701-025_1.html

世界史の窓 フランコ

<https://www.v-history.net/appendix/wh1504-111.html>

世界史の窓 クメール・ルージュ

<https://www.v-history.net/appendix/wh1603-077.html>

世界史の窓 マルコス

<https://www.v-history.net/appendix/wh1703-061.html>

世界史の窓 東ティモール

<https://www.v-history.net/appendix/wh1703-095.html>

世界史の窓 ニュルンベルク裁判

<https://www.y-history.net/appendix/wh1601-023.html>

平安時代に多くの女性作家の文学作品が誕生し、現代にまで伝わる理由

1.はじめに

現代社会では女性の社会進出の重要性が謳われている。しかし報道等で取り上げられているのは国会議員の数などの数字ばかりだと感じた。一方、政治に関わりのなかった平安時代の女性作家の文学作品が数多く現代に残っている。特に、和歌では、小倉百人一首に掲載されている平安時代中期の歌十首のうち九首は女性が詠んだ歌である。さらに、仮名散文では紫式部の「源氏物語」があり、日記文学では、清少納言の「枕草子」、藤原道綱母の「蜻蛉日記」、菅原孝標女の「更級日記」がある。文学作品を通して自己を表現した女性作家の誕生には、当時の貴族の基本的教養であった和歌が強く関わっていることが分かった。和歌という文化とともに、仮名文字、日記文学、教養についても触れ、平安時代に、現代まで伝わる女性作家の文学作品が多く誕生した社会的な要因は何だったのかを考察する。

2.論証と考察

2-1.和歌

和歌とは平安時代以降の、主に五句・三一音で詠まれる短歌のことを指す。「和歌」とは、漢詩に対して、日本固有の詩歌という意味である。平安時代における和歌の位置づけは、貴族階級にとっての最低限の教養であり、男女ともに貴族なら詠めて当然というものだった。歌合という催事もさかんであったことから貴族に愛される文化であったことがわかる。ここで、かな散文の発展につながった和歌のレトリックについて述べる。和歌のレトリックの一つに「序詞」というものがあり、「序詞」は歌の場や環境に関わりのある景物と心情とを結びつける形で表現される。

『序詞の発生について、土橋寛氏は、「序詞は、心情の「表現形式」ではなくて、始めに即境的景物を提示し、それに寄せて(寄せる方法はいろいろある)陳思する、という発想上の約束ないし発想形式というべき性格のもの」(『古代歌謡論』)と規定している。序詞は、もともと心情を表現するためにあったのではなく、「即境的景物」(歌の場や環境に関わりのある景物)と心情とを結び付ける形で表現する、古代的な発想に由来するというのである。また鈴木日出男氏は、序詞だけでなく、古代の詩的表現の基軸に「心物対応構造」-物(事物)と心(心情)とが対応しながら表現されるあり方-が見られ、これが後に、自然と心とを自在に行き来するような、『源氏物語』など独自性豊かな仮名散文の発達にもつながっているのだと、文学史的展開を見通した魅力的な見取り図をしめしている(『古代和歌史論』)。どちらの論に従っても、物と心とを対応させる表現は、かなり根源的な形式であるらしい。』(「和歌とは何か」 渡部泰明 2009年)とあるように序詞の中に描かれている事物は、まず複数の人々にとって共感可能なものであり、誰もがイメージしやすい周知の土地の風景、季節感あふれる情景、祭式などの信仰に関わる事物など、いかにも他者と経験を共有できそうな風景が描き出されている。

「あしひきの山鳥の尾のしだり尾の長々し夜をひとりかも寝む」という和歌を例に挙げると、この和歌の序詞は「あしひきの山鳥の尾のしだり尾の」であり、「長々し夜」を導いている。「山鳥の尾が長い」という景物から「夜は長い」と連想し、「しみじみとする」という心情を導き出す。人間の心情、感情は、定型の事柄から生まれる。人が死ぬと悲しいという定型を学ぶことで、悲しいという感情が生まれる。しかし、感情を言葉で直接表現すると、人間の感情に結びつかない。序詞のような形で自然の景物を感情表現につなげる手法が『源氏物語』ではよく見られる。光源氏が須磨に引き込まれる場面が好例である。当時須磨といえば、都から遠く離れた辺鄙な土地であった。このイメージから「わびしい」「寂しい」という心情が生まれる。まさに場から心情表現へのつながりをあらわしている。このように和歌のレトリックが仮名散文の発展につ

ながっていたことが仮名を主たる記述媒体としていた女性たちにとって、自らの心情を散文で表現する大きな動機づけとなった。

2-2.仮名文字

仮名文字は漢語では表しきれない心の機微を表現するのに最適であった。漢詩の美に魅了された紫式部や清少納言*が仮名文字で文学作品を書いた理由はここにあるのではないかと考える。では、なぜ仮名文字は心の機微を表現するのに最適だったのか。ここで、仮名文字の誕生について少し触れようと思う。当時の文字といえば漢字。国の正式文書はすべて漢語で表記されていた。しかし漢字は画数が多く書くのには時間を要した。そのネックを克服すべく漢字を崩した草書の要領で考案された。『草書は当時の実用性から生まれた書体であった。しかしまもなく、文人士子たちが、この書体を自分の情緒を発するのに最適な書き方として使い始め、それ以降、その実用性と芸術性の面で歴代にわたって議論されてきた。』(『各々の心の姿を尽くして初めて良い草書を書くことができる。』(「草書の表現法についての考察」 承 春先 2001)このように草書にも感情表現しやすいという特徴があった。

仮名文字は女文字とも言われており、女性を書く文字だという通念があった。多くの女性作家が仮名文字で文章を書いたことで、結果として心情表現が豊かな文学作品が生み出されたと考えられる。

*渡邊大門 監修、かみゆ歴史編集部 編『平安時代と藤原氏一族の謎99』イースト新書 2023

2-3.教養

『平安時代中期、すなわち摂関政治の時代は、後宮が政治・文化の中心であったと言っても過言ではない。絶大な権力を握る摂政・関白が、多くの場合、天皇の母系尊属で血縁的に最も近い貴族から選ばれたから、誰が入内し、寵愛され、男子を産むか、すなわち後宮の動向は、貴族社会における何よりの重大事であった。当然、摂関を望む上級貴族は娘を入内させるため天皇の愛情を得るために、あらゆる努力をする。娘の教育、乳母の選択に始まり、貴婦人としての教養を身に付けさせることに奔走する。それと平行して多数の女房の採用が行われた。本来は使用者であってもおかしくない良家の女子を女房として雇用できれば大いに自家の名誉となったから、あらゆる手段を駆使して勧誘が行われた。もちろん若く美しい女房達、機知に富む女房達、さまざまな文化的分野に格別の力量を有する女房達も集められる。魅力のあるサロンを形成することで、天皇を引きつけようとしたのである。』(「藤原道長家の後宮サロンの実態とその文学活動に関する研究」 池田尚隆 2010)平安時代には後宮サロンというものがあつた。後宮サロンとは後宮に住む女性、皇后や中宮が主催して、文学的活動を行う社交的な場のことである。もともと豊かな才能を有する女性たちが後宮サロンという場でより作品を洗練させた。また政治的に利用されていた後宮サロンが、結果として多くの上流貴族たちが教養を身につけ、文学的活動を行い、より優れた文学作品を生み出す場として機能したと考えられる。

2-4.日記

『近現代の研究者達が、日記文学をどのようなものとして把握してきたかを整理してみると、大別して次の三つの考えになるであろう。

(一)一般の人でも普通に記すような日記のうち、結果として文学としての鑑賞に値するものを日記文学という。

(二) 日記とは事実の記録の謂であって、日付けは必要ではない。日記文学とは、日記であってさらに文学的なものをいう。

(三) 記録としての日記と、日記文学とを区別して考えようとする考え。

日記文学には日記の概念の拡大化が見られる。『(「日記文学史の可能性」 森田兼吉 1983)『男もすなる日記というものを、女もしてみむとてするなり』(「土佐日記」 紀貫之) とあるが、当時は儀礼や政務における慣例をきちんと執り行うことが良い政治とされていたため、男性のほとんどが書いていた日記は様々な行事の儀式や政務における慣例などについて記録し、あとの世代に正しいやり方を引き継ぐことが目的とされた。よって、それらが現代に文学作品として伝えられる可能性は低い。対して女性の日記は和歌を用いて感情を表現したものが多く、結果として文学としての鑑賞に値する日記文学となった。例えば藤原道綱母の蜻蛉日記は大鏡で「うた日記」と表現されており、現代まで伝わる日記文学となっている。

3. 結論

和歌文化の発展と、仮名文字の誕生が結果として多くの女性作家を誕生させた。また、後宮サロンが発展したことにより、もともと豊かな才能を有する女性たちがより作品を洗練させることができた。政治的に利用されていた後宮サロンであったが、結果として多くの上流貴族たちが教養を身につけ、文学的活動を行い、より優れた文学作品を生み出す場として機能したと考えられる。これらの発展により、女性作家の文学作品の数が増え、さらに優れた作品を当時の環境によって生み出したことが現代に女性作家の多くの作品が残っている要因であると言える。さらに、かな文字で書かれた日記の特性が、女性の日記文学が評価され現代にまで伝わっている要因の一つになっているといえる。

4.参考文献

- ・渡部泰明『和歌とは何か』岩波新書 2009
- ・保立道久『平安時代』岩波ジュニア新書 1999
- ・渡邊大門 監修、かみゆ歴史編集部 編『平安時代と藤原氏一族の謎99』イースト新書 2023
- ・承 春先 『草書の表現法についての考察』2001
<https://doi.org/10.11166/shogakushodoshi1991.2001.43>
- ・森田兼吉 『日記文学史の可能性』1983
https://doi.org/10.20620/nihonbungaku.32.5_7
- ・池田尚隆 『藤原道長家の後宮サロンの実態とその文学活動に関する研究』2010
<https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-20520157/>

5. 謝辞

大阪大学 全学教育推進機構 堀一成教授、並びに坂尻彰宏准教授には、今回の課題研究を進める上での重要な手法をご指導いただきました。心から感謝いたします。

英語話者と日本語話者の「感覚」の違い

1. はじめに

日本語の古典の助動詞に「つ」と「ぬ」がある。これらはどちらも完了を意味するが、使い方に区別がある。『体系古典文法』によると、これらは以下のように区別される。

「つ」は、人為的・意志的な動作を表す動詞につく場合が多く、「ぬ」は、自然的・無意志的な作用を表す動詞につく場合が多い。

また、英語では完了を意味する〈have+過去分詞〉の表現がある。しかし、この表現に人為的かどうかで区別されるような点は見られない。このことから、英語話者と日本語話者の「感覚」には違いがあると考えられる。この違いについて3つの点から考える。

2. 考察

1. 時間的な感覚

『日本人の英語』(マーク・ピーターセン、1988)によると、日本語と英語が重視する点の違いには次のようなものがある。

どうして英語と日本語の間にこういう違いがでてくるかという点、いつも「時」のことばかり気にする英語の特徴に対して、日本語は、「時」自体に関して特に気にせず、いつも「相」(aspect)のことばかり気にするからである。それは簡単にいいかえれば、英語にとっては行動と状態の**時**(the **timing** of the action or condition)がもっとも大事であるが、日本語にとっては行動と状態の**完了の程度**(the **degree of completion** of the action or condition)がもっとも大事なのである。

ここで、英語話者は「時」、行動と状態の時を重視する傾向があると考えられる。

『英語の歴史から考える英文法の「なぜ」』(朝尾幸次郎、2019)によると、現代英語の現在完了形〈have+過去分詞〉の原型は古英語で他動詞を使った〈have+目的語+過去分詞〉である。

I have written a letter. (私は手紙を書いた) [現代英語]

I have a letter written. (手紙が書き終わられた状態で存在している) [古英語]

上記の例文での主要な動詞はwriteではなくhaveである。現在形であるのは、手紙がいつ存在しているかという時間的な位置を示しているからだ。

一方、日本語話者は「相」、つまり行動と状態の時間的な局面・様相を重視する傾向にあると考えられる。「～する前に～をした」という文章を考える。英語の場合は時制によって、以下のように何通りか表現方法がある。

Before I do

Before I did

Before I had done

Before I have done

Before I will have done

一方、日本語の場合は「～する前」と一通りである。日本語で下線部を過去形にしないのは、「前」の言葉から行動の時を問わず、まだ始まらない状態であると理解するからだ。

以上より英語話者は「時」、日本語話者は「相」を重視する傾向があると考えられる。

2. 自己の意識に対する感覚

英語の一人称は等しく“I”であり、英語話者は他者との関係性のない状態で自己を確立できる。また動詞の変化から、英語話者は、自身、自身の言葉が向かう対象である相手、第三者の3つの区分を明らかにしているとわかる。

一方、日本語の一人称は立場によって様々である。『「英文法」を疑う ゼロから考える単語のしくみ』(松井力也、1999)にはこうある。

結局、日本人は、「私」「ぼく」等を使い分けたり、自分のことを「お父さん」「先生」等と呼んだりすることで、その場の関係性における相対的な自分の位置関係を規定しているようです。わたしたちは、常に自身をその場の一部に組み入れ、諸関係系の一部、一要素として自己を位置づけるのです。

このように日本語の一人称はその場における相手との「関係」であると言える。また、日本語話者は相手との社会的な位置関係や場の状況などに自己規定を依存しており、何らかの関係性が与えられてはじめて自己として存在する。

以上より、英語話者は日本語話者よりも自己の意識が強いと考えられる。

3. 「物」「事」の感覚

『につぼん再鎖国論 ぼくらに英語はわからない』(岩谷宏、1982)によると、英語の名詞は「物」を指示する。ここでの「物」はアル・ナイが成り立つ、存在物全般を意味する。

Didn't you go there, did you? (おまえは行かなかったんだな?)

—No. (はい)

例文から、英語話者は「行く」という動作の有無について答えていることがわかる。

一方、日本語の名詞は「事」を指示する。「事」は事柄、その物事がみせる様子、と物体そのものではなくその状態を意味する。また、これは「物」と違ってアル・ナイが成り立たない。「ナイということがアル」からだ。例文の日本語訳から、日本語話者は「その動作がなかったこと」が正しいかどうかについて答えているとわかる。

このことから日本語話者には「ナイということがアル」という感覚があると考えられる。

3. 結論

英語話者は「時」を重視し、自己の意識が強く、「事」よりも「物」の感覚が強い。一方、日本語話者は「相」を重視し、他者との関係性によって自己を規定し、「物」よりも「事」の感覚が強いと言うことができる。

4. 参考文献

マーク・ピーターセン(1988)「日本人の英語」岩波新書

松井力也(1999)『「英文法」を疑う:ゼロから考える単語のしくみ』講談社現代新書

岩谷宏(1982)「につぼん再鎖国論:ぼくらに英語はわからない」ロッキング・オン社

朝尾幸次郎(2019)「英語の歴史から考える英文法の『なぜ』」大修館書店

浜本純逸(2022)「読解をたいせつにする 体系古典文法」[九訂版]数研出版株式会社

なぜ警察の部署は閉鎖的なのか

1. 導入

平成11年に、ストーカー警察に訴えていた女子大学生に対して、警察が不適切な対応（虚偽公文書の作成、捜査の停滞、捜査書類の決裁の遅れ）を働き、最終的に被害を訴えていた女子大学生が殺害されるという事件が発生した。浦和地方裁判所（現さいたま地方裁判所）は、ストーカー捜査を担当していた刑事二課の行動が捜査怠慢であったと認定した。当時の刑事二課長は長年鑑識課に勤務し、捜査実務に従事した経験が無かった。そのため、捜査のほとんどを部下に任せ、自らが捜査を担当することを回避しようとしたうえに複数いた他の課長と協力することも可能である状況にあったにも関わらず、互いに協力することを怠った。この事件には、警察の部署同士のつながりの弱さが表れている。本研究では、上記の不祥事が起こった刑事部門に焦点を当て、警察の部署同士のつながりを弱くする要因を警察組織の文化や特性、日本での社会集団の構造の2つの観点から考察した。

2. 論証

1. 警察組織の文化や特性から形成される意識

まず、警察内部の文化には、「専門家は尊敬され、そうでない者は疎外される」というものが存在する。（古野まほろ著『残念な警察官 内部の視点で読み解く組織の失敗学』より）警察官の平均的なキャリアプランは「中堅となる時期にそれぞれ、『専務』と呼ばれる専門分野（主に刑事、交通、生活安全、警備）に登用され、その部門のスペシャリストになる」というものであり、特定の専務に一度登用されると、他の専務への異動は、一部の例外を除きほぼ無くなる。警察は24時間・365日体制での対応が求められるので、事件を早急に解決するためには、専門家の集団を上司が指揮する方が合理的であるといえる。よって、部門を超えた警察官同士のつながりは弱くなると考えられる。また、警察の犯罪捜査の特徴の一つに「独立性」が挙げられる。この独立性について田村は、「警察の独立性とは、警察が他の行政機関と連携することなく、自らの判断のみによって捜査を行うことである。事件を誘致する相手方であり、公訴の提起と勾留請求権を持つ検察官との連携は重要であると認識され、一部の重要な事件では、事前に連絡を取り、見解の調整をすることあるが、それ以外の者と連絡を取り合うことを想定していない。」（田村 2012 p.3-p.4）としている。このことから、他の行政機関と同様に、事件の捜査を担当する部署と事件と直接的な関係の無い部署との連携も想定されていないと考えられる。

2. 日本人の「場」

そして、日本人は資格の相違などを問わず、一定の枠によって一定の個人が集団を構成している状態を指す「場」を重視する傾向がある。（中根千枝著「タテ社会と現代日本」より）警察の場合、～係や～部、～課などが「場」に相当し、個人の階級や役職が「資格」に相当する。警察は小集団（～部、～課）が集まって大集団（～署、～警察本部）を構成している。同じ資格を持つ人間の集まりであれば、特に何も行わなくても集団になり得るのに対し、異なる資格を持つ者の集まりが社会集団となるためには、枠内の成員に一体感を持たせる必要があるとされている。そのため、小集団の閉鎖性の形成には「感情的な結びつき」が重要であり、日本の小集団内ではグループの成員としての一体感が重視されている。例えば、産労総合研究所が2019年度に調査し、発表した「2020年 社内イベント・社内旅行に関する調査」によると、会社内で開催されるイベントの実施目的は「コミュニケーション促進」という目的の割合が「新年会・仕事はじめ」や「歓送迎会」などの16項目で最も高かった。警察の部署内でも飲み会が開催されることがあり、その飲み会の実施目的も部署内でのコミュニケーション促進のためと考えられる。

		(単位:%)															
行事名	実施企業 (社数)	コミュニケーション促進		企業間交流・連携		エンターテインメント向上		健康づくり・非力創出		社会・環境の理解		F・R・活用		地域交流・貢献		その他	
		目的	効果	目的	効果	目的	効果	目的	効果	目的	効果	目的	効果	目的	効果	目的	効果
新年度行事	新年会・仕事始め	100.0 (75)	82.7	80.0	36.7	34.7	34.7	32.0	—	—	30.7	26.7	—	—	1.3	—	—
	忘年会・仕事締め・贈答	100.0 (108)	90.7	84.3	17.6	13.9	27.8	25.0	0.9	0.9	50.0	45.4	—	—	0.9	0.9	0.9
	内定式	100.0 (121)	65.3	65.3	60.3	52.9	42.1	37.2	—	0.8	0.8	0.8	30.7	34.7	—	0.8	0.8
	入社式・新入社員歓迎会	100.0 (153)	73.2	75.8	66.7	54.9	42.5	39.9	—	0.7	2.6	2.6	21.6	18.3	—	0.7	0.7
	歓迎会	100.0 (65)	94.1	90.6	4.7	5.9	32.9	32.9	—	—	43.5	37.6	2.4	2.4	1.2	1.2	1.2
	社員総会	100.0 (32)	65.6	65.6	71.9	59.4	43.8	43.8	—	—	9.4	9.4	—	—	—	—	—
	永年勤続表彰式	100.0 (116)	24.1	22.4	23.3	19.8	44.8	39.7	1.7	1.7	66.4	62.1	—	—	—	3.4	3.4
	表彰関連イベント	100.0 (36)	69.4	61.1	38.9	27.8	47.2	44.4	—	—	5.6	5.6	13.9	13.9	13.9	13.9	2.8
	ファミリーデー	100.0 (17)	82.4	70.6	5.9	—	41.2	35.3	5.9	5.8	76.5	70.6	23.5	11.8	5.9	5.9	—
	その他	100.0 (11)	54.5	63.6	45.5	45.5	45.5	45.5	9.1	9.1	45.5	45.5	—	9.1	27.3	27.3	—
その他行事	賞典・地域行事	100.0 (36)	77.8	75.0	13.9	13.9	30.6	30.6	2.8	8.3	36.1	30.6	25.0	27.8	69.4	66.7	2.8
	花見・BBQなど	100.0 (37)	100	89.2	10.8	13.5	32.4	32.4	2.7	2.7	70.3	56.8	—	2.7	5.4	2.7	—
	日帰り旅行	100.0 (27)	96.3	81.5	11.1	14.8	22.2	18.5	—	—	70.4	63.0	—	3.7	—	—	—
	社員旅行(宿泊を伴う)	100.0 (47)	89.4	83.0	12.6	16.6	29.8	27.7	—	—	76.6	60.0	2.1	4.3	—	2.1	2.1
	社内運動会	100.0 (17)	94.1	88.2	11.8	11.8	23.5	17.6	70.6	58.8	41.2	52.9	11.8	—	5.9	—	—
	各種スポーツ大会	100.0 (33)	93.9	81.8	12.1	12.1	30.3	27.3	69.7	63.6	42.4	36.4	3.6	6.1	9.1	6.1	—
	その他	100.0 (23)	82.6	82.6	4.3	4.3	21.7	21.7	39.1	30.4	52.2	47.8	—	—	4.3	4.3	4.3

社内イベントの実施目的と実施効果

出典:産労総合研究所(2020)

https://www.e-sanro.net/research/research_jinji/shanaiseido/shanai_event/pr2101.html

また、警察官は競合他社がほとんどいない業種であり、警察の責務は「個人の生命、身体及び財産の保護に任じ、犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締その他公共の安全と秩序の維持に当ること」(警察法第2条1項より一部抜粋)であるので、取り扱うものは個人のプライバシーや秘密にわたるものが多い。そのため、仕事のことを気兼ねなく話することができる者が少なく、その中でも互いの仕事内容を特に理解し、毎日顔を合わせる同じ部署の者同士での結束が強くなる。

3. 部署内での人間関係の構築

さらに、日本において、人間関係の強弱は実際の接触の長さや激しさに比例する傾向にある。そのため、グループ内のメンバーとの接触期間が短い、いわゆる「新入り」はヒエラルキーの最下層にいる。(中根千枝著「タテ社会の人間関係 単一社会の理論」より) また、警察には「警部補以下の階級の者は管理職である警部を激しく値踏みし、『使えない』、『頼れない』、『知らない』と判断すると公然と悪口を言うほどになり、勤続年数が長いほどその傾向が強くなる」という文化も存在する。(古野まほろ著「残念な警察官 内部の視点で読み解く組織の失敗学」より) つまり、別の部署から異動してくる警察官は、異動先の部署の警察官にとって、ヒエラルキーの最下層に位置する「新入り」である。導入で挙げたストーカーによる女子大学生殺害事件を例にとると、刑事二課に異動してきた直後で捜査実務の経験が無く、刑事二課においての「新入り」である当時の刑事二課長よりも、当時刑事二課での捜査経験が最も長かった警部補の方が、刑事二課内で強い権力を持っていた。この警部補は以前から仕事に対する意欲が阻喪しており、長期間古い事件を抱えこみ、新しい事件捜査を積極的に引き受けなかった。そのうえ、部下である巡査長が事件捜査を担当する際に、上司としての指導・支援・助力・助言を行わず、警部補自身が担当する事件の捜査の手伝いを巡査長に安易に指示していた。その結果、警部補は職制や階級を超越し、実質的な刑事二課の支配者となった。この例に見られるように日本警察において、職制や階級に関係なく「新入り」の権力は弱く、さらに警部であれば警部補以下の警察官による値踏みの対象にもなる。そのため、外部から来た者との人間関係の構築には時間を要する。

3.結論

警察の部署の閉鎖性が強くなる要因には、警察独自の文化や特性、日本社会の小集団における人間関係の構造によるものが大きいと考えられる。

4.参考文献

- 古野まほろ 『残念な警察官 内部の視点で読み解く組織の失敗学』 光文社新書 2016
古野まほろ 『警察手帳』 新潮新書 2017
中根千枝 『タテ社会と現代日本』 講談社現代新書 2019
中根千枝 『タテ社会の人間関係 単一社会の理論』 講談社現代新書 1967
警察の組織と行動の特性と他機関連携のための施策について 田村正博 2012
WasedaKyoikuHyonron_26_1_Tamura
2020年 社内イベント・社員旅行等に関する調査 産労総合研究所 2020
https://www.e-sanro.net/research/research_jinji/shanaiseido/shanai_event/pr2101.html